

Dell™ All-In-One Printer 948 操作ガイド

デルから消耗品を注文するには、以下の手順に従います。

1. デスクトップのアイコンをダブルクリックします。



2. デルの Web サイトにアクセスするか、電話でデル製プリンタの消耗品を注文します。

www.dell.com/supplies

サービスを最大限に利用するには、デルプリンタ サービスタグをお手元にご用意ください。

[情報とその入手先](#)

[プリンタ各部の名称とはたらき](#)

[操作パネルのメニューについて](#)

[用紙や原稿をセットする](#)

[印刷](#)

[メモリカードまたは USB キーから印刷する](#)

[コピー](#)

[スキャン](#)

[FAX](#)

[ソフトウェアについて](#)

[ワイヤレスネットワーク](#)

[ピアトゥピアネットワーク](#)

[メンテナンス](#)

[トラブルシューティング](#)

[仕様](#)

[付録](#)

[ライセンスに関する通知](#)

メモ、注意、および警告について

 **メモ：** メモとは、プリンタの使用方法を向上させるための重要な情報を示したものです。

 **注意：** 注意とは、ハードウェアの故障またはデータの損失を引き起こす可能性のある問題を示し、問題を回避する方法について説明したものです。

 **危険：** 警告とは、物品の破損やケガ、または人命にかかわる可能性のある問題を示したものです。

本書の内容は予告なく変更される場合があります。

© 2007 Dell Inc. All rights reserved.

方法のいかんを問わず、Dell Inc. の書面による許諾なく本書の内容の一部または全部を複製することは禁止されています。

本書で使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、Dell Picture Studio、および Dell Ink Management System は Dell Inc. の商標です。Microsoft および Windows は Microsoft Corporation のアメリカ合衆国および他の国々での登録商標です。Windows Server および Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。Windows Vista は Microsoft Corporation のアメリカ合衆国および他の国々での商標または登録商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Dell Inc. はライセンス契約に基づいて使用しています。EMC は EMC Corporation の登録商標です。

本書中では、その他の商標および社名を各社の商号または製品名を示す呼称として使用する場合があります。Dell Inc. は、自社以外の商標および商品名に対して、いかなる所有権も主張するものではありません。

アメリカ合衆国政府の権利制限

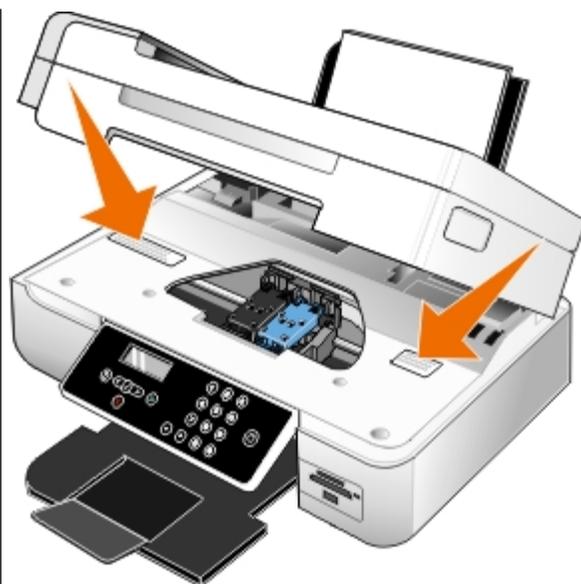
このソフトウェアおよび文書は、権利制限に基づいて提供されます。合衆国政府による使用、複製、または開示は、DFARS 252.2277013 の『テクニカルデータおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利』の (c) (1) (ii) 項および関連条項の規定に基づいて制限されます。Dell Inc., One Dell Way, Round Rock, Texas, 78682, USA.

モデル **948**

2007 年 **7** 月 **SRV UY127 Rev. A00**

情報とその入手先

必要な情報	入手先
<ul style="list-style-type: none"> • プリンタドライバ • 操作ガイド 	<p><i>Drivers and Utilities CD</i></p>  <p>コンピュータとプリンタを同時にデルからご購入いただいた場合には、マニュアルおよびドライバはコンピュータにインストールされています。ドライバをアンインストールして再インストールするとき、またはマニュアルを参照するとき、CD を使用します。CD には Readme ファイルが含まれている場合があります。Readme ファイルには、プリンタの技術的な変更に関する最新情報や、熟練ユーザーや技術者のための高度な技術資料が含まれています。</p>
<p>プリンタのセットアップ方法</p>	<p>プリンタのセットアップ図</p> 
<ul style="list-style-type: none"> • 安全に関する情報 • プリンタのセットアップ方法と使用方法 • 保証に関する情報 	<p>オーナーズマニュアル</p> 
<p>エクスプレスサービスコードとサービスタグナンバー</p>	<p>エクスプレスサービスコードとサービスタグナンバー</p>



(⇒[エクスプレスサービスコード](#))

<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ用の最新ドライバ ● テクニカルサービスおよびサポートに関する質問への回答 ● プリンタのマニュアル 	<p>デルサポート ホームページ：support.dell.com</p> <p>デルサポート Web サイトでは、次のようなオンラインツールを提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ソリューション - トラブルシューティングのヒントとテクニック、技術者による文書、およびオンラインセミナーを提供します。 ● アップグレード - メモリなどのコンポーネントのアップグレードに関する情報を提供します。 ● カスタマーケア - デルへの連絡先、オーダーステータス（お届け予約案内）、保証、および修理に関する情報を提供します。 ● ダウンロード - ドライバをダウンロードします。 ● レファレンス - プリンタのマニュアルと製品仕様を参照できます。
<ul style="list-style-type: none"> ● Windows Vista™ の使用方法 ● プリンタのマニュアル 	<p>Windows Vista のヘルプとサポートセンター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.  [ヘルプとサポート] の順にクリックします。 2. トラブルを説明する単語またはフレーズを入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. トラブルに当てはまるトピックをクリックします。 4. 画面に表示される手順に従います。
<ul style="list-style-type: none"> ● Windows® XP の使用方法 ● プリンタのマニュアル 	<p>Windows XP のヘルプとサポートセンター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート]  [ヘルプとサポート] の順にクリックします。 2. トラブルを説明する単語またはフレーズを入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. トラブルに当てはまるトピックをクリックします。 4. 画面に表示される手順に従います。

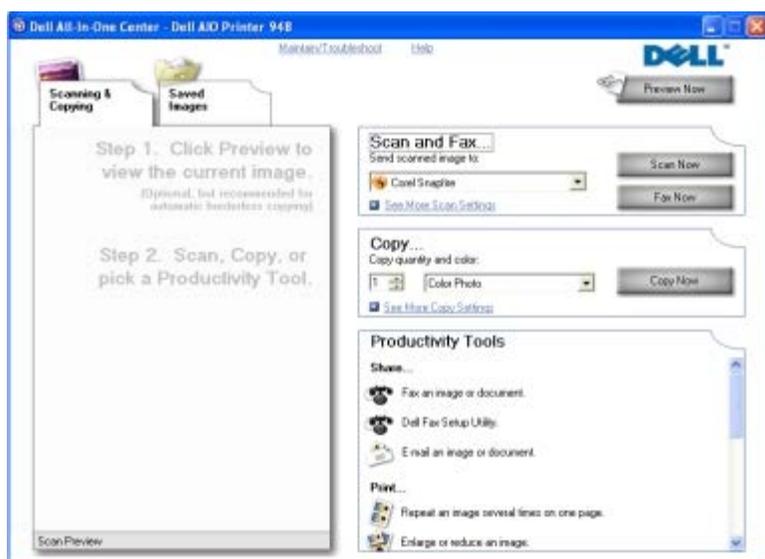
ソフトウェアについて

- [Dell AIO ナビの使用](#)
- [Dell FAX ナビの使用](#)
- [印刷設定](#)
- [メモ리카ードマネージャを使用する](#)
- [Dell Ink Management System](#)
- [ソフトウェアの削除と再インストール](#)

プリンタソフトウェアには、次のものが含まれます。

- **Dell AIO ナビ** - さまざまなスキャン、コピー、FAX、および新規または既存の文書や画像を使用した印刷を実行できます。
- **Dell FAX ナビ** - 保存されたドキュメントまたはスキャンした原稿を FAX で送信できます。
- **印刷設定** - プリンタの設定の調整に使用します。
- **メモ리카ードマネージャ** - メモ리카ードまたは USB メモリキーの写真の表示、管理、編集、印刷、およびコンピュータへの保存が可能です。
- **Dell Ink Management System™** - プリンタがインク切れになると警告します。

Dell AIO ナビの使用



Dell AIO ナビを使用して、以下の操作を実行できます。

- スキャン、コピー、FAX、およびツールの使用
- 画像の取り込み先の選択
- コピー部数とカラーモードの選択

- トラブルシューティングおよびメンテナンス情報へのアクセス
- 印刷またはコピーする画像のプレビュー
- 写真の管理（フォルダへのコピー、印刷、趣向を凝らしたコピーの作成など）

Dell AIO ナビにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista™* の場合：

- ① [プログラム] の順にクリックします。
- [Dell プリンタ] をクリックします。
- [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows® XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。

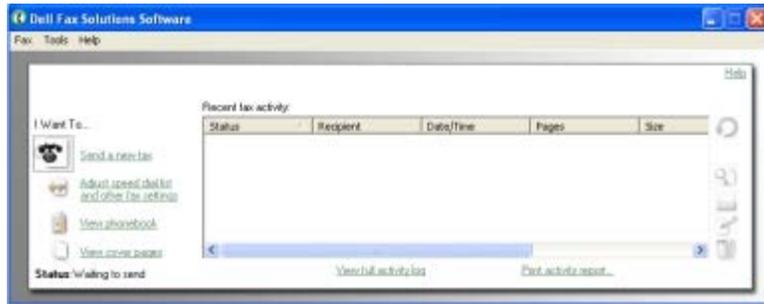
Dell AIO ナビには以下の 4 つの主なセクションがあります。

セクション名	可能な操作
プレビュー	<ul style="list-style-type: none"> • プレビューした画像の領域を選択してスキャンまたはコピーします。 • 印刷またはコピーする画像を表示します。
スキャンと FAX	<ul style="list-style-type: none"> • 画像を取り込むアプリケーションを選択します。 • スキャンする画像の種類を選択します。 • スキャンの品質設定を選択します。 • [スキャン] をクリックして、文書や写真をスキャンします。 • [FAX] をクリックして、文書や写真を FAX で送信します。 <p>メモ：すべての設定を表示するには、[スキャン設定を表示] をクリックします。</p>
コピー	<ul style="list-style-type: none"> • コピー部数とカラーモードを選択します。 • コピーの品質設定を選択します。 • 用紙サイズを指定します。 • コピーする原稿のサイズを指定します。 • コピー濃度を調整します（この操作は操作パネルからも実行できます）。 • コピーのサイズを変更します。 • [コピー] をクリックして、コピーを作成します。 <p>メモ：すべての設定を表示するには、[コピー設定を表示] をクリックします。</p>
ツール	<ul style="list-style-type: none"> • 画像や文書を FAX で送信します。 • Dell FAX ユーティリティにアクセスします。 • 画像やドキュメントを E メールで送信します。 • 1 ページに同じ画像を繰り返して表示します。 • 画像のサイズを変更します。 • 画像を分割します（ポスター）。 • 1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷します。 • 画像をコンピュータに保存します。 • 複数の写真を保存します。 • スキャンして PDF 形式で保存します。

- スキャンしたドキュメントのテキストを編集します（OCR）。
- 画像を画像編集ソフトウェアで加工します。

詳細については、**Dell AIO** ナビの [ヘルプ] をクリックしてください。

Dell FAX ナビの使用



Dell FAX ナビには、以下の機能があります。

- FAX の送信

[新規 **FAX** の送信] をクリックして、コンピュータの画面に表示される手順に従います。

- FAX のプロパティの調整

さまざまな **FAX** 設定を変更するには、[**FAX** のプロパティ] をクリックします。

- アドレス帳の表示と管理

アドレス帳を開くには、[アドレス帳] をクリックします。連絡先およびグループに関する情報の追加、編集、または削除を行えます。短縮ダイヤルリストに連絡先またはグループを追加することもできます。

- 送付状の表示と変更

[通常使う送付状の設定] をクリックすると、[送付状] ダイアログが表示されます。送付状をカスタマイズしたり、ロゴを追加したり、あらかじめ用意されているさまざまな送付状から選択して、**FAX** に添付できます。

- FAX ログの表示

すべての送受信 **FAX** の詳細リストを表示または印刷するには、[**FAX** ログの表示] をクリックします。

- FAX 管理レポートの作成

すべての **FAX** 操作に関する詳細なレポートを確認するには、[管理レポートの表示] をクリックします。通信管理レポートを印刷するには、[印刷] アイコンをクリックします。

Dell FAX ナビにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista* の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [**Dell** プリンタ] をクリックします。
- c. [**Dell AIO Printer 948**] をクリックします。

Windows XP および 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [FAX ナビ] をクリックします。

[Dell FAX ナビ] ダイアログが開きます。

印刷設定



[印刷設定] では、作成する印刷物の種類に応じてプリンタの設定を変更できます。

ドキュメントを開いた状態で [印刷設定] にアクセスするには、以下の手順に従います。

1. [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

ドキュメントが開かれていない状態で、[印刷設定] にアクセスするには、以下の手順に従います。

1. Windows Vista の場合：

- a. [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [設定] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [Dell 948] のアイコンを右クリックします。

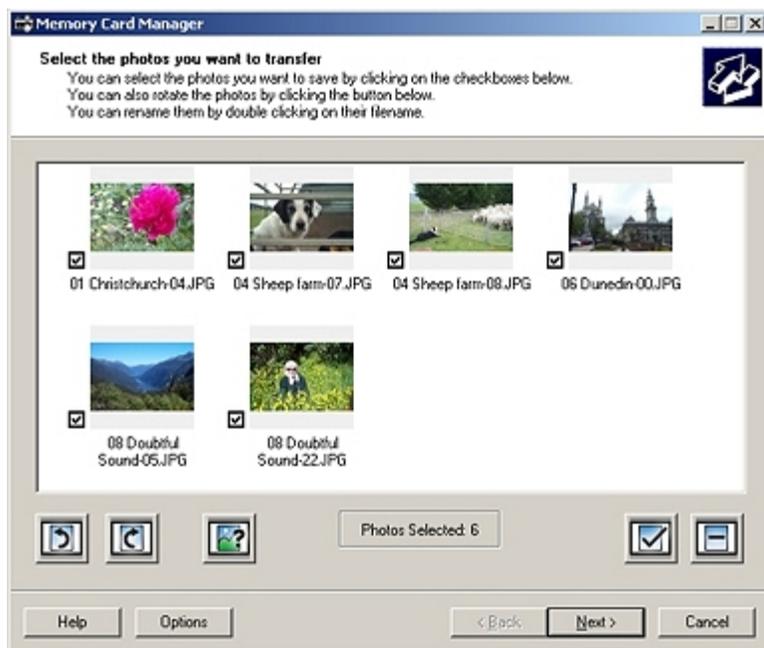
3. [印刷設定] をクリックします。

 **メモ：** [プリンタ] フォルダで変更したプリンタの設定は、ほとんどのアプリケーションで標準設定に設定されます。

[印刷設定] ダイアログボックスには、以下の 3 つのセクションがあります。

タブ	オプション
印刷設定	[品質/速度] - 印刷の品質に応じて、[自動]、[高速]、[標準]、または[写真]を選択します。[下書き]は、最も速く印刷できるオプションです。ただし、フォトカートリッジがセットされている場合には選択しないでください。
	[用紙の種類] - 用紙の種類を手動で選択するか、プリンタで自動的に検出するかを設定します。
	[用紙サイズ] - 用紙のサイズを選択します。
	[モノクロで印刷] - カラー画像をモノクロで印刷して、カラーカートリッジのインクを節約します。
	メモ： [カラーカートリッジを使用して黒で印刷する] オプションが選択されている場合、この設定は選択できません。
	[フチなし] - 写真をフチなしで印刷する場合、このチェックボックスをオンにします。
	[印刷方向] - 文書をどの方向に印刷するかを指定します。縦方向または横方向に印刷できます。
	[封筒] - 封筒に印刷する場合、このチェックボックスをオンにします。[用紙サイズ]の欄には、印刷に使用できる封筒のサイズが表示されます。
[印刷部数] - 1回のジョブで複数のコピーを作成する方法を変更します。[部単位で印刷]、[標準]、または[逆順で印刷]などの印刷順序を指定します。	
アドバンス	[両面印刷] - 用紙の両面に印刷するには、このオプションを選択します。[自動]、[手動]、または[両面印刷]のいずれかから選択します。
	[乾燥時間の延長] - 両面印刷ジョブでページ下部がインクで汚れる場合は、このオプションを選択します。この機能を使用すると、印刷面のインクが乾くまで待機してから、用紙をプリンタに戻して裏面が印刷されるまでの時間が延長されます。
	メモ： この機能をオンにすると、両面印刷ジョブが完了するまでの時間が少し長くなります。
	[レイアウト] - [標準]、[バナー]、[左右反転]、[割り付け]、[ポスター]、[小冊子]、または[フチなし]を選択します。
	[画像のシャープ化] - 画像の種類に応じて、最も良い鮮明度のレベルが自動的に選択されます。
	[デル カスタマーエクスペリエンス向上プログラム] - デル カスタマーエクスペリエンス向上プログラムに関する情報にアクセスし、参加の状態を変更できます。
メンテナンス	[その他のオプション] - [表示オプション] および [印刷を完了] の設定を指定できます。プリンタで検出された用紙の種類を表示することもできます。
	カートリッジの取り付け
	ノズル清掃
	プリントヘッド調整
	テストページの印刷
ネットワークサポート	

メモリカードマネージャを使用する



メモリカードマネージャを使用すると、メモリカードまたは USB メモリキーに保存された写真の表示、管理、編集、印刷、およびコンピュータへの保存が可能です。

メモリカードマネージャを起動するには、以下の手順に従います。

1. メモリカードをメモリカードスロットに、または USB キーをプリンタ前面の PictBridge ポートに差し込みます。

注意：メモリカードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリカードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。データが破損する場合があります。

2. *Windows Vista* の場合：

- a. [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

3. [メモリカードマネージャの有効化] を選択します。

Dell Ink Management System

印刷を実行するたびに、印刷の進行状況を示す画面が表示されます。この画面には、印刷ジョブの進行状況、カートリッジのインク残量、残りのインクで印刷できるおよそのページ数が表示されます。カートリッジを使用し始めてから 50 ページ印刷するまでは、残りのページ数は表示されません。その間の印刷状況に応じてより正確な枚数を計算しているためです。残りのページ数は、プリンタで実行される印刷ジョブの種類に応じて変化します。

カートリッジのインクレベルが低下している場合、印刷しようとする [Low Ink Warning] が画面に表示されます。この警告は、新しいカートリッジを取り付けるまで、印刷を行うたびに表示されます。詳細については、[カートリッジの交換](#)を参照してください。

1 つまたは両方のカートリッジが空の場合、印刷しようとする [予備タンク] ウィンドウが画面に表示されます。この状態で印刷を続けても、希望通りに印刷されない場合があります。

ブラックカートリッジがインク切れの場合、[印刷を完了]を選択してから[続ける]ボタンをクリックすると、カラーカートリッジを使用して合成されたブラックで印刷することができます。[印刷を完了]を選択して[続ける]をクリックすると、ブラックカートリッジを交換するか、[印刷設定]の[アドバンス]タブにある[その他のオプション]からオプションの選択を解除するまで、すべてのブラック印刷に合成されたブラックが使用されます。インク切れのカートリッジが交換されるまで、[予備タンク]ダイアログは二度と表示されません。新しいカートリッジまたは別のカートリッジが取り付けられると、[印刷を完了]チェックボックスは自動的にオフになります。



カラーカートリッジがインク切れの場合、[印刷を完了]を選択してから[続ける]ボタンをクリックすると、カラーの文書をグレースケールで印刷することができます。[印刷を完了]を選択して[続ける]をクリックすると、カラーカートリッジを交換するか、[印刷設定]の[アドバンス]タブにある[その他のオプション]からオプションの選択を解除するまで、すべてのカラー文書がモノクロで印刷されます。インク切れのカートリッジが交換されるまで、[予備タンク]ダイアログは二度と表示されません。新しいカートリッジまたは別のカートリッジが取り付けられると、[印刷を完了]チェックボックスは自動的にオフになります。

ソフトウェアの削除と再インストール

プリンタの使用時にプリンタが正しく機能しないか、通信エラーのメッセージが表示された場合は、プリンタソフトウェアを削除し、再インストールします。

1. Windows Vistaの場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO Printer 948 のアンインストール] をクリックします。
3. 画面に表示される手順に従います。
4. コンピュータを再起動します。
5. Drivers and Utilities CDをセットし、画面に表示される手順に従います。

インストール画面が表示されない場合は、以下の手順に従います。

- a. Windows Vista の場合は、 [コンピュータ] の順にクリックします。

Windows XP の場合は、 [スタート] * [マイ コンピュータ] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、 デスクトップで [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

- b. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、 **setup.exe** をダブルクリックします。
- c. プリンタソフトウェアのインストール画面が表示されたら、 [**USB** ケーブルを使用する] または [ワイヤレスネットワークを使用する] をクリックします。
- d. 画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

プリンタ各部の名称とはたらき

● [プリンタ各部のはたらき](#)

● [操作パネルのはたらき](#)

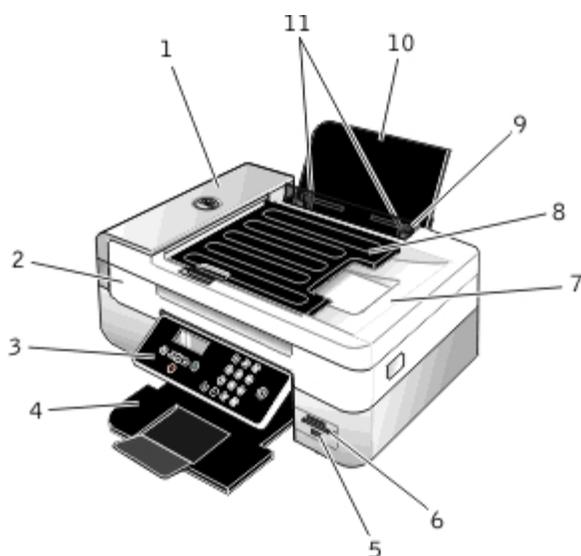
お使いのプリンタは、さまざまな用途に使用できます。以下の点に注意してください。

- プリンタがコンピュータに接続されている場合、プリンタの操作パネルまたはプリンタソフトウェアを使用して、高品質のドキュメントを作成できます。
- 印刷、スキャン、コンピュータに写真を保存する機能、または **Office** ファイルモードを使用するには、プリンタがコンピュータに接続されている必要があります。
- コピーを作成する場合や、**FAX** を送信する場合、メモ리카ードまたは **PictBridge** 対応カメラから印刷する場合は、プリンタをコンピュータに接続する必要はありません。

 **メモ：** **FAX** を送信する場合は、プリンタがコンピュータに接続されているかどうかに関係なく、プリンタは電話線に接続されている必要があります。

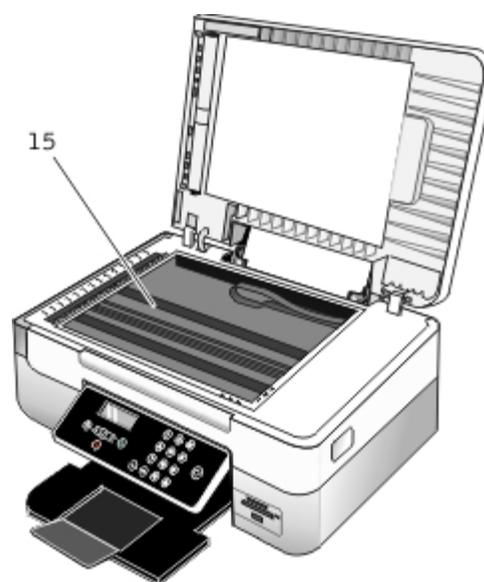
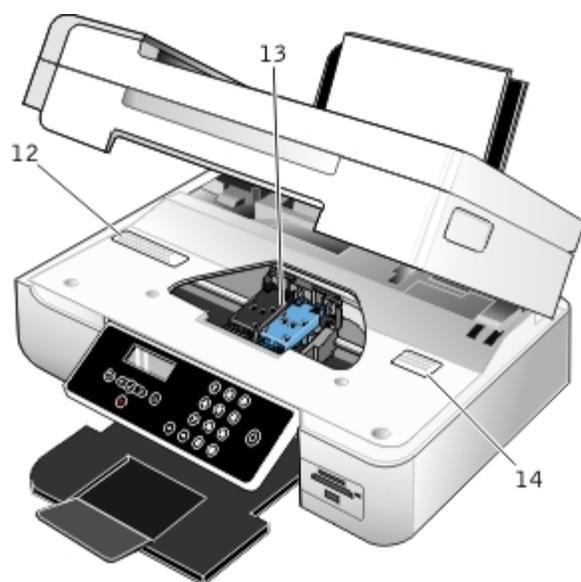
 **メモ：** コンピュータで **DSL**（デジタル加入者回線）モデムを使用している場合は、コンピュータに接続されている電話線に **DSL** フィルタを取り付ける必要があります。**DSL** フィルタの詳細については、**DSL** サービスプロバイダにお問い合わせください。

プリンタ各部のはたらき

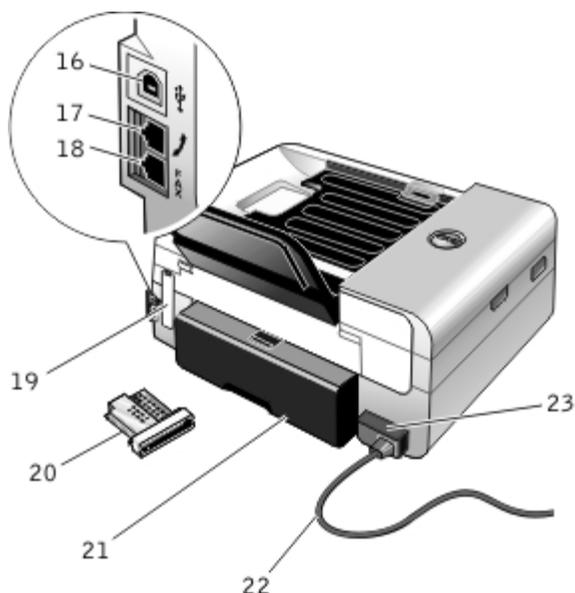


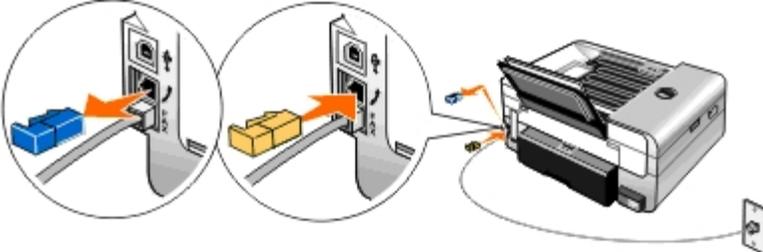
番号	名称	説明
1	ADF（自動原稿フィーダー）	原稿をプリンタに送ります。
2	プリンタユニット	カートリッジを交換する場合は、このユニットを開きます。
3	操作パネル	コピー、スキャン、 FAX 、印刷操作に使用するプリンタ上のパネルです。（⇒ 操作パネルのはたらき ）
4	排紙トレイ	プリンタから排出された用紙を受けるところです。 メモ： 排紙トレイをいっぱいに引き出して延ばします。

5	PictBridge ポート	PictBridge 対応のデジタルカメラまたは USB キーをプリンタに接続するためのポートです。
6	メモ리카ードスロット	デジカメの写真が保存されたメモ리카ードをセットするスロットです。
7	ADF 排紙トレイ付き 原稿カバー	プリンタの一番上の部分で、スキャンする文書または写真が平らになるように押さえます。ADF を通過した後の原稿を受けるトレイも付属しています。
8	ADF 給紙トレイ	原稿をセットするためのトレイです。複数ページの原稿のスキャン、コピー、FAX を行う際に使用します。
9	落下防止ガード	小さな異物がプリンタ内部に入り込むのを防ぎます。
10	用紙サポート	セットされた用紙を支えます。
11	用紙ガイド	プリンタへの給紙が正しく行われるようにします。



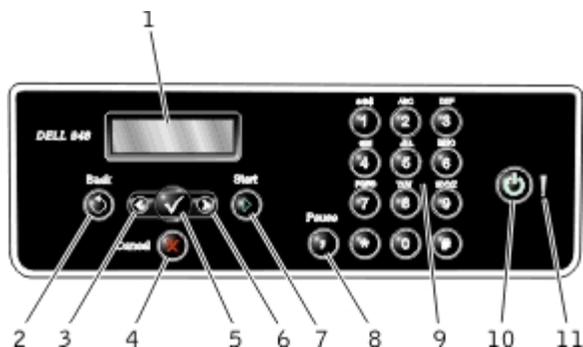
番号	名称	説明
12	消耗品注文ラベル	カートリッジや用紙を注文するには、次のアドレスにアクセスします。 www.dell.com/supplies
13	カートリッジホルダー	カラーカートリッジ 1 個と、ブラックまたはフォトカートリッジのいずれか 1 個の、合計 2 個のカートリッジを取り付けることができます。
14	エクスプレスサービス コード	<ul style="list-style-type: none"> テクニカルサポートにお問い合わせの際、またはsupport.dell.com を使用する際にお使いのプリンタを識別するための番号です。 テクニカルサポートにお問い合わせの際にエクスプレスサービスコードを入力すると、担当者とはスムーズに連絡を取ることができます。 <p>メモ： 国によっては、エクスプレスサービスコードが使用できない場合があります。</p>
15	原稿台	コピー、スキャン、または FAX する文書や写真をセットする部分です。セットする場合はスキャンする面を下向きに載せます。



番号	名称	説明
16	USB 接続部	USB ケーブル（別売）を接続するための差込口です。USB ケーブルのもう一方の端末はコンピュータに接続します。
17	電話線コネクタ ( - 中央のコネクタ)	<p>データ/FAX モデム、電話機、留守番電話などの追加デバイスをプリンタに接続するための差込口です。使用する前にブルーのプラグを取り外してください。</p> <p>メモ：ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ ( - 上側のコネクタ) からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。</p> 
18	FAX コネクタ ( - 下側のコネクタ)	<p>FAX を送受信する場合に、使用可能な電話線を接続するための差込口です。</p> <p>メモ：その他のデバイスを FAX コネクタ ( - 下側のコネクタ) に接続しないでください。また、デジタル回線フィルタを使用せずに DSL（デジタル加入者回線）または ISDN（統合デジタル通信サービス網）にプリンタを接続しないでください。</p>
19	背面カバー	Dell Internal Wireless Adapter 1000 を取り付けの際にこのカバーを外します。
20	Dell Internal Wireless Adapter 1000 (オプション)	お使いのプリンタをワイヤレスネットワーク上でセットアップするためのネットワーク機器（別売）です。
21	両面印刷ユニットカバー	<p>両面印刷ユニットのカバーです。</p> <p>両面印刷ユニットを使用すると、自動で用紙の両面に印刷できます。</p>
22	電源コード	プリンタの電源部をご家庭やオフィスの電源コンセントに接続します。
23	電源部	<p>プリンタに電源を供給します。</p> <p>メモ：電源部は取り外し可能です。電源部をプリンタから取り外しても、壁のコンセントに差し込んだままにしておくと、電源が入っていることを示すために LED が点灯します。</p>

メモ： プリンタの電源がオフの際にコンセントから抜くと、次にコンセントに接続したとき、プリンタの電源はオフのままです。

操作パネルのはたらき



番号	名称	はたらき
1	ディスプレイ	スキャン、コピー、FAX、印刷の各機能のオプションと、プリンタの状態やエラーメッセージを表示します。
2	[戻る] ボタン	前のメニューに戻ります。
3	左向き矢印ボタン	<ul style="list-style-type: none"> オプションの数値を減らします。 ディスプレイに表示されているリストをスクロールします。
4	[キャンセル] ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 実行中のスキャン、印刷、またはコピー操作をキャンセルします。 メニューの設定に加えた変更を保存せずにメニューを終了します。
5	設定ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 現在表示されているメニューにアクセスします。 メニューのオプションを選択します。 ボタンを 3 秒間押したままにすると、用紙が送られるか排出されます。
6	右向き矢印ボタン	<ul style="list-style-type: none"> オプションの数値を増やします。 ディスプレイに表示されているリストをスクロールします。
7	[スタート] ボタン	コピー、スキャン、FAX を開始します。
8	[ポーズ] ボタン	<p>外線への切り替え、または留守番電話機につながるのを待つため、ダイヤルする番号に 3 秒間のポーズを挿入します。</p> <p>メモ： ポーズを挿入できるのは、既に番号を入力し始めている場合のみです。</p>
9	キーパッド	数値またはテキストを入力します。
10	電源ボタン	<p>プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。</p> <p>メモ： 電源ボタンを 3 秒以上押し続けて、プリンタの電源をオフにします。押している時間が 3 秒以内の場合、プリンタは節電モードに切り替わります。</p> <p>メモ： PictBridge 対応カメラが PictBridge ポートに接続され、操作中の場合は、電源ボタンを押してもプリンタの電源はオフになりません。</p>
11	エラー LED	エラーが発生しているかどうか確認します。

ワイヤレスネットワーク

- [セットアップのための最小必要条件](#)
- [ワイヤレスネットワークの設定](#)
- [無線通信の暗号化](#)
- [Dell Wireless Adapter 1000 の取り付けとセットアップ](#)
- [ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定する](#)

 メモ：一部の地域では、Dell™ Internal Wireless Adapter 1000 をご利用いただけない場合があります。ご利用いただけるかどうかについては、お近くのデル販売店にお問い合わせください。

セットアップのための最小必要条件

- Dell Internal Wireless Adapter 1000
 - Dell AIO プリンタ
 - 既存のワイヤレスネットワーク
 - プリンタに付属する *Drivers and Utilities* CD
 - 以下のいずれかのオペレーティングシステムを実行しているコンピュータ：
 - Windows Vista™
 - Microsoft® Windows® XP
 - Microsoft Windows 2000
-

ワイヤレスネットワークの設定

プリンタに取り付けたプリントサーバーを設定するには、ワイヤレスネットワークの設定情報の一部が必要となる場合があります。必要となる設定の一部は以下のとおりです。

- ネットワーク名。SSID (Service Set ID) とも呼ばれます。
 - BSS (Basic Service Set) の種類 (使用しているワイヤレスネットワークの種類。アドホックまたはインフラストラクチャ)
 - ワイヤレスチャンネル番号
 - ネットワーク認証および暗号化の種類
 - セキュリティキー
-

無線通信の暗号化

以下の種類のセキュリティがサポートされています。

- セキュリティなし
- 64 bit キーまたは 128 bit キーのいずれかによる WEP
- 128 bit TKIP 暗号化エンジンまたは 128 bit AES-CCMP 暗号化エンジンによる WPA

WPA (WiFi Protected Access) 事前共有キーとはパスワードのようなもので、次の条件を満たす必要があります。

- 16 進数列を使用している場合は、有効なキーは 64 桁です。
- ASCII 文字列を使用している場合は、有効なキーは 8 桁です。

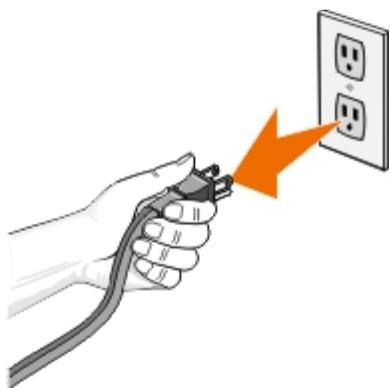
ワイヤレスネットワークでは、1 ~ 4 番のいずれかの WEP キーが使用される場合があります。WEP キーとはパスワードの一種で、以下の条件に従っている必要があります。

- 16 進数列を使用している場合は、有効なキーは 10 桁または 26 桁です。
- ASCII 文字列を使用している場合は、有効なキーは 5 桁または 13 桁です。

Dell Wireless Adapter 1000 の取り付けとセットアップ

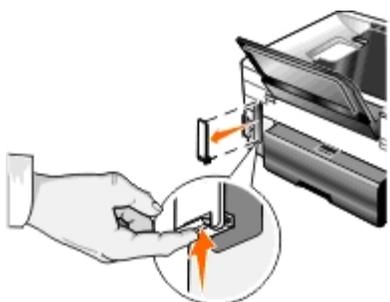
ワイヤレスプリントサーバーを取り付ける

1. プリンタの電源をオフにしてから、電源コードを壁のコンセントから抜きます。



⚠ 危険： プリンタの電源コードを抜かないで取り付けを行うと、プリンタとプリントサーバーが損傷する場合があります。

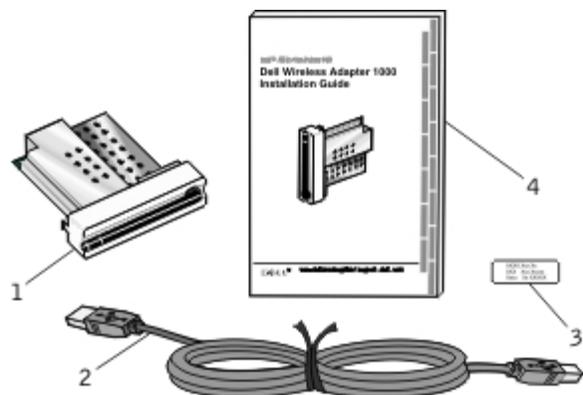
2. 背面カバーを取り外します。



⚠ 危険： ワイヤレスカードは静電気に非常に弱い製品です。プリントサーバーに手を触れる前に、金属などに触れて静電気を逃が

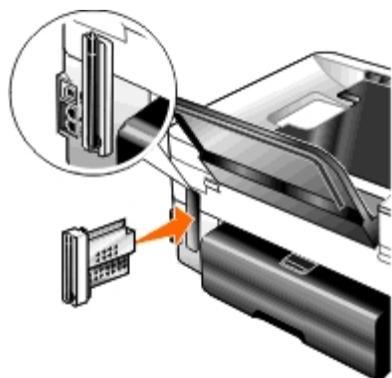
してください。

3. Dell Wireless Adapter 1000をパッケージから取り出します。



番号	品名
1	Dell Wireless Adapter 1000
2	USB ケーブル
3	MACアドレスラベル
4	Dell Wireless Adapter 1000取り付けガイド

4. MACアドレス ラベルをプリンタの背面に貼り付けます。
5. プリントサーバーをプリンタの背面に差し込み、カチッ と音がするまで押し込みます。



次に、ワイヤレスネットワークでプリントサーバーを使用するための設定を行います。

ワイヤレスプリントサーバーを設定する

1. プリンタの電源コードをコンセントに差し込みます。
2. 電源ボタンを押します。
プリンタの操作パネルに、「ワイヤレスプリントサーバーを検出しました」というメッセージが 3 秒間表示されます。
3. 新しいデルコンピュータでプリンタを使用する場合は、[手順 8](#)に進みます。

既存のコンピュータでプリンタを使用する場合は、次の手順に進みます。

4. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、**Drivers and Utilities CD**をセットします。
5. [ワイヤレスネットワークを使用する] を選択して、[次へ] をクリックします。
6. [このライセンス契約に同意します] を選択して、[次へ] をクリックします。
7. ファイアウォールの例外設定に関する情報を確認して、[次へ] をクリックします。
8. プリンタの背面にある**USB**ポートとコンピュータの**USB**ポートを**USB**ケーブルで接続します。
9. [ワイヤレスプリントサーバーの設定] ダイアログボックスで、[プリンタのワイヤレス設定を作成または変更する] を選択して、[次へ] をクリックします。

画面に表示される手順に従います。ネットワークで使用するためのカードの設定に関する詳細 (⇒[ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定する](#))

 **メモ:** この設定ウィザードを完了するには、接続するワイヤレスネットワークのネットワーク名 (**SSID**) およびセキュリティ設定が必要となる場合があります。詳細については、ネットワークの管理者に問い合わせるか、ネットワークのマニュアルを参照してください。

プリンタを別のコンピュータに接続する



 **メモ:** 以下の手順を実行するには、あらかじめプリンタがワイヤレスネットワーク経由でコンピュータまたはルーターに接続されている必要があります。

1. コンピュータの電源がオンになっていることを確認してから、**Drivers and Utilities CD**をセットします。
2. [ワイヤレスネットワークを使用する] を選択して、[次へ] をクリックします。
3. [このライセンス契約に同意します] を選択して、[次へ] をクリックします。
4. ファイアウォールの例外設定に関する情報を確認して、[次へ] をクリックします。
5. [ワイヤレスプリントサーバーの設定] ダイアログボックスで、[プリンタの現在のワイヤレス設定を使用する] を選択して、[次へ] をクリックします。
6. ポートを選択するか、**IP** アドレスを手動で入力して、画面に表示される手順に従います。

ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定する

設定の概要

ワイヤレス接続ユーティリティを使用してプリントサーバーを設定するには、プリントサーバーを取り付けたプリンタを **USB** ケーブルでコンピュータに接続し、**Drivers and Utilities CD** を起動する必要があります。

インストール後にワイヤレスプリントサーバーの設定の変更が必要な場合は、**CD** は必要ありません。ワイヤレス接続ユーティリティを起動します。

*Windows Vista*の場合：

1.  [プログラム] の順にクリックします。
2. [Dell プリンタ] をクリックします。
3. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。
4. [ワイヤレス接続ユーティリティ] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

1. [スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。
2. [ワイヤレス接続ユーティリティ] をクリックします。

ワイヤレス設定ユーティリティを使用すると、設定を順に行うことができます。ウィザードにより、ワイヤレスネットワーク設定を自動的に検出したり、ネットワーク設定を手動で入力できます。

プリントサーバーを設定する前に、プリンタが次のように正しく設定されていることを確認します。

- プリンタにプリントサーバーが正しく取り付けられている。
- カートリッジが正しく取り付けられている。
- プリンタに用紙がセットされている。
- プリンタとコンピュータに **USB** ケーブルが接続されている。
- プリンタの電源がオンになっていて、インストールの準備ができています。

使用可能なワイヤレスネットワーク設定を使用する

1. [付近で検出されたワイヤレスネットワーク] 画面で、リストから適切なネットワーク名 (**SSID**) を選択して、[次へ] をクリックします。
2. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。
 **メモ：** [次へ] をクリックすると、接続ユーティリティはプリンタのワイヤレス通信を確認します。確認プロセスには最大 **120** 秒かかります。
3. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。 (⇒[ネットワーク通信を確認する](#))

別のワイヤレスネットワーク設定を入力する

1. [付近で検出されたワイヤレスネットワーク] 画面で、[別の設定を入力する] を選択して [次へ] をクリックします。
2. 使用するネットワーク名 (**SSID**) を選択できる場合はリストから選択して、[次へ] をクリックします。

ネットワーク名（**SSID**）が選択できない場合

- a. [別の名前を入力する] を選択して、[次へ] をクリックします。
- b. ネットワーク名（**SSID**）を入力します。
- c. ドロップダウンリストから、適切なチャンネルを選択します(デフォルトでは [自動] が選択されています)。
- d. ワイヤレスモードを選択します。
 - インフラストラクチャモードの場合、[ワイヤレスルーター経由で既存のネットワークにアクセスする（インフラストラクチャモード） - 標準] を選択して [次へ] をクリックします。

詳細なセットアップ手順については、次を参照してください。[インフラストラクチャモードでプリントサーバーを手動設定する](#)。

- アドホックモードの場合、[ワイヤレスルーターを使用せずに直接他のコンピュータにアクセスする（アドホックモード）] を選択して [次へ] をクリックします。

詳細なセットアップ手順については、次を参照してください。[アドホックモードでプリントサーバーを手動設定する](#)。

3. 適切なセキュリティ方式を選択して、[次へ] をクリックします。セキュリティが検出されない場合、次に進みます。[手順 5](#)。
4. ネットワーク用の適切なセキュリティキーを入力して、[次へ] をクリックします。
5. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。



メモ： [次へ] をクリックすると、接続ユーティリティはプリンタのワイヤレス通信を確認します。確認プロセスには最大 **120** 秒かかります。

6. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒[ネットワーク通信を確認する](#)）

インフラストラクチャモードでプリントサーバーを手動設定する

プリントサーバーをインフラストラクチャモードに設定する場合、選択したセキュリティ設定に応じてセットアップ手順が異なります。

- セキュリティを使用しない場合
 1. [ワイヤレスセキュリティの設定] 画面で [セキュリティなし] を選択して、[次へ] をクリックします。
 2. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。
 3. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。（⇒[ネットワーク通信を確認する](#)）
- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** セキュリティを使用する場合
 1. [ワイヤレスセキュリティの設定] 画面で [**WEP**] を選択して、[次へ] をクリックします。

[**WEP** セキュリティ情報] 画面が表示されます。
 2. 適切なネットワークキーを入力して、[次へ] をクリックします。
 3. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。

4. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。 (⇒[ネットワーク通信を確認する](#))
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** セキュリティを使用する場合
 1. [ワイヤレスセキュリティの設定] 画面で [**WPA**] を選択して、[次へ] をクリックします。
[**WPA** セキュリティ情報] 画面が表示されます。
 2. 適切な **WPA** ネットワークキーを入力して、[次へ] をクリックします。
 3. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。
 4. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。 (⇒[ネットワーク通信を確認する](#))
 - **WPA2** セキュリティをサポートするアクセスポイントのみに接続する場合
 1. [ワイヤレスセキュリティの設定] 画面で [**WPA**] を選択して、[**WPA** の詳細設定] をクリックします。
[**WPA** の詳細オプション] ダイアログボックスが表示されます。
 2. [**WPA2** 認証のみを使用する] チェックボックスをオンにして、[**OK**] をクリックします。
[ワイヤレスセキュリティの設定] 画面に戻ります。
 3. [次へ] をクリックします。
 4. 適切な **WPA** ネットワークキーを入力して、[次へ] をクリックします。
 5. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。
 6. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。 (⇒[ネットワーク通信を確認する](#))

アドホックモードでプリントサーバーを手動設定する

プリントサーバーをアドホックモードに設定する場合、選択したセキュリティ設定に応じてセットアップ手順が異なります。インフラストラクチャモードと比較すると、アドホックモードで利用可能なセキュリティオプションは限られています。

- セキュリティを使用しない場合
 1. [ワイヤレスセキュリティの設定] 画面で [セキュリティなし] を選択して、[次へ] をクリックします。
 2. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。
 3. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。 (⇒[ネットワーク通信を確認する](#))
- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** セキュリティを使用する場合
 1. [ワイヤレスセキュリティの設定] 画面で [**WEP**] を選択して、[次へ] をクリックします。
 2. 適切なネットワークキーを入力します。
 3. 追加のネットワークキーを使用する場合は、[複数のネットワークキーを使用する] チェックボックスをオンにして、追加のネットワークキーを入力します。

4. [次へ] をクリックします。
5. [構成の適用と検証] 画面で、各ネットワーク属性をチェックして正しく設定されていることを確認し、[次へ] をクリックして設定を適用します。
6. ネットワークを介してプリントサーバーが通信できることを確認します。 (⇒[ネットワーク通信を確認する](#))

ネットワーク通信を確認する

プリンタソフトウェアのインストールを完了する前に、お使いのプリントサーバーがネットワーク上で通信できることを確認する必要があります。

- プリントサーバーが正しく設定され、ネットワークで使用できる場合、**USB** ケーブルを取り外し、[次へ] をクリックしてプリンタソフトウェアのインストールを続けます。
- プリントサーバーがワイヤレスネットワークに参加できない場合、以下のいずれかの操作を試してください。
 - [設定の表示] をクリックして、正しく設定されていることを確認します。
 - [入力した設定を変更する] を選択して、[次へ] をクリックします。
画面に表示される手順に従い、ワイヤレス設定を更新します。
 - [プリンタをワイヤレスルーターの付近に移動したため、もう一度接続する] を選択してから、[次へ] をクリックします。

操作パネルのメニューについて

- [コピーモード](#)
- [スキャンモード](#)
- [FAX モード](#)
- [写真プリントモード](#)
- [Office ファイルモード](#)
- [PictBridge モード](#)
- [Bluetooth モード](#)
- [セットアップモード](#)
- [メンテナンスモード](#)

コピーモード

メインメニュー	モードのメインメニュー
コピー	カラーコピー
	部数
	品質
	明るさ
	用紙設定
	両面コピー
	ズーム
	原稿サイズ
	原稿の種類

コピーモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [コピー] までスクロールします。
2. 設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
5. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
コピーカラー	カラーまたはモノクロの別を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● カラー * ● モノクロ
部数	印刷する部数を数字（1 ～ 99）で入力します。

品質	<p>コピーの品質を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動 * ● 高速 ● 標準 ● 高品質
明るさ	<p>設定ボタン  を押し、左右の矢印ボタン  を使用して、明るさの設定を調整します。</p>
用紙設定	<p>給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズ <ul style="list-style-type: none"> ○ 8.5 x 11 インチ* ○ 8.5 x 14 インチ ○ A4 ○ B5 ○ A5 ○ A6 ○ L ○ 2L ○ ハガキ ○ 3 x 5 インチ ○ 3.5x 5 インチ ○ 4 x 6 インチ ○ 4 x 8 インチ ○ 5 x 7 インチ ○ 100x150 mm ○ 100x200 mm ○ 130x180 mm ● 用紙の種類 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自動検出 * ○ 普通紙 ○ マット紙 ○ フォトペーパー ○ OHP フィルム
両面コピー	<p>コピーの方法を選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 片面の原稿を片面にコピー* ● 片面の原稿を両面にコピー ● 両面の原稿を片面にコピー ● 両面の原稿を両面にコピー
ズーム	<p>原稿を拡大または縮小する割合を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 50% ● 100%* ● 150% ● 200% ● 任意倍率 ● 用紙に合わせる ● 2 x 2 ポスター ● 3 x 3 ポスター ● 4 x 4 ポスター
原稿サイズ	<p>コピーする原稿のサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動 * ● 8.5 x 11 インチ ● 2.25 x 3.25 インチ ● 3 x 5 インチ

	<ul style="list-style-type: none"> • 3.5 x 5 インチ • 4 x 6 インチ • 4 x 8 インチ • 5 x 7 インチ • 8 x 10 インチ • L • 2L • ハガキ • A6 • A5 • B5 • A4 • 60x80 mm • 90x130 mm • 100x150 mm • 100x200 mm • 130x180 mm • 200x250 mm
原稿の種類	<p>コピーする原稿の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • グラフィックス * • テキストのみ • 写真
* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

スキャンモード

スキャンモードメニューが使用できるのは、プリンタがコンピュータまたはネットワークアダプタに接続されている場合のみです。

メインメニュー	モードのメインメニュー
スキャン	スキャンカラー
	パソコンに保存
	メモ리카ードに保存
	品質
	原稿サイズ

スキャンモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [スキャン] までスクロールします。
2. 設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
5. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押して設定を保存します。

メ	可能な操作
---	-------

<p>ニュー 項目</p>	
<p>スキャ ンカ ラー</p>	<p>カラーまたはモノクロの別を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カラー * • モノクロ
<p>パソコ ンに保 存</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プリンタが直接接続されている場合： 左右の矢印ボタン   を使用して、画像または文書を取り込むことができるアプリケーション名をスクロールします。 • プリンタがネットワークに接続されている場合： 左右の矢印ボタン   を使用して選択可能なコンピュータ名をスクロールし、設定ボタン  を押してコンピュータで利用できるアプリケーションのリストにアクセスします。 <p>メモ： スキャンした画像またはドキュメントを送るコンピュータで PIN が必要な場合は、スキャンを開始する前に PIN の入力を求めるメッセージが表示されます。ネットワーク経由でのスキャンについての詳細 (⇒ネットワーク経由でドキュメントまたは写真をスキャンする)</p>
<p>メモリ カード に保存</p>	<p>原稿台または ADF にセットした文書や画像を、セットしたメモリカードまたは USB キーに自動的に保存します。</p>
<p>品質</p>	<p>原稿または画像をスキャンする解像度を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 * • 75 dpi • 150 dpi • 300 dpi • 600 dpi
<p>原稿サ イズ</p>	<p>スキャンする原稿のサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動検出 * • 8.5 x 11 インチ • 2.25 x 3.25 インチ • 3 x 5 インチ • 3.5 x 5 インチ • 4 x 6 インチ • 4 x 8 インチ • 5 x 7 インチ • 8 x 10 インチ • L • 2L • ハガキ • A6 • A5 • B5 • A4 • 600x800 mm • 90x130 mm • 100x150 mm • 100x200 mm • 130x180 mm • 200x250 mm
<p>* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定</p>	

FAX モード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー	モードのサブメニュー
FAX	FAX カラー	モノクロ*	
		カラー	
	アドレス帳	表示	
		追加	
		削除	
		変更	
		印刷	
	オンフック		
	日時指定	予約送信	
		保留 FAX の表示	
	品質	標準	
		ファイン	
		スーパーファイン	
		ウルトラファイン	
	明るさ		
	詳細設定	管理レポート	通信管理レポート
			送信確認
			管理レポートの表示
		自動受信と呼出音	自動受信
			呼出音量
			受信モード
			着信音の選択
			FAX 転送
			通知形式
			印刷設定
		用紙に合わせて縮小	
		フッター	
両面印刷			
ダイヤルと送信		発信元 FAX 番号	
		発信者名	
		回線の種類	
		リダイヤル間隔	
		リダイヤル回数	
		外線発信番号	
		ダイヤル音	
		スキャン	

	着信拒否	最高送信速度
		自動 FAX 変換
		エラー修正
		オン/オフ
		追加
		削除
		変更
		印刷
		FAX ID なし

FAX モードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [FAX] までスクロールします。
2. 設定ボタン  を押します。
3. 電話番号の入力を求める画面が表示されます。設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
6. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押して設定を保存するか、サブメニューに切り替えます。

FAX 機能を正しく使用するには、次の条件が必要です。

- プリンタの FAX コネクタ ( - 下側のコネクタ) が使用可能な電話線に接続されている。セットアップの詳細については、[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#) を参照してください。

 **メモ**：DSL（デジタル加入者回線）または ISDN（統合デジタル通信サービス網）では、デジタル回線フィルタを購入しないと、FAX 操作を行うことができません。詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

- アプリケーション内から FAX を送信する場合は、プリンタを USB ケーブルでコンピュータと接続する必要があります。

メニュー項目	可能な操作
FAX カラー	カラーまたはモノクロの別を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • モノクロ* • カラー
アドレス帳	アドレス帳で実行する操作を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 表示 • 追加 • 削除 • 変更 • 印刷 <p>アドレス帳の詳細 (⇒短縮ダイヤルを使用する)</p>
オンフック	プリンタでオンフックダイヤルを使用するには、設定ボタン  を押します。

ク	
日時指定	<p>FAX の送信日時を指定します。または、保留中の FAX を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 予約送信 • 保留 FAX の表示
品質	<p>送信 FAX の品質（解像度）を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準 * • ファイン • スーパーファイン • ウルトラファイン
明るさ	<p>左右の矢印ボタン  を使用して、明るさの設定を指定します。アスタリスク（*）がバーの中央にある場合、明るさの設定がデフォルトの状態であることを示します。</p>
詳細設定	<p>プリンタの FAX 設定で、さまざまなセットアップ項目を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理レポート • 自動受信と呼出音 • 印刷設定 • ダイヤルと送信 • 着信拒否
* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

FAX 設定メニュー

[詳細設定] の項目で選択したオプションに応じた設定がディスプレイに表示されます。

1. [詳細設定] メニューで、左右の矢印ボタン  を使用して、選択可能なオプションをまでスクロールします。
2. 設定ボタン  を押します。

FAX 設定メニュー

メニュー項目	可能な操作
管理レポート	<p>印刷設定を行うレポートの種類を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通信管理レポート • 送信確認 • 管理レポートの表示 <p>[管理レポート] の項目に含まれるオプションの詳細 (⇒その他の FAX オプション)</p>
自動受信と呼出音	<p>プリンタの FAX 設定で、さまざまな受信方法や着信音の機能を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動受信 • 着信音量 • 受信モード • 着信音の選択 • FAX 転送 • 通知形式 <p>[自動受信と呼出音] の項目に含まれるオプションの詳細 (⇒その他の FAX オプション)</p>
印刷設定	<p>FAX を印刷する方法についての設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙設定 • 用紙に合わせて縮小 • フッター

	<ul style="list-style-type: none"> 両面印刷 <p>[印刷設定] の項目に含まれるオプションの詳細 (⇒その他の FAX オプション)</p>
ダイヤルと送信	<p>FAX の送信方法を制御するさまざまなオプションを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信元 FAX 番号 - キーパッドを使用して自局の FAX 番号を入力します。ここで入力した番号が FAX のフッターで使用されます。 発信者名 - キーパッドを使用して発信者名を入力します。ここで入力した名前が FAX のフッターで使用されます。 回線の種類 リダイヤル間隔 リダイヤル回数 外線発信番号 ダイヤル音 スキャン 最高送信速度 自動 FAX 変換 エラー修正 <p>[ダイヤルと送信] の項目に含まれるオプションの詳細 (⇒その他の FAX オプション)</p>
着信拒否	<p>FAX の着信を拒否する番号を追加または削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> オン/オフ 追加 削除 変更 印刷 FAX ID なし <p>[着信拒否] の項目に含まれるオプションの詳細 (⇒その他の FAX オプション)</p>

その他の FAX オプション

- 左右の矢印ボタン   を使用して、選択できるオプションをスクロールします。
- 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押して設定を保存します。

その他の FAX オプション

メニュー項目	可能な操作
通信管理レポート	<p>通信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> リクエスト時 * FAX 40 通毎
送信確認	<p>送信管理レポートを印刷する頻度を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> エラー時 * オフ 毎回印刷
管理レポートの表示	<p>印刷する管理レポートまたは履歴の種類を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信管理レポート 送信履歴 受信履歴 設定のリスト
自動受信	<p>自動受信設定を指定します。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> • オン * • 時間指定 • オフ
着信音量	<p>着信時のプリンタの内蔵スピーカーの音量を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ • 低 * • 高
受信モード	<p>プリンタが [自動受信] モードに設定されている場合に、FAX を受信するまでの着信音の回数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 着信音 1 回後 • 着信音 2 回後 • 着信音 3 回後 * • 着信音 5 回後 <p>メモ：着信拒否機能を使用するには、着信音を 2 回以上に設定する必要があります。</p>
着信音の選択	<p>プリンタが着信に应答する着信音の種類を指定します。[指定なし] を選択すると、プリンタはすべての着信に应答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シングル* • ダブル • トリプル • 指定なし
FAX 転送	<p>着信した FAX を別の FAX 番号に転送するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ * • 転送 • 印刷して転送
通知形式	<p>使用する通知形式を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 形式 1 * • 形式 2 • 形式 n <p>メモ：国/地域の設定に応じて、表示されるパターン番号は異なります。</p>
用紙設定	<p>給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙サイズ <ul style="list-style-type: none"> ◦ 8.5 x 11 インチ* ◦ 8.5 x 14 インチ ◦ A4 ◦ B5 ◦ A5 ◦ A6 ◦ L ◦ 2L ◦ ハガキ ◦ 3 x 5 インチ ◦ 3.5x 5 インチ ◦ 4 x 6 インチ ◦ 4 x 8 インチ ◦ 5 x 7 インチ ◦ 100x150 mm ◦ 100x200 mm ◦ 130x180 mm • 用紙の種類 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 自動検出 * ◦ 普通紙

	<ul style="list-style-type: none"> ○ マット紙 ○ フォトペーパー ○ OHP フィルム
用紙に合わせて縮小	<p>用紙サイズより大きな FAX を、給紙トレイの用紙に合わせて縮小するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 用紙に合わせる* ● しない
フッター	<p>受信した各 FAX のフッターに時刻/日付/ページ数/システム ID を印刷するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン * ● オフ
両面印刷	<p>受信した FAX の印刷方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 両面印刷 ● 片面印刷
回線の種類	<p>プリンタで使用する回線の種類を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トーン* ● パルス ● PBX 経由
リダイヤル間隔	<p>送信できなかった FAX 番号をリダイヤルするまでにプリンタが待機する時間を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1 分 ● 2 分 * ● 3 分 ● 4 分 ● 5 分 ● 6 分 ● 7 分 ● 8 分
リダイヤル回数	<p>送信できなかった FAX 番号をリダイヤルする回数を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0 回 ● 1 回 ● 2 回 ● 3 回 * ● 4 回 ● 5 回
外線発信番号	<p>ダイヤルする各番号の前に追加する 8 桁以下の番号を指定します。</p> <p>メモ： ダイヤルする際には、外線発信番号の後に自動的にポーズが挿入されます。</p> <p>外線発信番号が設定されていない場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● なし * ● 付ける <p>外線発信番号が設定されている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の外線番号を表示 ● なし
ダイヤル音	<p>発信音量を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オフ

	<ul style="list-style-type: none"> • 低 * • 高
スキャン	<p>FAX 番号をダイヤルする前または後で、原稿をスキャンしてメモリに保存するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ダイヤル前 * • ダイヤル後
最高送信速度	<p>FAX の最高送信速度を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2400 • 4800 • 7200 • 9600 • 12000 • 14400 • 16800 • 19200 • 21600 • 24000 • 26400 • 28800 • 31200 • 33600*
自動 FAX 変換	<p>自動 FAX 変換機能のオン/オフを切り替えます。低解像度で出力する FAX 機器に高解像度の原稿を送信する場合、プリンタは自動的に解像度を変換して、送信先の FAX 機器に合わせます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン * • オフ
エラー修正	<p>エラー修正機能を有効にするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン * • オフ
オン/オフ	<p>着信拒否機能のオン/オフを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ *
FAX ID なし	<p>番号非通知の FAX を受信しない機能のオン/オフを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ *
* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

写真プリントモード

メモリカードをプリンタにセットしているか、USB キーまたは PictBridge 対応のデジタルカメラを PictBridge ポートに接続している場合のみ、写真プリントモードを使用できます。

メインメニュー	モードのメインメニュー
写真	コンピュータの選択
	セレクトシート

DPOF 印刷
写真のカラー
自動修整
写真の保存
画像の印刷
写真サイズ
用紙設定
品質

写真プリントモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メモリカードをカードスロットにセットするか、USB キーを PictBridge ポートにセットします。

注意： メモリカードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリカードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。データが破損する場合があります。

2. メモリカードまたは USB キーに写真のみが含まれている場合、ディスプレイは自動的に写真モードに切り替わります。左右の矢印ボタン   を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタンを押します。

メモリカードまたは USB キーに文書と写真の両方が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージが表示されます。左右の矢印ボタン   を押して [写真] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

3. 左右の矢印ボタン   を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。

4. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
コンピュータの選択	写真を保存するコンピュータを選択します。プリンタがネットワーク接続され、ネットワーク接続をサポートしているコンピュータのリストを受信している場合にのみ有効です。
セレクトシート	セレクトシートを使用して、写真の印刷方法を管理します。 <ul style="list-style-type: none"> • [セレクトシートの印刷] サブメニューで、矢印ボタン   を使用して以下の設定を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ すべて ◦ 最新 25 枚 ◦ 期間 • [セレクトシートのスキャン] サブメニューで、[スタート] ボタン  を押してセレクトシートのスキャンを開始します。(⇒セレクトシートを使用して写真を印刷する)
DPOF 印刷 メモ： DPOF (Digital Print Order Format) 画像を保存しているメモリカードがプリンタにセットされているか、DPOF 画像を保存している PictBridge 対応デジタルカメラが PictBridge ポートに接続されている場合にのみ、このメニュー項目を使用できます。	[スタート] ボタン  を押すと、メモリカードの DPOF 画像がすべて印刷されます。(⇒ PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する)
写真のカラー	写真のカラーを指定します。 • *

	<p>カラー</p> <ul style="list-style-type: none"> • モノクロ • セピア
自動修整	<p>写真の画質を自動で修整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ * • オン
写真の保存	<p>設定ボタン  を押すと、コンピュータでメモリカードマネージャが起動します。</p>
画像の印刷	<p>設定ボタン  を押すと、メモリカード、USB キー、または PictBridge 対応デジタルカメラの画像がすべて印刷されます。</p>
写真サイズ	<p>写真のサイズを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4 x 6 インチ* • 5 x 7 インチ • 8 x 10 インチ • L • 2L • 60x80 mm • 100x150 mm • 130x180 mm • 8.5 x 11 インチ • A4 • A5 • B5 • A6 • ハガキ • US Wallet • 3.5 x 5 インチ
用紙設定	<p>給紙トレイにセットされている用紙のサイズを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙サイズ <ul style="list-style-type: none"> ◦ 8.5 x 11 インチ* ◦ 8.5 x 14 インチ ◦ 4 x 6 インチ ◦ A4 ◦ B5 ◦ A5 ◦ A6 ◦ L ◦ 2L ◦ ハガキ ◦ 3 x 5 インチ ◦ 3.5 x 5 インチ ◦ 4 x 6 インチ ◦ 4 x 8 インチ ◦ 5 x 7 インチ ◦ 100x150 mm ◦ 100x200 mm ◦ 130x180 mm • 用紙の種類 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 自動検出 * ◦ 普通紙 ◦ マット紙 ◦ フォトペーパー

	○ OHP フィルム
品質	写真の印刷品質を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 自動 * ● 高速 ● 標準 ● 高品質
* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

Office ファイルモード

Office ファイルモードは、文書が保存されているメモ리카ードまたは USB キーがプリンタにセットされている場合にのみ使用できます。

プリンタは、以下の拡張子のファイルを認識します。

- .doc (Microsoft® Word)
- .xls (Microsoft Excel)
- .ppt (Microsoft PowerPoint®)
- .pdf (Adobe® Portable Document Format)
- .rtf (リッチテキスト形式)
- .docx (Microsoft Word Open Document Format)
- .xlsx (Microsoft Excel Open Document Format)
- .pptx (Microsoft PowerPoint Open Document Format)
- .wps (Microsoft Works)
- .wpd (Word Perfect)

 **メモ：** Office ファイルモードメニューを使用するには、USB ケーブル経由でプリンタがコンピュータに接続され、適切なプリンタソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要があります。

Office ファイルモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. コンピュータがプリンタに接続され、電源がオンになっていることを確認します。
2. メモ리카ードをカードスロットにセットするか、USB キーを PictBridge ポートにセットします。

 **注意：** メモ리카ードまたは USB キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモ리카ードまたは USB キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。データが破損する場合があります。

3. メモ리카ードまたは USB キーに文書のみが含まれている場合、ディスプレイは自動的に office ファイルモードに切り替わります。左右の矢印ボタン  を押してファイルをスクロールし、設定ボタン  を押して印刷します。

メモ리카ードまたは USB キーに文書と写真の両方が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン  を押して [文書] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

4. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。

メニュー項目	可能な操作
Office ファイル	左右の矢印ボタン  を使用して、USB キーまたはメモ리카ードに保存されたフォルダと Office ファイルをスクロールします。設定ボタン  を押すと、フォルダの内容にアクセスしたり、印刷するファイルを選択できます。

PictBridge モード

PictBridge 対応のカメラを接続すると、プリンタは自動的に PictBridge モードに切り替わります。カメラを操作することで写真を印刷できます。(⇒[PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する](#))

メインメニュー	モードのメインメニュー
PictBridge	用紙サイズ
	写真サイズ
	レイアウト
	品質
	用紙の種類

1. プリンタが PictBridge モードに切り替わったら、左右の矢印ボタン  を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。
2. 左右の矢印ボタン  を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
3. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
用紙サイズ	給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 8.5 x 11 インチ • 8.5 x 14 インチ • 4 x 6 インチ • A4 • B5 • A5 • A6 • L • 2L • ハガキ • 3 x 5 インチ • 3.5 x 5 インチ • 4 x 6 インチ • 4 x 8 インチ • 5 x 7 インチ • 100x150 mm • 100x200 mm • 130x180 mm

写真サイズ	<p>印刷する写真のサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2.25 x 3.25 インチ • 3.5 x 5 インチ • 4 x 6 インチ* • 5 x 7 インチ • 8 x 10 インチ • 8 x 11 インチ • L • 2L • ハガキ • A6 • A5 • B5 • A4 • 60 x 80 mm • 90 x 130 mm • 100 x 150 mm • 130 x 180 mm • 200 x 250 mm
レイアウト	<p>印刷するページの写真のレイアウトを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 * • フチなし • 1 枚/ページ • 2 枚/ページ • 3 枚/ページ • 4 枚/ページ • 6 枚/ページ • 8 枚/ページ • 16 枚/ページ • 中央
品質	<p>写真の印刷品質（解像度）を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 * • 高速 • 標準 • 高品質
用紙の種類	<p>給紙トレイにセットされている用紙の種類を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動検出 * • 普通紙 • マット紙 • フォトペーパー • OHP フィルム
* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

Bluetooth モード

Bluetooth™ アダプタ（別売）を PictBridge ポートにセットすると、プリンタは自動的に Bluetooth モードに切り替わります。

メインメニュー	モードのメインメニュー
Bluetooth	有効

検出
プリンタ名
セキュリティレベル
パスキー
デバイスリストの消去

1. 左右の矢印ボタン   を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。
2. 左右の矢印ボタン   を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールします。
3. 選択する設定がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押して設定を保存します。

メニュー項目	可能な操作
有効	<p>プリンタが Bluetooth 接続を受け入れ、USB Bluetooth アダプタが他の Bluetooth 対応デバイスと通信できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ • オン *
検出	<p>他の Bluetooth 対応デバイスが、プリンタに接続された USB Bluetooth アダプタを検出できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ • オン *
プリンタ名	<p>プリンタの名前とサービスタグナンバーを表示します。</p> <p>メモ： Bluetooth ワイヤレス仕様を使用してコンピュータに接続されているデバイスとして、この名前がプリンタの一覧に表示されます。</p>
セキュリティレベル	<p>Bluetooth 接続のセキュリティ設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高 • 低 *
パスキー	<p>パスキーを指定します。すべての Bluetooth 対応の外部デバイスで、印刷ジョブを送信する前にこのパスキーを入力する必要があります。</p> <p>メモ： セキュリティレベルが [高] に設定されている場合にのみ、パスキーを指定する必要があります。</p>
デバイスリストの消去	<p>リストにあるデバイス名を削除します。設定ボタン  を押すと、デバイスリストがクリアされます。リストがクリアされる前に、確認メッセージが表示されます。</p> <p>メモ： このサブメニューは、セキュリティレベルが [高] に設定されている場合にのみ利用できます。</p> <p>メモ： プリンタには、最大 8 つの Bluetooth 対応の外部デバイスを保存できます。プリンタで検出されたデバイスが 8 つを超えた場合、使用履歴が最も古いデバイスがリストから削除されます。</p>
* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定	

セットアップモード

メインメニュー	モードのメインメニュー	モードのサブメニュー	モードのサブメニュー

セットアップ	用紙設定	用紙サイズ	
		用紙の種類	
	デバイス設定	言語	
		国/地域	
		日付/時刻	
		ホスト FAX 設定	
		ボタン音	
		節電モード	
		設定リセットタイムアウト	
	標準設定	写真プリントサイズ	
		標準設定にする	
	ネットワークの設定	設定ページの印刷	
		ワイヤレス設定	ネットワーク
			ワイヤレス信号品質
			プリントサーバーを出荷時設定に戻す
		TCP/IP	DHCP 有効
			IP アドレスの設定/表示
			IP ネットマスクの設定/表示
			IP ゲートウェイの設定/表示
		時刻の同期	

セットアップモードメニューにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [セットアップ] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. 左右の矢印ボタン   を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を使用して、選択できるメニュー項目をスクロールし、設定ボタン  を押します。

セットアップモードのメニュー

メニュー項目	可能な操作
用紙設定	<p>給紙トレイにセットされている用紙のサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙サイズ <ul style="list-style-type: none"> ◦ 8.5 x 11 インチ* ◦ 8.5 x 14 インチ ◦ A4 ◦ B5 ◦ A5 ◦ A6 ◦ L ◦ 2L ◦ ハガキ ◦ 3 x 5 インチ ◦ 3.5 x 5 インチ ◦ 4 x 6 インチ ◦ 4 x 8 インチ

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5 x 7 インチ ○ 100x150 mm ○ 100x200 mm ○ 130x180 mm ● 用紙の種類 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自動検出 * ○ 普通紙 ○ マット紙 ○ フォトペーパー ○ OHP フィルム
デバイス設定	<p>再設定する操作パネルの設定を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語 ● 国/地域 ● 日付/時刻 ● ホスト FAX 設定 ● ボタン音 ● 節電モード ● 設定リセットタイムアウト <p>(⇒ [プリンタ設定] のオプション)</p>
標準設定	<p>標準設定を、出荷時の設定から任意に指定する設定に変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 写真プリントサイズ ● 標準設定にする <p>(⇒ 標準設定のオプション)</p>
ネットワークの設定	<p>ネットワーク設定を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定ページの印刷 ● ワイヤレス設定 ● TCP/IP ● 時刻の同期 <p>(⇒ ネットワーク設定のオプション)</p>
* 出荷時の設定/ユーザーが選択した現在の設定	

[プリンタ設定] のオプション

[セットアップ] メニューから [プリンタ設定] を選択すると、操作パネルの設定を再設定できます。

[プリンタ設定] メニュー

メニュー項目	可能な操作
言語	使用する言語を指定します。
国/地域	使用する国を指定します。
日付/時刻	現在の日時を入力します。
ホスト FAX 設定	<p>プリンタの FAX 設定をプリンタ設定ユーティリティから再設定できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 許可 * ● 禁止
ボタン音	<p>操作パネルのボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン * ● オフ

節電モード	<p>プリンタが節電モードに移行するまでの時間を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ • 60 分後* • 30 分後 • 10 分後 • 今すぐ
設定リセットタイムアウト	<p>設定がクリアされて標準設定に戻るまでの時間を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 分 * • オフ
* 出荷時の設定/ユーザーが選択した現在の設定	

標準設定のオプション

[セットアップ] メニューから [標準設定] を選択すると、操作パネルの標準設定を指定できます。

[標準設定] メニュー

メニュー項目	可能な操作
写真プリントサイズ	写真のサイズを指定します。
標準設定にする	<p>プリンタで使用する設定を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在の設定 • 出荷時設定

ネットワーク設定のオプション

[セットアップ] メニューから [ネットワークの設定] を選択すると、ネットワーク設定のオプションを設定できます。

[ネットワークの設定] メニュー

メニュー項目	可能な操作
設定ページの印刷	ワイヤレスネットワーク設定のリストを印刷します。
ワイヤレス設定	<p>ワイヤレス設定オプションを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク • ワイヤレス信号品質
TCP/IP	<p>TCP/IP オプションを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCP 有効 • DHCP が無効の場合、ディスプレイに次の項目が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ IP アドレスの設定 ◦ IP ネットマスクの設定 ◦ IP ゲートウェイの設定 • DHCP が有効の場合、ディスプレイに次の項目が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ IP アドレスの表示 ◦ IP ネットマスクの表示 ◦ IP ゲートウェイの表示
時刻の同期	<p>ネットワークのタイムサーバーに従ってプリンタの内蔵クロックを更新できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有効 • 無効

プリントサーバーを出荷時設定に戻す	すべてのワイヤレスネットワーク設定をクリアします。
-------------------	---------------------------

ワイヤレス設定

メニュー項目	可能な操作
ネットワーク	現在使用している SSID を表示します。 メモ： [ネットワーク名] の値は変更できません。
ワイヤレス信号品質	現在のワイヤレス信号強度を表示します。

TCP/IP

メニュー項目	可能な操作
DHCP 有効	プリンタの DHCP 機能を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • はい* • いいえ メモ： DHCP が有効の場合、IP アドレス、IP ネットマスク、および IP ゲートウェイを変更または設定することはできません。
IP アドレスの設定	キーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。設定ボタン  を押して、設定を保存します。 メモ： DHCP が有効の場合、IP アドレスは変更できません。代わりに、ディスプレイに [IP アドレスの表示] が表示されます。
IP ネットマスクの設定	キーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。設定ボタン  を押して、設定を保存します。 メモ： DHCP が有効の場合、IP ネットマスクは変更できません。代わりに、ディスプレイに [IP ネットマスクの表示] が表示されます。
IP ゲートウェイの設定	キーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。設定ボタン  を押して、設定を保存します。 メモ： DHCP が有効の場合、IP ゲートウェイは変更できません。代わりに、ディスプレイに [IP ゲートウェイの表示] が表示されます。

* 出荷時の設定 / ユーザーが選択した現在の設定

メンテナンスモード

メインメニュー	モードのメインメニュー
メンテナンス	インク残量
	ノズル清掃
	プリントヘッド調整
	テスト印刷

メンテナンスモードメニューの設定を表示または変更するには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [メンテナンス] までスクロールします。
2. 設定ボタン  を押します。

3. 左右の矢印ボタン   を使用して、選択する項目をディスプレイに表示し、設定ボタン  を押します。

メニュー項目	可能な操作
インク残量	設定ボタン  を押すと、2つのカートリッジのインク残量が表示されます。
ノズル清掃	設定ボタン  を押すと、カートリッジが清掃されます。テストパターンが印刷されます。印刷した用紙は捨ててください。
プリントヘッド調整	設定ボタン  を押すと、プリントヘッドが調整されます。調整パターンが印刷されます。印刷した用紙は捨ててください。
テスト印刷	設定ボタン  を押すと、テストページが印刷されます。印刷した用紙は捨ててください。

ピアトゥピアネットワーク

- [ネットワーク上でプリンタを共有する](#)
- [他のネットワークコンピュータで共有プリンタを追加する](#)

Dell™ Internal Wireless Adapter 1000 を使用しなくても、プリンタをネットワーク上で他のユーザーと共有することができます。USB ケーブルでプリンタを直接コンピュータ（ホストコンピュータ）に接続し、ピアトゥピア共有を介してネットワーク上でプリンタを共有できるようにします。コンピュータを使用してプリンタを共有すると、コンピュータの速度が低下する可能性があります。

プリンタを共有するには：

1. プリンタに "共有名" を割り当てます。（⇒ [ネットワーク上でプリンタを共有する](#)）
2. 接続して共有プリンタを使用するネットワークコンピュータの設定を行います。詳細については、[他のネットワークコンピュータで共有プリンタを追加する](#)を参照してください。

ネットワーク上でプリンタを共有する

USB ケーブルでプリンタが直接接続されているホストコンピュータまたはネットワークコンピュータ上で、プリンタを共有します。

Windows Vista™ の場合：

1.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
2. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
3. [プリンタ] をクリックします。
4. プリンタのアイコンを右クリックして、[共有] を選択します。
5. [共有オプションの変更] をクリックします。
6. [続行] をクリックします。
7. [このプリンタを共有する] をクリックして、プリンタ名を割り当てます。
8. [OK] をクリックします。

Windows® XP および Windows 2000 の場合：

1. Windows XP の場合は、[スタート] * [設定] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. プリンタのアイコンを右クリックして、[共有] を選択します。
3. [このプリンタを共有する] をクリックして、プリンタ名を割り当てます。
4. [OK] をクリックします。

他のネットワークコンピュータで共有プリンタを追加する

ネットワーク上の他のコンピュータとプリンタを共有するには、クライアントコンピュータで以下の手順を実行します。

*Windows Vista*の場合：

1.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
2. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
3. [プリンタ] をクリックします。
4. [プリンタの追加] をクリックします。
5. [ネットワーク、ワイヤレスまたは **Bluetooth** プリンタを追加します] をクリックします。
6. 共有プリンタに手動で接続するには、[探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリックします。
7. [プリンタ名または **TCP/IP** アドレスでプリンタを検索] ダイアログボックスで、[共有プリンタを名前を選択する] をクリックしてから、プリンタの共有名を入力します。

プリンタを共有するコンピュータの名前を確認するには、ホストコンピュータで以下の操作を行います。

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
 - b. [システムとメンテナンス] をクリックします。
 - c. [システム] をクリックします。
8. [次へ] をクリックします。
 9. コンピュータの画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

1. *Windows XP* の場合は、[スタート] * [設定] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [プリンタの追加] をクリックします。
3. [プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスで [次へ] をクリックします。
4. [ローカル プリンタまたはネットワーク プリンタ] ダイアログボックスで、[ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] をクリックします。
5. [次へ] をクリックします。
6. [プリンタの指定] ダイアログボックスで、[指定したプリンタに接続する] をクリックしてから、プリンタの共有名を入力します。

プリンタを共有するコンピュータの名前を確認するには、ホストコンピュータで以下の操作を行います。

- a. *Windows XP* の場合は、[スタート] * [設定] * [コントロール パネル] * [パフォーマンスとメンテナンス] * [システム] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [システム] の順にクリックします。

用紙や原稿をセットする

- [用紙のセット](#)
- [自動用紙センサーのはたらき](#)
- [原稿をセットする](#)

用紙のセット

1. 用紙をさばきます。



2. 用紙サポートの中央に用紙をセットします。

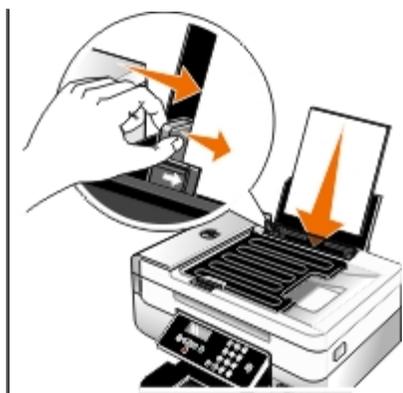
3. 用紙ガイドを用紙の両端に合わせます。



- ✎ **メモ：** 用紙ガイドを両方同時に引っ張らないでください。一方の用紙ガイドを移動すると、それに合わせてもう一方のガイドが調整されます。
- ✎ **メモ：** 用紙をプリンタに無理に押し込まないでください。用紙は、用紙サポートに沿うように平らに置き、両端が左右の用紙ガイドに接するようにセットします。

印刷用紙のガイドライン

セット可能枚数	以下の点をチェックしてください。
普通紙： 100 枚	<ul style="list-style-type: none">● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。● レターヘッド付き用紙の場合は、レターヘッドのある方をプリンタ側に向けて、印刷面を上に向けてセットします。



マット紙： 100 枚

- 用紙の印刷面を上に向けてセットします。
- 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
- [自動]、[標準]、または[写真]のいずれかの印刷品質を選択します。

バナー紙： 20 枚



- 他の用紙が用紙サポートにある場合は、取り除いてからバナー紙をセットします。
- インクジェット用のバナー紙を使用してください。
- バナー紙の束をプリンタの上または後方に置き、1枚目をプリンタに差し込みます。
- 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
- [A4 バナー] または [US レター バナー] のどちらかの用紙サイズを選択します。

封筒： 10 枚



- 封筒の印刷面を上に向けてセットします。
- 用紙ガイドを封筒の両端に合わせます。
- 印刷方向を[横]に設定します。

メモ： 国内で使用する封筒を印刷する場合、切手の位置を右下にして縦向きに印刷することも、切手の位置を左下にして横向きに印刷することもできます。海外向けの封筒を印刷する場合は、切手の位置を左上にして横向きに印刷してください。



- 正しい封筒サイズを選択します。正確な封筒サイズがリストに表示されない場合は次に大きなサイズを選択し、左右にマージンを設定して封筒に印刷されるテキストの位置を調整します。

ラベル用紙： 25 枚

- ラベルシートの印刷面を上に向けてセットします。
- 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
- [自動]、[標準]、または[写真]のいずれかの印刷品質を選択します。

グリーティングカード、インデックスカード、ポストカード、フォトカード： 25 枚

- カードの印刷面を上に向けてセットします。
- 用紙ガイドをカードの端に合わせます。
- [自動]、[標準]、または[写真]のいずれかの印刷品質を選択します。



フォトペーパー/光沢紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙の印刷面を上に向けてセットします。 ● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 ● [自動]、[標準]、または[写真]のいずれかの印刷品質を選択します。
アイロンプリント紙： 10 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● アイロンプリント紙のパッケージに記載されたセット手順に従います。 ● アイロンプリント紙の印刷面を上に向けてセットします。 ● 用紙ガイドをアイロンプリント紙の端に合わせます。 ● [自動]、[標準]、または[写真]のいずれかの印刷品質を選択します。
OHP フィルム： 50 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● OHP フィルムのざらざらした方の面を上に向けてセットします。 ● 用紙ガイドを OHP フィルムの端に合わせます。

自動用紙センサーのはたらき

プリンタには自動用紙センサーが装備されており、以下の種類の用紙を検出できます。

- 普通紙/マット紙
- OHP フィルム
- フォトペーパー/光沢紙

これらの種類の用紙をセットすると、プリンタが用紙の種類を検出して、[品質/速度] 設定が自動的に調整されます。

用紙の種類	[品質/速度] 設定	
	ブラックカートリッジとカラーカートリッジがセットされている場合	フォトカートリッジとカラーカートリッジがセットされている場合
普通紙/マット紙	標準	高品質
OHP フィルム	標準	高品質
フォトペーパー/光沢紙	高品質	高品質

 **メモ：** プリンタでは用紙サイズは検出されません。

用紙サイズを選択するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

用紙や原稿をセットする

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. [印刷設定] タブで、用紙のサイズを選択します。
4. [OK] をクリックします。

自動用紙センサーはオフにしない限り、常にオンになっています。特定の印刷ジョブのために自動用紙センサーをオフにするには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. [印刷設定] タブで、用紙の種類を選択します。
4. [OK] をクリックします。

印刷実行時に常に自動用紙センサーをオフにするには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista™* の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows® XP の場合は、[スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. プリンタのアイコンを右クリックします。
3. [印刷設定] をクリックします。
4. [印刷設定] タブで、用紙の種類を選択します。
5. [OK] をクリックします。

原稿をセットする

自動原稿フィーダーにセットする

スキャン、コピー、FAX を行う場合、ADF（自動原稿フィーダー）には 25 枚まで原稿をセットできます。複数ページの原稿をセットする場合は、ADF を使用してください。

1. スキャンする側を上にして、原稿を ADF にセットします。



 **メモ：** ハガキ、写真、小さな原稿、薄い原稿（雑誌の切り抜きなど）を ADF にセットしないでください。これらの原稿は原稿台にセットします。

2. ADF の用紙ガイドを原稿の端に合わせます。

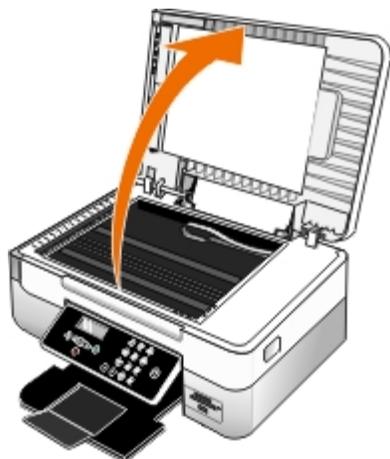
ADF で使用できる用紙

セット可能枚数	以下の点をチェックしてください。
US レターサイズの内紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 原稿面を上にしてセットします。 ● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
リーガルサイズの内紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 原稿面を上にしてセットします。 ● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
A4 サイズの内紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 原稿面を上にしてセットします。 ● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
2 つ穴、3 つ穴、4 つ穴の穴開き用紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） ● 原稿面を上にしてセットします。 ● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
3 つ穴の縁付きコピー用紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） ● 原稿面を上にしてセットします。 ● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。
フォーム用紙、レターヘッド付き用紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm） ● 原稿面を上にしてセットします。 ● 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。 ● 印刷済みの用紙は、ADF で使用する前によく乾かしておきます。 ● 印刷に金属粉インキが使用されている用紙は ADF で使用しないでください。 ● エンボスのある用紙は使用しないでください。
ユーザー定義サイズ用紙： 25 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズの要件は次のとおりです。幅： 8.27 ～ 8.5 インチ（210.0 ～ 215.9 mm） 長さ： 11.0 ～ 14.0 インチ（279.4 ～ 355.6 mm）

- 原稿面を上にしてセットします。
- 用紙ガイドを用紙の端に合わせます。

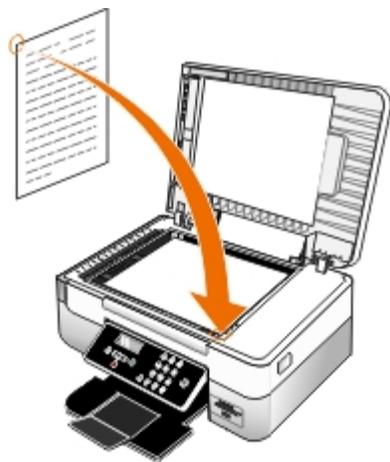
原稿台を使用する

1. 原稿カバーを開きます。



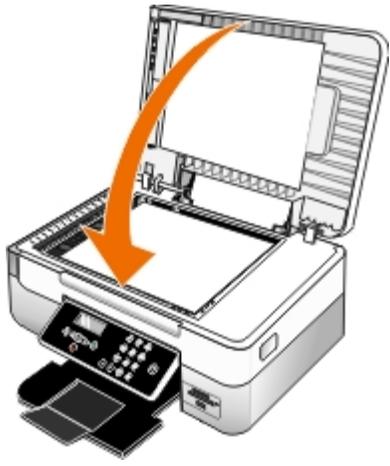
2. 原稿を下向きにして原稿台にセットします。

 **メモ：** このとき、原稿の表の左上の角を、プリンタの矢印に合わせてセットしてください。



3. 原稿カバーを閉じます。

用紙や原稿をセットする



メンテナンス

- [カートリッジの交換](#)
- [プリントヘッドの調整](#)
- [カートリッジノズルの清掃](#)
- [プリンタの表面を清掃する](#)
- [操作パネルのデフォルト設定を変更する](#)
- [出荷時の設定に戻す](#)
- [出荷時の言語設定に戻す](#)

⚠ 危険： このセクションに記載されている手順を実行する前に、『オーナーズマニュアル』の安全に関する情報を読み、その指示に従ってください。

デル製カートリッジは、当社でしか取り扱っておりません。追加のカートリッジは、オンラインで www.dell.com/supplies からご注文いただくか、お電話でご注文ください。

⚠ 危険： お使いのプリンタには、デルブランドのカートリッジを使用してください。デルブランド以外のアクセサリ、部品、またはコンポーネントの使用により問題が発生した場合は、保証の対象とはなりません。

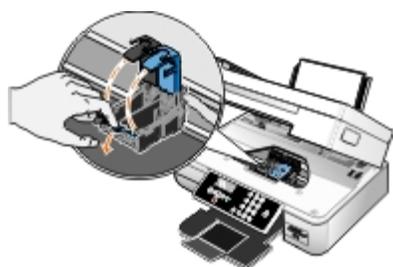
カートリッジの交換

1. プリンタの電源をオンにします。
2. プリンタユニットを持ち上げます。

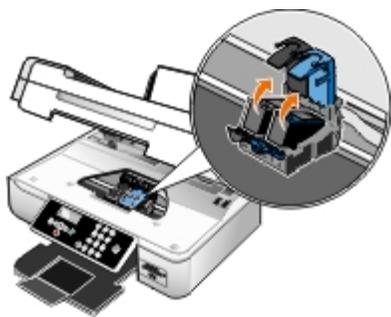


印刷中でなければ、カートリッジホルダーが取り付け位置まで移動して停止します。

3. カートリッジレバーを押し下げると、各カートリッジの蓋が持ち上がります。



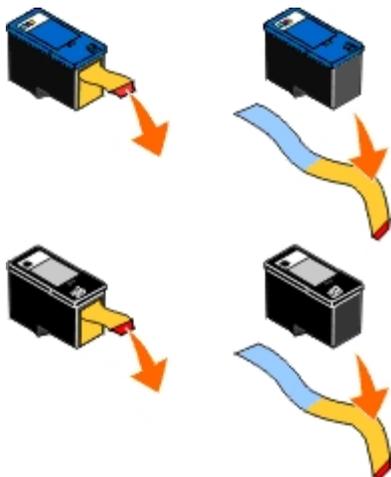
4. 使用済みのカートリッジを取り外します。



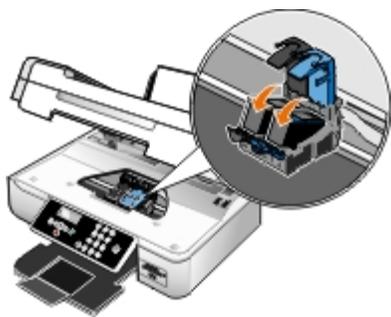
5. カートリッジは、フォトカートリッジに付属する保存容器などの密閉容器に入れて保存するか、適切な方法で廃棄してください。
6. 新品のカートリッジを取り付ける場合は、各カートリッジの背面および下部から粘着テープと透明な保護テープを取り外します。

 **メモ：** カートリッジの裏の接触面または下のノズルに手を触れないでください。

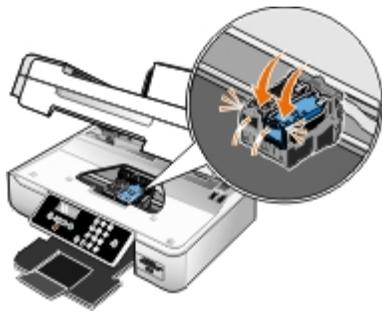
 **メモ：** 下の図は、通常の印刷に使用するブラックカートリッジとカラーカートリッジを示しています。写真印刷の場合は、フォトカートリッジとカラーカートリッジを使用します。



7. 新しいカートリッジを差し込みます。ブラックカートリッジまたはフォトカートリッジを左側のカートリッジホルダーに、またカラーカートリッジを右側のカートリッジホルダーにしっかりと取り付けたことを確認します。



8. ぱちん と音がするまでカートリッジの蓋を閉じます。



9. プリンタユニットを下ろし、完全に閉じます。



プリントヘッドの調整

カートリッジの取り付けまたは交換を行うと、プリントヘッドの調整を求めるメッセージが自動的に表示されます。文字の形が崩れていたり左マージンにそろっていない場合、または縦の線や直線が波打っていたりする場合は、プリントヘッドの調整が必要となることがあります。

操作パネルからプリントヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。(⇒[用紙のセット](#))
2. 左右の矢印ボタン **◀▶** を押して [メンテナンス] までスクロールし、設定ボタン **✔** を押します。
3. 左右の矢印ボタン **◀▶** を押して [プリントヘッド調整] までスクロールし、設定ボタン **✔** を押します。

調整パターンが印刷されます。カートリッジの調整が行われ、調整パターンが印刷されます。調整が完了したら、印刷した用紙は捨ててください。

プリンタソフトウェアからプリントヘッドを調整するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。
2. *Windows Vista™* の場合：
 - a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
 - b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
 - c. [プリンタ] をクリックします。

Windows® XP の場合は、[スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000

の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

3. [Dell 948] のアイコンを右クリックします。
4. [印刷設定] をクリックします。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. [メンテナンス] タブをクリックします。
6. [プリントヘッド調整] をクリックします。
7. [印刷] をクリックします。

調整パターンが印刷されます。カートリッジの調整が行われ、調整パターンが印刷されます。調整が完了したら、印刷した用紙は捨ててください。

カートリッジノズルの清掃

次のような場合は、カートリッジノズルを清掃する必要があります。

- 画像や黒い塗りの部分に白いすじが入る。
- 印刷が不鮮明または濃すぎる。
- 色あせが起こる、印刷できない、または正しく印刷されない。
- 縦の線がギザギザになる、または滑らかでない。

操作パネルからノズルを清掃するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。(⇒[用紙のセット](#))
2. 左右の矢印ボタン  を押して [メンテナンス] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン  を押して [ノズル清掃] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

プリンタソフトウェアからノズルを清掃するには、以下の手順に従います。

1. 普通紙をセットします。
2. *Windows Vista* の場合：
 - a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
 - b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
 - c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

3. [Dell 948] のアイコンを右クリックします。

4. [印刷設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [メンテナンス] タブをクリックします。

6. [ノズル清掃] をクリックします。

テストパターンが印刷されます。

7. 引き続き印刷品質が改善されない場合は、[ノズル清掃を繰り返す] をクリックします。

8. 文書をもう一度印刷して、印刷品質が改善されたことを確認します。

それでも印刷品質が改善されない場合は、乾いた清潔な布でノズルを拭き、ドキュメントをもう一度印刷します。

プリンタの表面を清掃する

1. プリンタの電源をオフにし、電源コードを壁のコンセントから抜いたことを確認します。

 **危険：** 感電しないように、作業を始める前に電源コードを壁のコンセントから抜き、プリンタに接続されたすべてのケーブルを抜いてください。

2. 用紙サポートと排紙トレイから用紙を取り除きます。

3. 清潔で柔らかく、糸くずの出ない布を水で湿らせます。

 **注意：** プリンタの表面を傷める可能性がありますので、家庭用洗剤は使用しないでください。

4. 排紙トレイに付着したインクの汚れを拭き取り、プリンタの表面だけを拭いてください。

 **注意：** 湿った布で内部を拭くと、プリンタが破損する可能性があります。清掃に関する正しい手順に従わなかったためにプリンタが破損した場合、保証は適用されません。

5. 新しい印刷ジョブを開始する前に、用紙サポートと排紙トレイが乾いていることを確認してください。

操作パネルのデフォルト設定を変更する

操作パネルのデフォルト設定を変更するには、以下の手順に従います。

1. プリンタの電源をオンにします。

2. 操作パネルの設定を変更します。

3. 左右の矢印ボタン   を押して [セットアップ] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

4. 左右の矢印ボタン   を押して [標準設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

5. 左右の矢印ボタン   を押して [標準設定にする] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

6. 左右の矢印ボタン   を押して [現在の設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

操作パネルの現在の設定が保存され、新しいデフォルト設定になります。

出荷時の設定に戻す

メニューの設定に「*」マークが付いている場合、現在の設定を示しています。プリンタの設定は、「出荷時の設定」と呼ばれる設定に戻すことができます。

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
2. 操作パネルで、左右の矢印ボタン   を押して [セットアップ] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [標準設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [標準設定にする] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して [現在の設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

これで、出荷時の設定にリセットされます。

出荷時の言語設定に戻す

プリンタのメニューを使用しなくても、ディスプレイの言語を出荷時の設定に戻すことができます。

 **メモ：** この手順を実行すると、他に選択したすべての設定も出荷時の設定に戻ります。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. [戻る] ボタン  と [スタート] ボタン  を押したままにして、電源ボタン  を押します。
3. ディスプレイに [Lang cleared] と表示されたら、ボタンから手を放します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して、使用言語、国/地域、日付/時刻、FAX 番号、FAX 機器名を指定します。設定ボタン  を押して、設定を保存します。

印刷

- [ドキュメントを印刷する](#)
- [写真を印刷する](#)
- [封筒に印刷する](#)
- [Bluetooth® 対応デバイスから印刷する](#)
- [PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する](#)
- [1枚の用紙に複数のページを印刷する](#)
- [画像を分割する \(ポスター\)](#)
- [バナー紙に印刷する](#)
- [小冊子を印刷する](#)
- [小冊子をとじる](#)
- [文書を両面に印刷する \(両面印刷\)](#)
- [印刷ジョブをキャンセルする](#)
- [印刷設定のデフォルトを変更する](#)

ドキュメントを印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。詳細については、[用紙のセット](#)を参照してください。
3. ドキュメントを開いた状態で、[ファイル]、[印刷] の順にクリックします。
[印刷] ダイアログボックスが表示されます。
4. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
5. [印刷設定] タブと [アドバンス] タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
6. 設定の変更を完了したら、[OK] をクリックします。
[印刷設定] ダイアログボックスが閉じます。
7. [OK] または [印刷] をクリックします。

写真を印刷する

 **メモ:** 写真の印刷には、カラーカートリッジとフォトカートリッジの使用をお勧めします。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 印刷面を上に向けて用紙をセットします。

 **メモ:** 写真の印刷には、フォトペーパーまたは光沢紙の使用をお勧めします。

3. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

4. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [印刷設定] タブで [写真] を選択し、ドロップダウンメニューから写真に適した dpi (ドット/インチ) の値を選択します。

 **メモ:** フチなし写真を印刷するには、[印刷設定] タブで [フチなし] チェックボックスをオンにして、[アドバンス] タブのドロップダウンメニューからフチなし用紙のサイズを選択します。フチなし印刷を実行できるのは、フォトペーパー/光沢紙を選択した場合のみです。フォトペーパー/光沢紙以外の用紙に印刷する場合は、すべてのフチに **2 mm** の余白が生じます。

6. [印刷設定] タブと [アドバンス] タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。

7. 設定の変更を完了したら、[OK] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログボックスが閉じます。

8. [OK] または [印刷] をクリックします。

9. 印刷された写真が貼り付いたり、汚れたりしないように、プリンタから排出された写真は **1** 枚ずつ取り除きます。

 **メモ:** 写真をアルバムや額などにはさむ場合、完全にインクが乾くまで十分に時間をおいてください (環境によって **12 ~ 24** 時間かかります)。こうすることで、写真が長持ちします。

封筒に印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 印刷面を上に向けて封筒をセットします。



3. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

4. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [印刷設定] タブで [封筒] を選択して、[用紙サイズ] ドロップダウンメニューから封筒のサイズを選択します。

-  **メモ**：国内で使用する封筒を印刷する場合、切手の位置を右下にして縦向きに印刷することも、切手の位置を左下にして横向きに印刷することもできます。海外向けの封筒を印刷する場合は、切手の位置を左上にして横向きに印刷してください。

国内で使用する封筒を印刷する場合、どちらの方向にセットしてもかまいません。	海外向けの封筒を印刷する場合は、この方向にセットしてください。
	
	

6. [印刷設定] タブと [アドバンス] タブで、必要に応じて文書に変更を加えます。
7. 設定の変更を完了したら、[OK] をクリックします。
[印刷設定] ダイアログボックスが閉じます。
8. [OK] または [印刷] をクリックします。

Bluetooth® 対応デバイスから印刷する

- このプリンタは、Bluetooth 仕様 1.2 に準拠しています。Object Push Profile (OPP)、Serial Port Profile (SPP)、Basic Printing Profile (BPP) のプロファイルをサポートしています。お使いの Bluetooth 対応デバイス（携帯電話や PDA）のメーカー情報を参照して、ハードウェアの互換性および相互運用性を確認してください。Bluetooth 対応デバイスでは、最新のファームウェアを使用することをお勧めします。
- Windows® Mobile/Pocket PC PDA から Microsoft ドキュメントを印刷するには、サードパーティ製ソフトウェアおよびドライバを追加する必要があります。必要なソフトウェアとドライバについての詳細は、PDA のマニュアルを参照してください。
- デル カスタマーサポートにお問い合わせいただく前に、Bluetooth 対応デバイスとの接続のセットアップに関する情報を示したセクションを参照してください。また、support.dell.com からデルサポート Web サイトを参照してください。この Web サイトには最新の資料が掲載されています。Bluetooth 対応デバイスに付属するマニュアルのセットアップ手順に従っていることを確認してください。

プリンタと Bluetooth 対応デバイスとの間の接続をセットアップする

-  **メモ**：プリンタは、Bluetooth 接続を使用してコンピュータからファイルを印刷できません。

Bluetooth デバイスから初めて印刷ジョブを送信する場合は、Bluetooth 対応デバイスとプリンタの間の接続をセットアップする必要があります。以下の場合には再度セットアップを行う必要があります。

- プリンタを出荷時の設定にリセットした。(⇒[出荷時の設定に戻す](#))

- Bluetooth セキュリティレベルまたは Bluetooth パスキーを変更した。(⇒[Bluetooth のセキュリティレベルを設定する](#))
- 使用している Bluetooth 対応デバイスでは、印刷ジョブを送信するたびに Bluetooth 接続をセットアップする必要があります。Bluetooth 印刷に関する情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- Bluetooth デバイスリストの内容を消去した。(⇒[Bluetooth モード](#))
- 使用している Bluetooth デバイスの名前は Bluetooth デバイスリストから自動的に削除されます。

Bluetooth セキュリティレベルが [高] に設定されている場合、以前に接続をセットアップした Bluetooth デバイスが 8 台までプリンタのリストに保存されます。既に 8 台のデバイスがリストにあり、別の Bluetooth デバイスへの接続をセットアップする必要がある場合は、1 台目のデバイスがリストから自動的に削除され、新しいデバイスを保存できます。削除されたデバイスからプリンタに印刷ジョブを送信できるようにするには、そのデバイスのセットアップを再度行う必要があります。

 **メモ：** プリンタに印刷ジョブを送信するために使用する Bluetooth デバイスのそれぞれについて、接続をセットアップする必要があります。

プリンタと Bluetooth 対応デバイス間の接続をセットアップするには、以下の手順に従います。

1. プリンタの電源をオンにします。
2. USB Bluetooth アダプタをプリンタの前面にある USB ポートにセットします。



 **メモ：** プリンタには Bluetooth アダプタは付属していません。

3. 左右の矢印ボタン   を押して [Bluetooth] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [検出] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して [オン] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

これで、プリンタは Bluetooth 対応デバイスからの接続を受け入れる準備ができました。

6. プリンタへの接続をセットアップするため、Bluetooth 対応デバイスを設定します。Bluetooth 接続に関する情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

 **メモ：** プリンタの Bluetooth セキュリティレベルが [高] に設定されている場合、パスキーを入力する必要があります。(⇒[Bluetooth のセキュリティレベルを設定する](#))

Bluetooth のセキュリティレベルを設定する

1. プリンタの電源をオンにします。
2. Bluetooth USB アダプタを USB ポートに接続します。



 **メモ**：プリンタには Bluetooth アダプタは付属していません。

3. 左右の矢印ボタン   を押して [Bluetooth] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [セキュリティレベル] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押してセキュリティレベルを選択し、設定ボタン  を押します。
 - パスキーを入力しなくても Bluetooth デバイスを接続でき、印刷ジョブをプリンタに送信できるようにするには、[低] を選択します。
 - プリンタに接続して印刷ジョブを送信する前に、Bluetooth デバイスで 4 桁の数字のパスキーを入力する必要があるようにするには、[高] を選択します。
6. セキュリティレベルを [高] に設定すると、操作パネルのディスプレイに [パスキー] メニューが表示されます。キーパッドを使用して 4 桁のパスキーを入力し、設定ボタン  を押します。
7. 新しいパスキーを保存するかどうかを選択するメッセージが表示されたら、左右の矢印ボタン   を押して [はい] までスクロールして、設定ボタン  を押します。

Bluetooth 対応デバイスから印刷する

1. プリンタの電源をオンにします。
2. USB Bluetooth アダプタを USB ポートに接続します。



 **メモ**：プリンタには Bluetooth アダプタは付属していません。

3. Bluetooth モードがオンになっていることを確認します。 (⇒[Bluetooth モード](#))
4. プリンタが Bluetooth 接続を受信できるように設定されていることを確認します。 (⇒[プリンタと Bluetooth 対応デバイスとの間の接続をセットアップする](#))

5. プリンタで印刷できるように **Bluetooth** デバイスをセットアップします。 **Bluetooth** 印刷のセットアップに関する情報については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
6. 印刷を開始するには、 **Bluetooth** デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

 **メモ**： プリンタの **Bluetooth** セキュリティレベルが [高] に設定されている場合、パスキーを入力する必要があります。
(⇒[Bluetooth のセキュリティレベルを設定する](#))

PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する

お使いのプリンタは、 **PictBridge** 対応カメラからの印刷をサポートしています。

1. プリンタの電源をオンにします。
2. **USB** ケーブルの一方の端をカメラに接続します。
3. **USB** ケーブルのもう一方の端をプリンタ前面の **PictBridge** ポートに接続します。

カメラに適した **USB** の設定および **PictBridge** 接続の選択と、使用に関する情報については、お使いのカメラに付属する説明書を参照してください。



 **メモ**： プリンタがコンピュータに接続されていない場合に **PictBridge** 対応のカメラをプリンタに接続すると、プリンタの操作パネルの機能の一部が使用できなくなる場合があります。プリンタから **PictBridge** 対応のカメラを外すと、これらの機能が使用できるようになります。

4. デジタルカメラの電源をオンにします。

プリンタは、自動的に **PictBridge** モードになります。

5. 写真の印刷を開始する方法については、カメラの取扱説明書の手順を参照してください。

 **注意**： **PictBridge** 印刷の実行中は、 **PictBridge** 対応デバイスを取り外したり、メモリカードまたは **PictBridge** 対応デバイス付近のプリンタの部分に手を触れたりしないでください。データが破損する場合があります。

 **メモ**： デジタルカメラの **USB** 設定でコンピュータとプリンタ (**PTP**) モードのどちらかを選択できる場合、 **PictBridge** 印刷用にはプリンタ (**PTP**) モードを選択します。詳細については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。(⇒[用紙のセット](#))
3. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

4. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [アドバンス] タブで、[レイアウト] ドロップダウンリストから[割り付け]を選択します。
6. [ページ数/枚] ドロップダウンリストで、1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
7. ページの間に枠線を印刷する場合は、[ページ枠の印刷] チェックボックスをオンにします。
8. [印刷設定] タブと[アドバンス] タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
9. 各ページに印刷するページ数を選択します。
10. 設定を変更したら、[OK] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログボックスが閉じます。

11. [OK] または [印刷] をクリックします。
-

画像を分割する（ポスター）

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒[用紙のセット](#)）
3. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。
4. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [アドバンス] タブで、[レイアウト] ドロップダウンリストから[ポスター]を選択します。
6. ポスターのサイズを選択します。
7. [印刷設定] タブと[アドバンス] タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。
8. 設定を変更したら、[OK] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログボックスが閉じます。

9. [OK] または [印刷] をクリックします。
-

バナー紙に印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒[用紙のセット](#)）
3. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

4. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [アドバンス] タブで、[レイアウト] ドロップダウンリストから [バナー] を選択し、[バナー紙のサイズ] ドロップダウンリストから [US レター バナー] または [A4 バナー] を選択します。

6. [印刷設定] タブと [アドバンス] タブで、必要に応じてドキュメントに変更を加えます。

7. 設定を変更したら、[OK] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログボックスが閉じます。

8. [OK] または [印刷] をクリックします。

 **メモ**：印刷が開始されたら、バナー紙の先端がプリンタから排出されるのを待ち、プリンタの前の用紙を注意して広げます。

小冊子を印刷する

[印刷設定] の設定を変更する前に、アプリケーションで正しい用紙サイズを選択する必要があります。小冊子を印刷するには、次の用紙サイズを使用できます。

- US レター
- A4

1. 用紙をセットします。（⇒[用紙のセット](#)）

2. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

3. [印刷] ダイアログボックスで、[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。

4. [アドバンス] タブをクリックします。

5. [レイアウト] ドロップダウンメニューから [小冊子] を選択します。

6. 厚手の小冊子を印刷する場合は、**1** 組の枚数を数字で選択します。

- a. [オプション] * [レイアウトオプション] の順にクリックします。

- b. [**1** 組の枚数] ドロップダウンメニューから、**1** 組の枚数を選択します。

 **メモ**：1 組とは、折り返して組み合わせた複数の用紙のまとまりを指します。印刷された用紙の組は、正しいページ順序で 1 枚ずつ重ねます。重ねた組をとじると小冊子になります。厚手の用紙に印刷する場合は、[1 組の枚数] で少なめの枚数を指定します。

7. [OK] をクリックして、開いているプリンタソフトウェアのダイアログボックスをすべて閉じます。

8. 文書を印刷します。

 **メモ**：小冊子をとじる方法（⇒[小冊子をとじる](#)）

小冊子をとじる

1. 排紙トレイの印刷済みの用紙を裏返します。
2. 重ねた用紙の一部を取り出して半分に折り返し、最初のページを下にして置きます。
3. 次の一部を取り出して半分に折り返し、最初のページを下にして最初の山の上に置きます。



4. 小冊子が出来上がるまで、残りの用紙を最初のページを下にして順に重ねます。
5. 用紙をとじると、小冊子が完成します。



文書を両面に印刷する（両面印刷）

自動両面印刷機能を使用すると、用紙の向きを手動で変更しなくても、文書を用紙の両面に印刷できます。US レターサイズまたは A4 サイズの普通紙をセットしていることを確認します。封筒、カード用紙、フォトペーパーには両面印刷できません。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。（⇒[用紙のセット](#)）
3. 文書を開いた状態で [ファイル] Ⓜ [印刷] の順にクリックします。
4. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします（アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります）。
5. [アドバンス] タブをクリックし、[両面印刷] チェックボックスをオンにします。
6. ドロップダウンリストから、[自動] を選択します。
7. ページのとじしろを選択します。
8. 設定を変更したら、[OK] をクリックします。
[印刷設定] ダイアログボックスが閉じます。
9. [OK] または [印刷] をクリックします。

印刷ジョブをキャンセルする

ローカルコンピュータからのジョブ

USB ケーブル経由でプリンタに接続されているコンピュータから送信された印刷ジョブをキャンセルするには、次の 2 とおりの方法があります。

[プリンタ] フォルダから：

1. *Windows Vista™* の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows® XP の場合は、[スタート] * [設定] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [Dell 948] のアイコンを右クリックします。
3. [開く] をクリックします。
4. 表示される一覧から、中止するジョブを選択します。
5. [ドキュメント] メニューで [キャンセル] をクリックします。

[印刷の進行状況] ウィンドウから：

[印刷の進行状況] ウィンドウは、印刷ジョブを送信するたびに画面の右下に自動的に表示されます。[印刷中止] をクリックして、現在の印刷ジョブをキャンセルします。

タスクバーから：

1. コンピュータの画面右下またはタスクバーにあるプリンタのアイコンをダブルクリックします。
2. キャンセルする印刷ジョブをダブルクリックします。
3. [キャンセル] をクリックします。

Bluetooth 対応デバイスからのジョブ

プリンタから：

- [キャンセル] ボタン  を押して印刷ジョブをキャンセルし、Bluetooth 接続を解除します。
- 電源ボタン  を押して印刷ジョブをキャンセルし、Bluetooth 接続を解除して、プリンタの電源をオフにします。

Bluetooth 対応デバイスから：

詳細については、お使いのデバイスに付属するマニュアルを参照してください。

ワイヤレスネットワーク上のコンピュータからのジョブ

1. *Windows Vista*の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [設定] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [Dell 948] のアイコンを右クリックします。
3. [開く] をクリックします。
4. 表示される一覧から、中止するジョブを選択します。
5. [ドキュメント] メニューで [キャンセル] をクリックします。

印刷設定のデフォルトを変更する

文書や写真を印刷するために送信する際には、両面印刷、印刷品質、モノクロ印刷などのさまざまな設定を指定することができます。頻繁に使用する設定がある場合は、それをデフォルトに設定して、印刷ジョブを送信するたびに指定する必要がないようにすることができます。

希望する設定をほとんどのプログラムでの標準の印刷設定にするには、[プリンタ] フォルダから [印刷設定] ダイアログボックスを開きます。

1. *Windows Vista*の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [設定] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [Dell 948] のアイコンを右クリックします。
3. [印刷設定] を選択します。
4. 設定を変更して、ほとんどのプログラムから印刷する際にデフォルトで使用する設定を作成します。

[印刷設定] タブで、次を設定できます。

- デフォルトの印刷品質を [高速]、[標準]、[高品質] のいずれかに変更します。
- デフォルトの用紙の種類とサイズを変更します。

- モノクロ印刷およびフチなし印刷をデフォルトの設定にします。
- デフォルトの印刷方向を変更します。
- デフォルトの印刷部数を変更します。

[アドバンス] タブで、以下を設定できます。

- 自動両面をデフォルトに設定します。
- 両面印刷ジョブをデフォルトに設定する場合に、乾燥時間を延長します。
- デフォルトに設定するレイアウトを指定します。

[メンテナンス] タブで、以下を設定できます。

[メンテナンス] タブからデフォルトに設定できる印刷設定はありません。ここでは、以下の操作を行うことができます。

- カートリッジの取り付け、清掃、調整を行います。
- テストページを印刷します。
- プリンタをネットワーク上で共有するための情報を取得します。

トラブルシューティング

- [セットアップに関するトラブル](#)
- [エラーメッセージ](#)
- [つまった紙を取り除く](#)
- [紙づまりと給紙不良の予防](#)
- [印刷に関するトラブル](#)
- [コピーに関するトラブル](#)
- [スキャンに関するトラブル](#)
- [FAX に関するトラブル](#)
- [ネットワークに関するトラブル](#)
- [メモ리카ードに関するトラブル](#)
- [用紙に関するトラブル](#)
- [印刷品質の改善](#)
- [印刷用紙の選択とセット方法に関する一般的なガイドライン](#)

プリンタが動作しない場合は、プリンタが電源コンセントに接続されていること、またコンピュータを使用する場合はコンピュータに正しく接続されていることを確認します。

詳細なヘルプや、お使いのプリンタのトラブルシューティングに関する最新情報については、<http://support.dell.com/support> を参照してください。

セットアップに関するトラブル

コンピュータに関するトラブル

プリンタとコンピュータ間に互換性があることを確認します。

このプリンタは、Windows Vista™、Windows® XP、および Windows 2000 のみに対応しています。

Windows ME、Windows 98、Windows 95 はこのプリンタでサポートされていません。

プリンタとコンピュータの両方の電源がオンになっていることを確認します。

USB ケーブルを確認します。

- **USB** ケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- コンピュータをシャットダウンし、**USB** ケーブルを『プリンタのセットアップ』図で示されているとおりに再接続して、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアのインストール画面が自動的に表示されない場合は、ソフトウェアを手動でインストールします。

1. *Drivers and Utilities* CD をセットします。
2. *Windows Vista* の場合は、 [コンピュータ] の順にクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [マイ コンピュータ] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、デスクトップで [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

3. **CD-ROM** ドライブのアイコンをダブルクリックし、**setup.exe** をダブルクリックします。
4. プリンタソフトウェアのインストール画面が表示されたら、[**USB ケーブルを使用する**] または [**ワイヤレスネットワークを使用する**] をクリックします。
5. 画面に表示される手順に従い、インストールを完了します。

プリンタソフトウェアがインストールされているか確認します。

Windows Vista の場合：

1.  [プログラム] の順にクリックします。
2. [**Dell プリンタ**] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [**Dell プリンタ**] * [**Dell AIO Printer 948**] の順にクリックします。

プリンタの一覧にお使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタソフトウェアがインストールされていません。その場合はプリンタソフトウェアをインストールします。 (⇒[ソフトウェアの削除と再インストール](#))

プリンタとコンピュータ間の通信の問題を修正します。

- プリンタとコンピュータから **USB** ケーブルを取り外します。**USB** ケーブルをプリンタとコンピュータに再接続します。
- プリンタの電源をオフにします。プリンタの電源ケーブルをコンセントから抜きます。電源コードをコンセントに差し直し、プリンタの電源をオンにします。
- コンピュータを再起動します。

プリンタを通常使うプリンタに設定します。

1. *Windows Vista* の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [**Dell 948**] のアイコンを右クリックします。
3. [通常使うプリンタに設定] を選択します。

プリンタが動作せず、印刷ジョブが印刷キューに残っています。

お使いのコンピュータにこのプリンタが複数インストールされていないかチェックします。

1. **Windows Vista**の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、 [スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、 [スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. プリンタオブジェクトが複数あるかどうかチェックします。
3. 各プリンタオブジェクトに印刷ジョブを送信し、有効なプリンタを見つけます。
4. プリンタを通常使うプリンタに設定するには、以下の手順に従います。
 - a. [**Dell 948**] のアイコンを右クリックします。
 - b. [通常使うプリンタに設定] をクリックします。
5. それ以外のプリンタオブジェクトをそれぞれ右クリックし、[削除] をクリックして、プリンタオブジェクトのコピーを削除します。

[プリンタ] フォルダに同じプリンタが複数インストールされないようにするには、**USB** ケーブルを差しなおす場合に、最初にプリンタで使用していた **USB** ポートと同じポートに差ししてください。また、**Drivers and Utilities CD** からプリンタドライバを **2** 回以上インストールしないでください。

プリンタに関するトラブル

プリンタの電源コードがプリンタと電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。

プリンタが一時停止していないか確認します。

1. **Windows Vista** の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、 [スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、 [スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [**Dell 948**] のアイコンを右クリックします。
3. [一時停止] が選択されていないことを確認します。 [一時停止] が選択されている場合は、クリックしてオプションをオフにします。

プリンタのランプが点滅しているか確認します

(⇒[エラーメッセージ](#))

カートリッジが正しく取り付けられていて、各カートリッジからシールと保護テープが取り外されていることを確認します。

用紙が正しくセットされていることを確認します。

(⇒[用紙のセット](#))

プリンタが **PictBridge** 対応のカメラに接続されていないことを確認します。

(⇒ [PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する](#))

エラーメッセージ

詳細なヘルプや、お使いのプリンタのトラブルシューティングに関する最新情報については、<http://support.dell.com/support> を参照してください。

エラーメッセージ	エラーの説明	解決方法
コンピュータに接続	プリンタがコンピュータに接続されていない、またはコンピュータの電源がオンになっていない場合に、スキャンまたはメモリカードか USB キーの Office ファイルの印刷を実行しようとしたか、[パソコンに保存] オプションを選択しました。	プリンタがコンピュータに接続されていることを確認します。
この機能はネットワーク経由では使用できません。	プリンタがネットワークプリントサーバーに接続されていないか、コンピュータに直接接続されていない場合に、メモリカードまたは USB キーの Office ファイルを印刷しようとした。	プリンタを直接コンピュータに接続してください。
応答なし	[スタート] ボタン  を押してからタイムアウトが発生しました。	[キャンセル] ボタン  を押します。
用紙をセットし、  を押す	プリンタに用紙がありません。	プリンタに用紙をセットし、設定ボタン  を押して印刷を続けます。(⇒ 用紙のセット)
キャリア停止を解消し、  を押す	プリントヘッドキャリアが停止しました。	キャリアの移動範囲から障害物を取り除くか、キャリアの蓋を閉じてから、設定ボタン  を押します。
紙づまりを取り除き、  を押す	プリンタに紙づまりが発生しています。	紙づまりを取り除きます。(⇒ 紙づまりがないか確認します。)
メンテナンスカバーが開いています	プリンタユニットが開いています。	プリンタユニットを閉じます。
用紙サイズ 用紙サイズに対して写真サイズが大きすぎます。  ボタンを押して新しいサイズの用紙を使用します。	用紙サイズより小さな用紙がセットされています。	プリンタにセットした用紙に合わせて用紙サイズを変更するか、設定ボタン  を押して印刷を続けます。
用紙サイズ利用不可	写真プリントジョブが開始されましたが、サポートされない用紙サイズが選択されています。	[戻る] ボタン  を押して印刷ジョブをキャンセルし、新しい用紙サイズを選択します。
<ul style="list-style-type: none"> 左ホルダーに黒またはフォトをセット 右ホルダーにカラーをセット 両方のカートリッジを取り付けてください。 	<p>カートリッジがありません。</p> <p>見つからないカートリッジに「？」マークが表示され、その下にメッセージが表示されます。</p>	<p>ブラックまたはフォトカートリッジを左のホルダーに、カラーカートリッジを右のホルダーに取り付けてください。</p> <p>(⇒カートリッジの交換)</p>

<ul style="list-style-type: none"> • ブラックインクが少なくなりました。WWW.DELL.COM/SUPPLIESでカートリッジを注文してください。<input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して操作を続けます。 • カラーインクが少なくなりました。WWW.DELL.COM/SUPPLIESでカートリッジを注文してください。<input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して操作を続けます。 • フォトインクが少なくなりました。WWW.DELL.COM/SUPPLIESでカートリッジを注文してください。<input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して操作を続けます。 • ブラックとカラーインクが少なくなりました。WWW.DELL.COM/SUPPLIESでカートリッジを注文してください。<input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して操作を続けます。 • フォトとカラーインクが少なくなりました。WWW.DELL.COM/SUPPLIESでカートリッジを注文してください。<input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押して操作を続けます。 	<p>カートリッジのインクがなくなりかけています。</p>	<p>カートリッジを交換してください。 (⇒カートリッジの交換)</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 左のカートリッジエラー。カートリッジを交換してください。 • 右のカートリッジエラー。カートリッジを交換してください。 • 両方のカートリッジを取り付けてください。 	<p>カートリッジが無効です。 無効なカートリッジに「X」マークが表示され、その下にメッセージが表示されます。</p>	<p>無効なカートリッジを交換してください。(⇒カートリッジの交換)</p>
<p>カートリッジ調整に関するトラブル。テープがはがされているか調べます。詳細については取扱説明書を参照してください。<input checked="" type="checkbox"/> を押して実行。</p>	<p>カートリッジを取り付ける前に、カートリッジから保護テープが取り除かれていません。</p>	<p>カートリッジから保護テープを取り除きます。(⇒カートリッジの交換)</p>
<p>メモリカードエラー。破損していないカードが正しくセットされていることを確認します。</p>	<p>メモリカードまたは USB キーが正しくセットされていないか、破損している、機能していない、またはサポートされない形式でフォーマットされています。</p>	<p>メモリカードまたは USB キーを取り外します。詳細については、お使いのデバイスに付属するマニュアルを参照してください。</p>
<p>無効なデバイス。接続デバイスには未対応。取り外して、ユーザーマニュアルを参照してください。</p>	<p>接続されたデバイスがサポートされていないか、PictBridge 対応のデジタルカメラが正しい USB モードに設定されていません。</p>	<p>デバイスの接続を解除するか、USB モードの設定をチェックします。詳細については、お使いのデジタルカメラに付属するマニュアルを参照してください。</p>
<p>カメラとメモリカードを同時に使用できません。すべて取り外してください。</p>	<p>プリンタにカメラとメモリカードが同時にセットされています。</p>	<p>メモリカードとカメラをすべて取り外します。</p>
<p>プリンタの他の機能を使用するには、カメラを取り外してください。</p>	<p>プリンタが PictBridge モードのときに機能しないボタンが押されました。</p>	<p>プリンタで他の機能を使用できるようにするには、PictBridge 接続を解除してください。</p>
<p>8.5x11 サイズの普通紙をセットして <input checked="" type="checkbox"/> ボタンを押します。または A4 サイズの普通紙をセットして <input checked="" type="checkbox"/> ボタン</p>	<p>テストページ、クリーニングページ、またはネットワーク設定ページを印刷しようとしたとき、普通紙以外の用紙が用紙サポートにセットされています。</p>	<p>普通紙をセットして、設定ボタン <input checked="" type="checkbox"/> を押します。</p>

を押します。		
セレクトシート無効。セレクトシートを再印刷して、もう一度スキャンしてください。	プリンタが無効なバーコードを読み取ったか、エラーがあります。	セレクトシートをチェックするか、もう一度印刷してください。(⇒ セレクトシートを使用して写真を印刷する)
セレクトシートを読み取れません。	プリンタがセレクトシートを読み取れないか、セレクトシートが曲がっている、または原稿台に正しくセットされていません。	セレクトシートを再印刷してオプションを選択するか、セレクトシートを原稿台に正しくセットしてからもう一度スキャンしてください。
レイアウトが選択されていません。	スキャンしたセレクトシートで写真または用紙サイズのオプションが選択されていません。	セレクトシートで写真または用紙サイズのオプションを選択してから、もう一度スキャンしてください。
一度に選択できるレイアウトは 1 つだけです	スキャンしたセレクトシートで写真または用紙サイズのオプションが 2 つ以上選択されています。	セレクトシートを再度印刷し、写真または用紙サイズのオプションを 1 つだけ選択してから、もう一度スキャンしてください。
写真が選択されていません。	スキャンしたセレクトシートで画像が選択されていません。	セレクトシートで画像を選択して、もう一度スキャンしてください。
セレクトシートに必要な情報が記入されていません。	スキャンしたセレクトシートが削除されたか、メモリカードから情報が削除されました。	セレクトシートを再度印刷し、オプションを選択してから、もう一度スキャンしてください。
カードから一部の写真が削除されました。	セレクトシートで選択した写真が削除されたか、メモリカードから写真が削除されました。	セレクトシートを再度印刷し、オプションを選択してから、もう一度スキャンしてください。
エラー NNNN。	ディスプレイに「エラー」と 4 桁の番号が表示された場合、重大なエラーが発生しています。	カスタマサポートに連絡します。詳細については、 http://support.dell.com/support を参照してください。

つまった紙を取り除く

給紙口の紙づまり

1. 用紙をしっかりと持って引き出し、取り除きます。用紙がプリンタ内部にあって届かない場合は、プリンタユニットを持ち上げてプリンタを開きます。
2. 用紙を引き抜きます。
3. プリンタユニットを閉じます。
4. 印刷ジョブを再送信して、残りのページを印刷します。

プリンタ内部の紙づまり

1. プリンタの電源をオフにします。
2. プリンタユニットを持ち上げます。



3. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。
4. プリンタユニットを閉じます。
5. プリンタの電源をオンにし、ドキュメントをもう一度印刷します。

両面印刷ユニット内の紙づまり

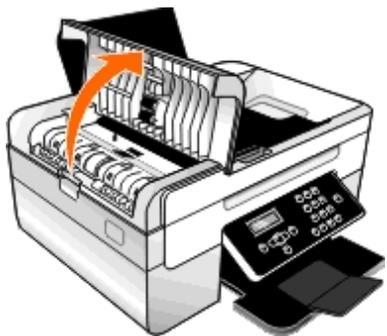
1. 両面印刷ユニットカバーを取り外します。



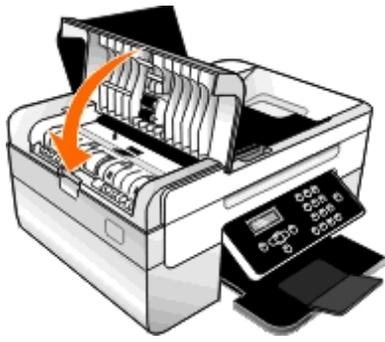
2. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。
3. 両面印刷ユニットカバーを取り付けなおします。
4. 設定ボタン  を押すと、印刷を続行します。

ADF 付近の紙づまり

1. ADF 給紙トレイの左側にある ADF カバーを持ち上げます。



2. 用紙をしっかり持ち、静かにプリンタから引き出します。
3. ADF のカバーを閉じます。



4. 設定ボタン  を押します。
5. 印刷ジョブを再送信して、残りのページを印刷します。

紙づまりと給紙不良の予防

ほとんどの場合、以下のガイドラインに従うことで紙づまりと給紙不良を防ぐことができます。

- プリンタの用紙に関するガイドラインに準拠した用紙を使用します。 (⇒[用紙のセット](#))
- 給紙トレイに用紙が正しくセットされていることを確認します。
- 定められた枚数以上の用紙を給紙トレイにセットしないでください。
- 印刷中にトレイから用紙を取り出さないでください。
- 用紙をよくさばき、まとめてからセットしてください。
- 濡れたり、曲がったり、折れ目のある用紙を使用しないでください。
- プリンタの説明に従って用紙の方向を決めてください。

印刷に関するトラブル

インク残量をチェックして、必要に応じて新しいプリントカートリッジと交換します。

(⇒[カートリッジの交換](#))

排紙トレイから **1** 枚ずつ用紙を取り除きます。

以下の種類の用紙を使用している場合に用紙が汚れないようにするには、プリンタから排出された用紙は **1** 枚ずつ取り除いて乾かします。

- フォトペーパー
- 光沢紙
- OHP フィルム
- ラベル用紙
- 封筒

- アイロンプリント紙

両面印刷ジョブで乾燥時間を延長する

両面印刷ジョブでページ下部がインクで汚れる場合、印刷面のインクが乾くまで待機してから、用紙をプリンタに戻して裏面が印刷されるまでの時間を延長します。

メモ： この機能をオンにすると、両面印刷ジョブが完了するまでの時間が少し長くなります。

この機能をすべての両面印刷ジョブのデフォルトに設定するには、以下の手順に従います。

1. *Windows Vista* の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. [Dell 948] のアイコンを右クリックします。
3. [印刷設定] を選択します。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
4. [詳細設定] タブをクリックします。
5. [両面印刷] 領域で [乾燥時間の延長] を選択します。
6. [OK] をクリックします。

この機能を現在の両面印刷ジョブのみに適用するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。
[印刷] ダイアログボックスが表示されます。
2. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [詳細設定] タブをクリックします。
4. [両面印刷] 領域で [乾燥時間の延長] を選択します。
5. [OK] をクリックします。

印刷速度が遅い場合、コンピュータで使用できるメモリアリソースを増やす

- 使用していないアプリケーションをすべて閉じます。
- ドキュメント内のグラフィックや画像の枚数とサイズをできるだけ少なくします。

- メモリ（RAM）の増設を検討します。
- ほとんど使用しないフォントをシステムから削除します。
- プリンタソフトウェアをアンインストールしてから、再インストールします。（⇒[ソフトウェアの削除と再インストール](#)）
- [印刷設定] ダイアログボックスで低めの印刷品質を選択します。

用紙が正しくセットされていることを確認します。

（⇒[用紙のセット](#)）

コピーに関するトラブル

プリンタのランプが点滅していたり、エラーメッセージが表示されていないか確認します。

（⇒[エラーメッセージ](#)）

原稿台が汚れていないことを確認します。

原稿台とその横の細いガラス面を、清潔で柔らかい布を水で湿らせて静かに拭きます。

雑誌や新聞から取り込んだ画像のモアレを取り除きます。

1. *Windows Vista*の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. [コピー設定を表示] をクリックして、[アドバンス] をクリックします。

[コピー設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。

4. [パターン補正] タブで、[モアレを除去する] を選択してから、[OK] をクリックします。

5. [コピー] をクリックします。

文書や写真が原稿台または自動原稿フィーダーに正しくセットされていることを確認します。

（⇒[原稿をセットする](#)）

用紙サイズを確認します。

使用している用紙のサイズが、操作パネルまたは **Dell AIO** ナビで選択したサイズと同じであることを確認します。

スキャンに関するトラブル

プリンタのランプが点滅していたり、エラーメッセージが表示されていないか確認します。

(⇒[エラーメッセージ](#))

USB ケーブルを確認します。

- **USB** ケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- コンピュータをシャットダウンし、**USB** ケーブルを『プリンタのセットアップ』図で示されているとおりに再接続して、コンピュータを再起動します。

プリンタソフトウェアがインストールされているか確認します。

*Windows Vista*の場合：

1.  [プログラム] の順にクリックします。
2. [Dell プリンタ] をクリックします。

Windows XP または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

プリンタの一覧にお使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタソフトウェアがインストールされていません。その場合はプリンタソフトウェアをインストールします。(⇒[ソフトウェアの削除と再インストール](#))

プリンタとコンピュータ間の通信の問題を修正します。

- プリンタとコンピュータから **USB** ケーブルを取り外してから、再度接続します。
- プリンタの電源をオフにします。プリンタの電源ケーブルをコンセントから抜きます。電源コードをコンセントに差し直し、プリンタの電源をオンにします。
- コンピュータを再起動します。

スキャンに時間がかかる場合や、コンピュータが停止してしまう場合は、スキャン解像度を低めの値に変更します。

1. *Windows Vista*の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. [スキャン設定を表示] をクリックします。
4. [スキャン解像度の選択] メニューから、低めのスキャン解像度を選択します。
5. [スキャン] をクリックします。

スキャンした画像の画質が悪い場合は、スキャン解像度を高めの値に変更します。

1. *Windows Vista* の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. [スキャン設定を表示] をクリックします。
4. [スキャン解像度の選択] メニューから、高めのスキャン解像度を選択します。
5. [スキャン] をクリックします。

雑誌や新聞から取り込んだ画像のモアレを取り除きます。

1. *Windows Vista* の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. [スキャン設定を表示] をクリックして、[アドバンス] をクリックします。
[スキャン設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。
4. [パターン補正] タブで、[モアレを除去する] を選択してから、[OK] をクリックします。
5. [スキャン] をクリックします。

アプリケーションへの取り込みに失敗した場合、別のアプリケーションを選択します。

操作パネルを使用する

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [スキャン] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [スキャンモード] メニューで、左右の矢印ボタン   を押して [パソコンに保存] までスクロールし、左右の矢印ボタン   を押して別のアプリケーションを選択します。

コンピュータを使用する

1. *Windows Vista* の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。
Dell AIO ナビが起動します。
3. [画像の取り込み先] ドロップダウンメニューから、別のアプリケーションを選択します。

メモ：使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから [その他を検索] を選択します。次の画面が表示されたら、[追加] をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

ドキュメントや写真が原稿台または **ADF** に正しくセットされていることを確認します。

(⇒[原稿をセットする](#))

原稿台が汚れていないことを確認します。

原稿台とその横の細いガラス面を、清潔で柔らかい布を水で湿らせて静かに拭きます。

FAX に関するトラブル

プリンタとコンピュータの両方の電源がオンになっていて、**USB** ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

コンピュータが使用可能なアナログ電話回線に接続されていることを確認します。

- FAX 機能を使用するには、コンピュータの FAX モデムと電話回線を接続する必要があります。
- DSL ブロードバンドサービスを使用している場合は、電話線に DSL フィルタが取り付けられていることを確認します。詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- FAX 送信時は、コンピュータがダイヤルアップモデムによってインターネットに接続していないことを確認します。

外部モデムを使用する場合は、モデムの電源がオンになっていて、コンピュータに正しく接続されていることを確認します。

プリンタのメモリがいっぱいの場合は、通信管理レポートを印刷し、未送信のページを再送信します。

カラーページを送信する場合は、原稿をダイヤル後にスキャンするように設定します。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [ダイヤルと送信] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して [スキャン] までスクロールし、左右の矢印ボタン   を押して [ダイヤル後] までスクロールします。
6. 設定ボタン  を押して、変更を保存します。

メモ：この設定は、その後のすべての FAX ジョブに適用されます。

コール ID が証できない場合は、正しいコール ID パターンを選択していることを確認します。

発信者番号の検出形式は、セットアップ時に選択した国/地域によって決まります。2 種類の検出パターンが使用されている場合は、ご利用の電話会社に連絡して、使用されているパターンを確認してください。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [自動受信と呼出音] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して [通知形式] までスクロールし、左右の矢印ボタン   を押して、オプションを選択します。
 - 検出パターンとして FSK（周波数シフトキーイング）が使用されている場合は、[パターン 1] を選択します。
 - 検出パターンとして DTMF（二重トーン多重周波数）が使用されている場合は、[パターン 2] を選択します。
6. 設定ボタン  を押します。

FAX の画質がよくない場合は、送信 FAX の品質を [ウルトラファイン] に設定します。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [品質] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して、[ウルトラファイン] までスクロールします。
5. 設定ボタン  を押します。

受信された FAX の品質が改善されない場合は、受信側の FAX 機器の品質が限られている可能性があります。プリンタで設定を変更しても、受信側の FAX の品質には影響しません。

ネットワークに関するトラブル

電源を確認する

プリンタの電源ランプが点灯していることを確認します。

ケーブルをチェックする

- 電源ケーブルがプリンタと電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

使用しているネットワーク接続を確認します。

プリンタが使用可能なネットワーク接続に接続されていることを確認します。

コンピュータを再起動する

コンピュータをシャットダウンし、再起動します。

セットアップおよび使用方法については、ネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

メモ리카ードに関するトラブル

使用しているメモ리카ードの種類がプリンタで使用できるものであることを確認します。

(⇒[メモ리카ードまたは USB キーから印刷する](#))

メモ리카ードは一度に **1** 枚だけセットしてください。

メモ리카ードは奥までしっかり差し込んでください。

メモ리카ードがスロットに正しくセットされていない場合、プリンタはカードの内容を読み取ることができません。

メモ리카ード内の画像を印刷する場合、画像のファイル形式がプリンタでサポートされていることを確認してください。

メモ리카ードから直接印刷できるのは、**JPEG** 形式または特定の **TIFF** 形式の画像だけです。デジタルカメラで直接作成された **TIFF** 形式のファイルで、アプリケーションで変更されていない場合にのみサポートされます。別の形式でメモ리카ードに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。

プリンタが **PictBridge** 対応のカメラに接続されていないことを確認します。

(⇒[PictBridge 対応のカメラから写真を印刷する](#))

用紙に関するトラブル

用紙が正しくセットされていることを確認します。

(⇒[用紙のセット](#))

プリンタに推奨されている用紙のみを使用します。

(⇒[印刷用紙のガイドライン](#))

複数のページを印刷するときは、用紙を少なめにセットします。

(⇒[印刷用紙のガイドライン](#))

用紙が折れ曲がったり、破れたりしていないことを確認します。

紙づまりがないか確認します。

(⇒[つまった紙を取り除く](#))

印刷品質の改善

文書の印刷品質が不十分な場合は、次のような方法で印刷品質を改善することができます。

- 適切な用紙を使用します。たとえば、フォトカートリッジで写真を印刷する場合は、**Dell™** プレミアムフォトペーパーを使用します。
- 印刷品質を高く設定します。

印刷品質を高く選択するには、以下の手順に従います。

1. 文書を開いた状態で [ファイル] * [印刷] の順にクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2. [設定]、[プロパティ]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします (アプリケーションまたはオペレーティングシステムによって異なります)。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. [印刷設定] タブで高品質の設定を選択します。

4. 文書をもう一度印刷します。
5. 印刷品質が改善されない場合は、カートリッジの調整またはノズル清掃を行います。(⇒[プリントヘッドの調整](#) および [カートリッジノズルの清掃](#))

その他の解決方法を参照するには、<http://support.dell.com/support> にアクセスしてください。

印刷用紙の選択とセット方法に関する一般的なガイドライン

- 濡れたり、曲がったり、しわがある用紙や、破れている用紙に印刷すると、紙づまりや印刷品質の低下の原因となります。
- 印刷品質を高めるには、高品質のコピー用紙を使用してください。
- エンボス文字や目打ちのある用紙や、表面仕上げに極端に光沢やざらつきがある用紙を使用しないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙は使用するまでパッケージから取り出さないでください。パッケージは床に直接置かずに、引き出しや棚に収納してください。
- 用紙やパッケージの上に重い物を乗せないでください。
- 用紙がしわになったり曲がったりする可能性がありますので、湿気の多い場所などに置かないでください。
- 未使用の用紙は、気温が 15 ~ 30 °C (59° ~ 86°F) で、相対湿度が 10 ~ 70% の場所に保管してください。
- 保管時は、プラスチック製のコンテナまたは袋などの湿気を通さないパッケージを使用して、ほこりや湿気で用紙が痛まないようにしてください。

メモリーカードまたは **USB** キーから印刷する

- [写真を印刷する](#)
- [Office ファイルを印刷する](#)

ほとんどのデジタルカメラでは、写真の保存にメモリーカードを使用します。このプリンタは、以下のメモリーカードをサポートしています。

- コンパクトフラッシュ Type I / II
- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- メモリースティック Duo (アダプタ付)
- miniSD カード (アダプタ付)
- マイクロドライブ
- SD メモリーカード
- MMC (マルチメディアカード)
- xD-ピクチャーカード

メモリーカードは、ラベルを上にして挿入します。カードリーダーには、これらのカードをセットするための 4 つのスロットと、カードの読み込み時とデータ転送時に点滅する小さなランプがあります。

 **メモ:** 複数のメモリーカードを同時にセットしないでください。

PictBridge に使用しているコネクタは、**USB** キーに保存されている情報へのアクセスにも使用できます。

 **注意:** メモリーカードまたは **USB** キーにデータを読み書きしているときや、印刷の実行中は、これらのメディアを取り外したり、メモリーカードまたは **USB** キー付近のプリンタの部分に手を触れないでください。データが破損する場合があります。

 **メモ:** メモリーカードが既にプリンタにセットされている場合は、**USB** キーをセットしないでください。

メモリーカードまたは **USB** キーをセットすると、その中にデジタル写真ファイルのみが保存されている場合は、プリンタは自動的に写真モードに切り替わります。メモリーカードまたは **USB** キーに文書と写真が含まれている場合は、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージが表示されます。(⇒ [写真プリントモード](#))

 **メモ:** プリンタは **FAT32** データ形式をサポートします。**NTFS** で保存されたファイルは、メモリーカードまたは **USB** キーをプリンタにセットする前に **FAT32** データ形式に変換する必要があります。

写真を印刷する

写真をコンピュータに保存する

1. メモリーカードまたは **USB** キーをセットします。

メモリーカードまたは **USB** キーに写真のみが含まれている場合、プリンタは自動的に写真モードに切り替わります。

メモリーカードまたは **USB** キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン   を押して [写真] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

- 左右の矢印ボタン   を押して [写真の保存] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
- [スタート] ボタン  を押します。

コンピュータで、メモリーカードマネージャが起動します。

- 写真をコンピュータにコピーする方法については、[メモリーカードマネージャ] ダイアログボックスに表示される手順に従います。

すべての写真を印刷する

- メモリーカードまたは **USB** キーをセットします。

メモリーカードまたは **USB** キーに写真のみが含まれている場合、プリンタは自動的に 写真モードに切り替わります。

メモリーカードまたは **USB** キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン   を押して [写真] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

- 左右の矢印ボタン   を使用して [画像の印刷] までスクロールし、操作パネルの設定ボタン  を 2 回押します。

メモリーカードまたは **USB** キーに保存されたすべての写真が印刷されます。

 **メモ**：メモリーカードまたは **USB** キーに保存された写真の一部のみを印刷するには、プルーフシートを使用して印刷する写真を選択します。(⇒[セレクトシートを使用して写真を印刷する](#))

 **メモ**：メモリーカードまたは **USB** キーから直接印刷できるのは、**JPEG** 形式または特定の **TIFF** 形式の画像だけです。デジタルカメラで直接作成された **TIFF** 形式のファイルで、アプリケーションで変更されていない場合にのみサポートされます。別の形式でメモリーカードまたは **USB** キーに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。(⇒[写真をコンピュータに保存する](#))

DPOF を使用してデジタルカメラから写真を印刷する

DPOF (Digital Print Order Format : デジタルプリントオーダーフォーマット) は、一部のデジタルカメラで使用できる、印刷する写真とともに印刷設定情報をメモリーカードに保存できる機能です。DPOF 互換のデジタルカメラを使用すると、印刷するメモリーカード内の写真、印刷枚数、その他の印刷設定を指定できます。メモリーカードをプリンタのメモリーカードスロットにセットすると、プリンタがこれらの設定を認識します。

- 印刷面を上に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。

 **メモ**：セットした用紙のサイズが **DPOF** で指定したサイズ以上であることを確認します。

- メモリーカードをセットします。プリンタが自動的に写真プリントモードに切り替わります。

 **メモ**：複数のメモリーカードまたは **USB** キーを同時に挿入しないでください。

- 左右の矢印ボタン   を使用して、[DPOF 印刷] までスクロールします。

- [スタート] ボタン  を押します。

セレクトシートを使用して写真を印刷する

1. メモリーカードまたは **USB** キーをセットします。

メモリーカードまたは **USB** キーに写真のみが含まれている場合、プリンタは自動的に 写真モードに切り替わります。

メモリーカードまたは **USB** キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン **<>** を押して [写真] までスクロールし、設定ボタン **☑** を押します。

メモ：メモリーカードまたは **USB** キーから直接印刷できるのは、**JPEG** 形式または **TIFF** 形式の画像のみです。別の形式でメモリーカードまたは **USB** キーに保存されている写真を印刷するには、印刷する前に写真をコンピュータに転送する必要があります。
(⇒[写真をコンピュータに保存する](#))

2. 左右の矢印ボタン **<>** を押して [セレクトシート] までスクロールし、設定ボタン **☑** を押します。
3. 左右の矢印ボタン **<>** を押して [セレクトシートの印刷] までスクロールし、設定ボタン **☑** を押します。
4. 左右の矢印ボタン **<>** を押して、セレクトシートに印刷するメモリーカードまたは **USB** キーの写真を指定します。

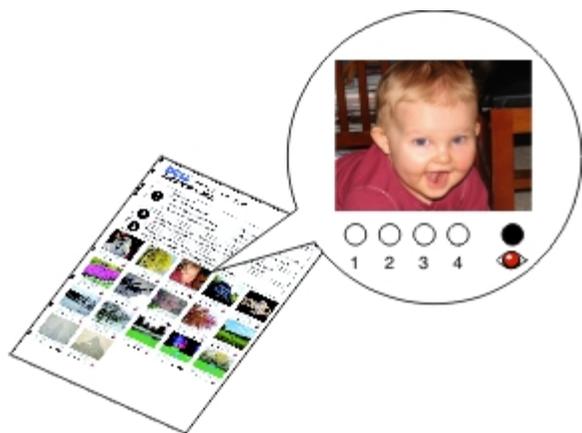
選択できるオプション	はたらき
すべて	メモリーカードまたは USB キーのすべての写真をセレクトシートに印刷します。
最新 25 枚	新しい順に 25 枚の写真をセレクトシートに印刷します。
期間	特定の期間に撮影された写真のみを印刷します。

5. [スタート] ボタン **▶** を押します。

セレクトシートが印刷されます。

6. セレクトシートの手順に従って印刷する写真を選択し、使用するレイアウトと用紙の種類を選択します。

印刷時に赤目を修整する場合は、写真の下にある赤目アイコン横の丸を塗りつぶしてください。



メモ：選択する場合は、丸を完全に塗りつぶしてください。

7. セレクトシートを下向きにして原稿台にセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))

8. 用紙をセットします。 (⇒[用紙のセット](#))

メモ：プリンタにセットした用紙のサイズが、セレクトシートで選択した用紙のサイズと同じであることを確認します。

メモ：写真の印刷には、フォトペーパーまたは光沢紙の使用をお勧めします。

9. 左右の矢印ボタン **<>** を押して [セレクトシートのスキャン] までスクロールし、設定ボタン **▶** を押します。

-  **注意：** セレクトシートで選択した写真が印刷されるまでは、メモ리카ードを取り外したり、プリンタの電源をオフにしたりしないでください。メモ리카ードを取り外したり、プリンタの電源をオフにすると、セレクトシートは無効になります。
-

Office ファイルを印刷する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. メモ리카ードをカードスロットにセットするか、**USB** キーを **PictBridge** ポートにセットします。

メモ리카ードまたは **USB** キーに文書のみが含まれている場合、プリンタは自動的に **Office** ファイルモードに切り替わります。

メモ리카ードまたは **USB** キーに文書と写真が含まれている場合、どのファイルを印刷するかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。左右の矢印ボタン   を押して [文書] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

プリンタでサポートされるファイルの種類の詳細 (⇒[Office ファイルモード](#))

3. 左右の矢印ボタン   を使用して、印刷するファイルまでスクロールします。
4. [スタート] ボタン  を押します。

仕様

- [概要](#)
- [環境に関する仕様](#)
- [消費電力および要件](#)
- [FAX モードでの機能](#)
- [印刷およびスキャンモードでの機能](#)
- [オペレーティングシステムのサポート](#)
- [メモリの仕様と要件](#)
- [用紙の種類とサイズ](#)
- [ケーブル](#)

概要

メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ● 32 MB SDRAM ● 4 MB FLASH ● 4 MB Fax
接続	USB 2.0 高速
負荷サイクル (平均)	1,000 ページ/月
プリンタの寿命	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ：18,000 ページ ● スキャナ：スキャン 12,000 回 ● ADF：スキャン 6,000 回

環境に関する仕様

温度/相対湿度

条件	温度	相対湿度 (結露なし)
操作時	17 °C ~ 32 °C	8% ~ 80%
保管時	2 °C ~ 60 °C	5% ~ 80%
輸送時	-40 °C ~ 60 °C	5% ~ 100%

消費電力および要件

定格交流入力	90-255 V
定格周波数	47 Hz から 63 Hz
最小交流入力	90 VAC
最大交流入力	255 VAC

最大入力電流	1.0 A
平均電力消費量	
スタンバイモード	< 10 W
操作モード	< 32 W

FAX モードでの機能

スキャナを使用して FAX を送信する場合、ドキュメントは 200 dpi（ドット/インチ）でスキャンされます。モノクロのドキュメントを送信できます。

FAX が正しく機能するには、使用できるアナログ電話回線に接続されたコンピュータにプリンタが接続されている必要があります。

 **メモ：**DSL モデムに接続されている電話回線で FAX を送信する場合は、DSL フィルタを装着して、アナログ FAX モデム信号による干渉を低減させてください。

 **メモ：**ISDN（統合デジタル通信サービス網）用のモデムやケーブルモデムなどは FAX モデムではないため、FAX を送受信することはできません。

印刷およびスキャンモードでの機能

お使いのプリンタでは、72 ～ 19,200 dpi の範囲でスキャンできます。プリンタにも同じ性能がありますが、デル™では、あらかじめ設定された解像度での使用をお勧めします。

印刷およびスキャン解像度	スキャン解像度	印刷解像度	
		フォトペーパー/光沢紙	その他の用紙
下書き	150 x 150 dpi	600 x 600 dpi	300 x 600 dpi
標準	300 x 300 dpi	1200 x 1200 dpi	600 x 600 dpi
写真	600 x 600 dpi	4800 x 1200 dpi	1200 x 1200 dpi

オペレーティングシステムのサポート

以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Microsoft Windows Vista™
- Microsoft® Windows® XP
- Microsoft Windows 2000

メモリの仕様と要件

オペレーティングシステムの最小システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム	プロセッサの速度 (MHz)	RAM (MB)	ハードディスク
--------------	----------------	----------	---------

Microsoft Windows Vista	800 MHz Pentium®/Celeron®	512	20 GB (空き容量 15 GB)
Microsoft Windows XP	800 MHz Pentium/Celeron	256	500 MB
Microsoft Windows 2000	800 MHz Pentium/Celeron	256	500 MB

用紙の種類とサイズ

用紙の種類	サポートされるサイズ	セット可能枚数
普通紙またはマット紙	<ul style="list-style-type: none"> US レター：8.5 x 11 インチ (216 x 279 mm) A4：8.27 x 11.69 インチ (210 x 297 mm) リーガル：8.5 x 14 インチ (216 x 355.6 mm) 	100 枚
バナー紙	<ul style="list-style-type: none"> A4 バナー US レター バナー 	20 枚
封筒	<ul style="list-style-type: none"> US 封筒 #9：3 7/8 x 8 7/8 インチ US 封筒 #10：4 1/8 x 9 1/2 インチ 6 3/4 (US 封筒)：3 1/4 x 6 1/2 インチ 7 3/4 (US 封筒)：3 7/8 x 7 1/2 インチ 封筒 A2 Baronial：111 x 146 mm 封筒 B5：176 x 250 mm 封筒 C5：162 x 229 mm 封筒 C6：114 x 162 mm 封筒 DL：110 x 220 mm 封筒 長形 3 号：120 x 235 mm 封筒 長形 4 号：90 x 205 mm 封筒 長形 40 号：90 x 225 mm 封筒 角形 3 号：216 x 277 mm 封筒 角形 4 号：197 x 267 mm 封筒 角形 5 号：190 x 240 mm 封筒 角形 6 号：162 x 229 mm 	封筒：10 枚
グリーティングカード、インデックスカード、ポストカード、フォトカード	<ul style="list-style-type: none"> フォトカード/ポストカード：4 x 6 インチ インデックスカード：3 x 5 インチ 	25 枚
フォト光沢紙	<ul style="list-style-type: none"> 8.5 x 11 インチ (216 x 279 mm) A4：8.27 x 11.69 インチ (210 x 297 mm) 4 x 6 インチ (101.6 x 152.4 mm) 	25 枚
アイロンプリント紙	<ul style="list-style-type: none"> 8.5 x 11 インチ (216 x 279 mm) A4：8.27 x 11.69 インチ (210 x 297 mm) 	10 枚
OHP フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 8.5 x 11 インチ (216 x 279 mm) A4：8.27 x 11.69 インチ (210 x 297 mm) 	OHP フィルム：50 枚

	mm)	
ユーザー定義サイズの内紙	用紙サイズの要件は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">幅：3.0 ～ 8.5 インチ (76 ～ 216 mm)長さ：5.0 ～ 17.0 インチ (127 ～ 432 mm)	100 枚

ケーブル

お使いのプリンタには、USB (ユニバーサルシリアルバス) ケーブル (別売り) を使用します。



コピー

- [文書をコピーする](#)
 - [写真をコピーする](#)
 - [画面の原稿をコピーする](#)
 - [両面コピーを作成する](#)
 - [コピー設定を変更する](#)
-

文書をコピーする

操作パネルの使用

1. プリンタの電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。 (⇒[用紙のセット](#))
3. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
4. 左右の矢印ボタン  を押して [コピー] モードまでスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン  を使用してサブメニューをスクロールし、設定を変更します。 (⇒[コピーモード](#))
6. [スタート] ボタン  を押します。

 **メモ**：サブメニューで設定を選択せずに [スタート] ボタン  を押すと、現在のデフォルト設定でコピーが作成されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 用紙をセットします。 (⇒[用紙のセット](#))
3. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
4. *Windows Vista™* の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックしま

す。

5. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

6. 部数 (1 ~ 99) を選択し、[コピー] ドロップダウンメニューからカラー設定を指定します。
 7. コピー設定を変更するには、[コピー設定を表示] をクリックします。
 8. 設定の変更が完了したら、[コピー] をクリックします。
-

写真をコピーする

操作パネルの使用

1. プリンタの電源をオンにします。
2. 印刷面を上に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。 (⇒[用紙のセット](#))
3. 写真を原稿台の上にセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
4. 左右の矢印ボタン   を押して [コピー] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して [品質] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
6. 左右の矢印ボタン   を押して [写真] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
7. [スタート] ボタン  を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 印刷面を上に向けてフォトペーパー/光沢紙をセットします。 (⇒[用紙のセット](#))
3. 写真を原稿台の上にセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
4. *Windows Vista* の場合：
 - a.  [®] [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

5. [Dell AIO ナビ] を選択します。
Dell AIO ナビが起動します。
 6. [プレビュー] をクリックします。
 7. 印刷する範囲に合わせて点線の位置を調整します。
 8. 部数 (1 ~ 99) を選択し、[コピー] ドロップダウンメニューからカラー設定を指定します。
 9. コピー設定を変更するには、[コピー設定を表示] をクリックします。
 10. 設定の変更が完了したら、[コピー] をクリックします。
-

両面の原稿をコピーする

1. 原稿をセットします。(⇒[原稿をセットする](#))
 2. 左右の矢印ボタン   を押して [コピー] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 3. 左右の矢印ボタン   を押して [両面コピー] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 4. 左右の矢印ボタン   を押して [両面の原稿を片面にコピー] または [両面の原稿を両面にコピー] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 5. [スタート] ボタン  を押します。
 6. プリンタのディスプレイに表示される手順に従います。
-

両面コピーを作成する

お使いのプリンタには、用紙を手動で裏返さずに原稿の両面コピーを作成するための、両面印刷ユニットが組み込まれています。片面が印刷されると用紙が自動的に裏返されるため、プリンタで裏面に印刷することができます。

 **メモ：** 両面コピーを作成するには、**US** レターサイズまたは **A4** サイズの普通紙を使用します。封筒、カード用紙、フォトペーパーには両面印刷できません。

1. 原稿をセットします。(⇒[原稿をセットする](#))
 2. 左右の矢印ボタン   を押して [コピー] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 3. 左右の矢印ボタン   を押して [両面コピー] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 4. 左右の矢印ボタン   を使用して、[片面の原稿を両面にコピー] (片面の原稿をコピーする場合) または [両面の原稿を両面にコピー] (両面の原稿をコピーする場合) までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 5. [スタート] ボタン  を押します。
-

コピー設定を変更する

操作パネルを使用する

プリンタをコンピュータに接続しないで使用している場合、操作パネルのコピーモードのメニューからコピー設定を変更できます。設定の詳細については、次を参照してください。[コピーモード](#)

コンピュータの使用

1. Windows Vistaの場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. 部数 (1~99) を指定し、[コピー] ドロップダウンメニューからカラー設定を選択します。

4. [コピー設定を表示] をクリックして、以下の操作を実行します。

- コピー品質を選択します。
- 用紙サイズを選択します。
- 原稿サイズの選択
- ドキュメントの濃度調整
- ドキュメントの縮小または拡大

5. [アドバンス] ボタンをクリックして、用紙サイズおよび品質などのオプションを変更します。

6. オプションを変更するには、以下のタブをクリックします。

タブ名	はたらき
印刷	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙のサイズおよび種類を選択します。 • フチなし印刷オプションを選択します。 • 印刷品質を選択します。 • 丁合いで印刷します。 • 逆順で印刷します。
スキャン	<ul style="list-style-type: none"> • カラーモードおよびスキャン解像度を選択します。 • スキャンした画像を自動でトリミングします。 • 自動トリミングツールの感度を調整します。 • スキャンする範囲のサイズを設定します。

画像補正	<ul style="list-style-type: none">● 取り込んだ画像の傾きを修正します。● ピントの甘い画像の鮮明度を調整します。● 画像の明るさを調整します。● 画像の色補正カーブ（ガンマ値）を調整します。
パターン補正	<ul style="list-style-type: none">● 灰色の画像を白と黒のドットパターンに変換します（ディザ）。● 雑誌や新聞からモアレを除去します。● カラー画像の背景ノイズを調整します。

7. [OK] をクリックします。

8. 設定の変更が完了したら、[コピー] をクリックします。

付録

- [デル テクニカルサポートのご利用条件](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)
- [保証および返品条件](#)

デル テクニカルサポートのご利用条件

技術者によるテクニカルサポートをお受けいただくには、トラブルシューティングに対するお客様のご協力とご自身での操作が必要となります。サポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェア、ハードウェア用ドライバなどの出荷時の設定への復元と、プリンタおよびデルが取り付けを行ったすべてのハードウェアの機能の適正についての確認を行います。技術者によるこのテクニカルサポートのほかに、デル カスタマーサービスでのオンラインテクニカルサポートもご利用いただけます。また、テクニカルサポートの追加オプションをご購入いただくことができます。

デルでは、プリンタおよびデルがインストールまたは取り付けを行ったすべてのソフトウェアと周辺機器に対して、限定テクニカルサポートを提供しています。**Software & Peripherals (DellWare)**、**ReadyWare**、**Custom Factory Integration (CFI/DellPlus)** などから購入およびインストールされたものを含む、サードパーティ製ソフトウェアおよび周辺機器に対するサポートは、それらの製造元により提供されます。

デルへのお問い合わせ

デルサポートには、support.jp.dell.com からアクセスできます。最初に表示されるページで地域を選択し、要求される詳細に記入すると、ヘルプツールおよび情報にアクセスできます。

オンラインでのデルへのお問い合わせには、次のアドレスをご利用ください。

- インターネット

www.dell.com/

www.dell.com/ap/ (アジア太平洋諸国のみ)

www.dell.com/jp/ (日本のみ)

www.euro.dell.com (ヨーロッパのみ)

www.dell.com/la/ (中南米諸国のみ)

www.dell.ca (カナダのみ)

- 匿名 FTP (ファイル転送プロトコル)

[ftp.dell.com](ftp://ftp.dell.com)

ログインユーザー名：**anonymous**、パスワードにはお客様の **E** メールアドレスを入力してください。

- E メールサポートサービス

mobile_support@us.dell.com

support@us.dell.com

la-techsupport@dell.com (中南米諸国のみ)

apsupport@dell.com (アジア太平洋諸国のみ)

support.jp.dell.com (日本のみ)

support.euro.dell.com (ヨーロッパのみ)

- E メール見積もりサービス

apmarketing@dell.com (アジア太平洋諸国のみ)

sales_canada@dell.com (カナダのみ)

保証および返品条件

Dell Inc. (以下「Dell」といいます) は、ハードウェア製品の製造のために、新品、または業界標準の慣例に従い新品と同等とみなされる部品およびコンポーネントを使用しています。お使いのプリンタに対する Dell の保証については、『オーナーズマニュアル』を参照してください。

スキャン

- [1 ページの原稿または 1 枚の写真をスキャンする](#)
- [ADF を使用して複数ページの原稿をスキャンする](#)
- [複数の写真をスキャンして 1 つのファイルに保存する](#)
- [ネットワーク経由でドキュメントまたは写真をスキャンする](#)
- [OCR を使用してスキャンしたテキストを編集する](#)
- [スキャンした画像を編集する](#)
- [画像をコンピュータに保存する](#)
- [取り込んだ画像またはドキュメントを E メールで送る](#)
- [画像や文書を拡大・縮小する](#)
- [新聞記事をスキャンしてコピーの画質を調整する](#)
- [手持ちの写真をデジタルデータに変換する](#)
- [スキャン設定を変更する](#)

1 ページの原稿または 1 枚の写真をスキャンする

操作パネルの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。ネットワーク経由でスキャンする場合、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。
2. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))

 **メモ：** ポストカード、フォトカード、フォトペーパー、小さな原稿などは **ADF**（自動原稿フィーダー）にセットしないでください。これらの原稿は原稿台にセットします。

3. 左右の矢印ボタン   を押して [スキャン] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [パソコンに保存] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. プリンタが直接接続されている場合：

- a. プリンタがコンピュータのアプリケーションリストを読み取ります。

左右の矢印ボタン   を使用して、画像を取り込むことができるアプリケーション名をスクロールします。

- b. 選択するアプリケーションがディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押します。

プリンタがネットワークに接続されている場合：

 **メモ：** このプリンタをネットワークに接続するには、**Dell™ Network Adapter**（別売）が必要です。

- a. 左右の矢印ボタン   を使用して、画像を取り込むことができるコンピュータ名をスクロールします。
- b. 使用するコンピュータ名がディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押します。
- c. コンピュータで **PIN** 番号が設定されている場合、キーパッドを使用して **4 桁の PIN** を入力します。

 **メモ**：標準設定では PIN は不要です。画像を取り込むコンピュータで PIN が設定されている場合にだけ必要となります。スキャンした画像を送信するコンピュータの PIN または名前を表示して変更することができます。（⇒[コンピュータ名および PIN を設定する](#)）

d. 設定ボタン  を押します。

6. [スタート] ボタン  を押します。

ページがスキャンされます。スキャンが完了したら、選択したアプリケーションでファイルが作成されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 原稿をセットします。（⇒[原稿をセットする](#)）

 **メモ**：ポストカード、フォトカード、フォトペーパー、小さな原稿などは ADF（自動原稿フィーダー）にセットしないでください。これらの原稿は原稿台にセットします。

3. *Windows Vista™* の場合：

a.  [プログラム] の順にクリックします。

b. [Dell プリンタ] をクリックします。

c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows® XP または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

 **メモ**：プリンタの操作パネルから Dell AIO ナビを起動することもできます。プリンタがスキャンモードの場合に、[スタート] ボタン  を押すと、Dell AIO ナビが起動します。

5. [画像の取り込み先] ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

 **メモ**：使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから [その他を検索] を選択します。次の画面が表示されたら、[追加] をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、[スキャン設定を表示] をクリックします。

7. 設定の変更が完了したら、[スキャン] をクリックします。

ADF を使用して複数ページの原稿をスキャンする

操作パネルの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。ネットワーク経由でスキャンする場合、コンピュータがネットワークに接続されていることを確認してください。
2. 原稿を下向きにして **ADF**（自動原稿フィーダー）にセットします。（⇒[原稿をセットする](#)）
3. 左右の矢印ボタン   を押して [スキャン] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [パソコンに保存] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. プリンタが直接接続されている場合：
 - a. プリンタがコンピュータのアプリケーションリストを読み取ります。
 - b. 左右の矢印ボタン   を使用して、画像を取り込むことができるアプリケーション名をスクロールします。
 - c. 選択するアプリケーションがディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押します。

プリンタがネットワークに接続されている場合：

 **メモ：** このプリンタをネットワークに接続するには、**Dell Network Adapter**（別売）が必要です。

- a. 左右の矢印ボタン   を使用して、画像を取り込むことができるコンピュータ名をスクロールします。
 - b. 選択するコンピュータがディスプレイに表示されたら、設定ボタン  を押します。
 - c. コンピュータで **PIN** 番号が設定されている場合、キーパッドを使用して **4** 桁の **PIN** を入力します。

 **メモ：** 標準設定では **PIN** は不要です。画像を取り込むコンピュータで **PIN** が設定されている場合にだけ必要となります。スキャンした画像を送信するコンピュータの **PIN** または名前を表示して変更することができます。（⇒[コンピュータ名および PIN を設定する](#)）
 - d. 設定ボタン  を押します。
6. [スタート] ボタン  を押します。

ADF にセットされたすべてのページがスキャンされます。**ADF** 内のすべてのページがスキャンされたら、選択したアプリケーションですべてのページを含む **1** 個のファイルが作成されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。（⇒[原稿をセットする](#)）
3. *Windows Vista* の場合：
 - a.  **@** [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [**Dell** プリンタ] をクリックします。
 - c. [**Dell AIO Printer 948**] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [プリンタ] * [] の順にクリックします。

4. [Dell AIOナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

 **メモ**：プリンタの操作パネルから Dell AIO ナビを起動することもできます。プリンタがスキャンモードの場合に、[スタート] ボタン  を押すと、Dell AIO ナビが起動します。

5. [画像の取り込み先] ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

 **メモ**：使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから [その他を検索] を選択します。次の画面が表示されたら、[追加] をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、[スキャン設定を表示] をクリックします。

7. 設定の変更が完了したら、[スキャン] をクリックします。

ADF にセットされたすべてのページがスキャンされます。ADF 内のすべてのページがスキャンされたら、選択したアプリケーションですべてのページを含む 1 個のファイルが作成されます。

複数の写真をスキャンして 1 つのファイルに保存する

 **メモ**：アプリケーションによっては、一度に複数のページをスキャンできない場合があります。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿を原稿台の上にセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
3. Windows Vista の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIOナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

 **メモ**：プリンタの操作パネルから Dell AIO ナビを起動することもできます。プリンタがスキャンモードの場合に、[スタート] ボタン  を押すと、Dell AIO ナビが起動します。

5. [画像の取り込み先] ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。

 **メモ**：使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから [その他を検索] を選択します。次の画面が表示されたら、[追加] をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、[スキャン設定を表示] をクリックします。
7. [詳細] ボタンをクリックします。
[スキャン設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。
8. [スキャン] タブで、[出力する前に複数ページの原稿をスキャンする] チェックボックスをオンにします。
9. [OK] をクリックします。
10. 設定の変更が完了したら、[スキャン] をクリックします。
11. [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、ファイル名を入力して、[保存] をクリックします。
1 ページ目をスキャンしたら、次の原稿をスキャンするかどうかを確認するダイアログが表示されます。
12. 次の原稿をガラス面にセットして、[はい] をクリックします。すべてのページのスキャンが完了するまで、この手順を繰り返します。
13. スキャンが完了したら [いいえ] をクリックします。
原稿または画像の最後のページのスキャンが完了したら、選択したアプリケーションですべてのページまたは画像を含む 1 個のファイルが作成されます。

ネットワーク経由でドキュメントまたは写真をスキャンする

1. コンピュータとプリンタがネットワークに接続されていることを確認し、電源をオンにします。
 **メモ:** デル™ プリンタをネットワークに接続するには、デル製ネットワークアダプタ (別売) をお使いください。
2. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
 **メモ:** ポストカード、フォトカード、フォトペーパー、小さな原稿などは ADF にセットしないでください。これらの原稿は原稿台にセットします。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [スキャン] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [パソコンに保存] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して、ドキュメントまたは写真を送るコンピュータを選択し、設定ボタン  を押します。
プリンタはコンピュータをスキャンし、スキャンした画像を開くアプリケーションのリストを検索します。
 **メモ:** コンピュータにはプリンタソフトウェアがインストールされている必要があります。 *Drivers and Utilities CD* を使用してプリンタソフトウェアをインストールしてください。
 **メモ:** プリンタでスキャンされた画像を受信するように設定されたコンピュータが 1 台のみの場合、スキャンした画像を開くことができるコンピュータで使用可能なアプリケーションがプリンタに自動的に表示されます。
6. プリンタで PIN の入力を求められたら、コンピュータ用に指定された 4 桁の PIN を入力します。
 **メモ:** 標準設定では PIN は不要です。画像を取り込むコンピュータで PIN が設定されている場合にだけ必要となります。スキャンした画像を送信するコンピュータの PIN または名前を表示して変更することができます。 (⇒[コンピュータ名および PIN を設定する](#))
7. 左右の矢印ボタン   を押して、ドキュメントまたは写真を開くアプリケーションを選択し、設定ボタン  を押します。

8. [スタート] ボタン  を押して、ドキュメントまたは写真をスキャンします。

選択したコンピュータのアプリケーションで、取り込んだ原稿が表示されます。

コンピュータ名および PIN を設定する

ネットワーク経由でスキャンする際には、選択するコンピュータの名前を指定する必要があります。他のユーザーがスキャンした画像を自分のコンピュータに送れないようにするために、個人識別番号 (PIN) を設定することもできます。

1. *Windows Vista* の場合：

- a.  [コントロール パネル] の順にクリックします。
- b. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- c. [プリンタ] をクリックします。

Windows XP の場合は、[スタート] * [コントロール パネル] * [プリンタとその他のハードウェア] * [プリンタと **FAX**] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] * [設定] * [プリンタ] の順にクリックします。

2. プリンタのアイコンを右クリックして、[印刷設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

3. [メンテナンス] タブで [ネットワークサポート] をクリックします。

[**Dell** ネットワークオプション] ダイアログボックスが表示されます。

4. [**Dell** ネットワークオプション] ダイアログで、[ネットワークスキャンのコンピュータ名と **PIN** を変更します] をクリックします。
5. 画面に表示される手順に従います。
6. コンピュータ名または **PIN** を指定したら、[**OK**] をクリックします。

OCR を使用してスキャンしたテキストを編集する

OCR ソフトウェアを使用すると、取り込んだ画像をワープロで編集可能なテキストに変換できます。

 **メモ**：日本語または簡体字中国語をお使いのお客様は、お使いのコンピュータに **OCR** ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。お使いのプリンタには **OCR** ソフトウェアが 1 つ付属しており、プリンタソフトウェアと同時にコンピュータにインストールされています。

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。 (⇒ [原稿をセットする](#))
3. *Windows Vista* の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [**Dell** プリンタ] をクリックします。
- c. [**Dell AIO Printer 948**] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

5. [画像の取り込み先] ドロップダウンメニューから、使用するテキスト編集アプリケーションを選択します。



メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから [その他を検索] を選択します。次の画面が表示されたら、[追加] をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、[スキャン設定を表示] をクリックします。

7. [詳細] ボタンをクリックします。

[スキャン設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。

8. [スキャン] タブで、[OCR ソフトウェアを起動する] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

9. [OK] をクリックします。

10. 設定の変更が完了したら、[スキャン] をクリックします。

選択したアプリケーションで、取り込んだテキストが表示されます。

スキャンした画像を編集する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))

3. Windows Vista の場合：

- a. [プログラム] の順にクリックします。

- b. [Dell プリンタ] をクリックします。

- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

5. [画像の取り込み先] ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。



メモ： 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから [その他を検索] を選択します。次の画面が表示されたら、[追加] をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

6. スキャン設定を変更するには、[スキャン設定を表示] をクリックします。
7. 設定の変更が完了したら、[スキャン] をクリックします。

画像のスキャン処理が完了すると、選択したアプリケーションに画像が表示されます。

8. お使いのアプリケーションに用意されているツールを使用して画像を編集します。次のような処理を行えます。
 - 赤目修整
 - 画像のトリミング
 - 画像へのテキストの追加
 - 画像の明るさとコントラストの調整

詳細については、グラフィックアプリケーションのマニュアルを参照してください。

画像をコンピュータに保存する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
3. *Windows Vista*の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIO ナビ] を選択します。
Dell AIO ナビが起動します。
 5. [ツール] セクションで、[画像を保存する] をクリックします。
 6. 画面の指示に従い、画像をコンピュータに保存します。
-

取り込んだ画像またはドキュメントを E メールで送る

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
3. *Windows Vista*の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。

- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

5. [ツール] セクションで、[画像・ドキュメントを E メールに添付して送る] をクリックします。
6. 画面の指示に従って、E メールで送る写真を用意します。
7. [次へ] をクリックします。
8. E メール用アプリケーションを起動し、写真を添付するメールのメッセージを作成して送信します。

 **メモ：** E メールにドキュメントを添付する方法の詳細については、E メール用アプリケーションのヘルプを参照してください。

画像や文書を拡大・縮小する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
3. Windows Vista の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

5. [プレビュー] をクリックします。

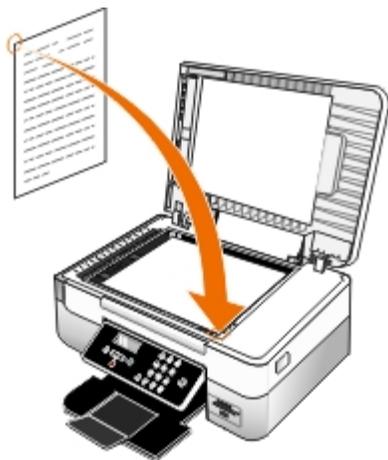
 **メモ：** スキャン範囲のサイズ（プレビュー画面の右上）が赤で表示されている場合、選択した解像度またはサイズでスキャンを実行するために使用可能なシステムリソースが不足しています。この問題を回避するには、解像度を下げるか、スキャン範囲のサイズを小さくしてください。

6. [ツール] セクションで、[画像を拡大・縮小・フチなしで印刷する] を選択します。
7. 画面の指示に従って画像のサイズを選択します。

8. 画像の設定を変更したら、[スキャン] をクリックします。

新聞記事をスキャンしてコピーの画質を調整する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. 新聞記事や切抜きを下向きにして原稿台にセットします。



3. *Windows Vista* の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell AIO ナビ] をクリックします。
Dell AIO ナビ が起動します。
5. すべての設定を表示するには、[スキャン設定を表示] をクリックします。
6. [詳細] をクリックします。
[スキャン設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。
7. [パターン補正] タブで、[モアレを除去する] をクリックします。
8. [品質優先] または [速度優先] のいずれかのオプションを選択します。
9. [原稿の種類] ドロップダウンメニューで、スキャンまたはコピーした原稿の種類を選択します。
10. 設定を保存するには [OK] をクリックします。
11. 原稿をスキャンまたはコピーします。

手持ちの写真をデジタルデータに変換する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。

2. *Windows Vista*の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

3. [Dell AIO ナビ] をクリックします。

Dell AIO ナビが起動します。

4. [ツール] セクションの [複数の写真を同時にスキャンする] をクリックします。

5. 複数の写真をお互いに離して、ガラス面の端から離れた位置に置きます。

6. [原稿をプレビューします (必須)] をクリックします。

7. 画像を保存する場所を選択します。

8. スキャン後に画像の回転などのオプションを使用する場合は、[保存時に、画像の回転とファイル名を指定する] を選択します。

9. [スキャン] をクリックします。

スキャン設定を変更する

操作パネルを使用する

操作パネルの [スキャンモード] メニューから、コピー設定を変更できます。設定の詳細については、次を参照してください。[スキャンモード](#)

コンピュータの使用

1. *Windows Vista*の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell AIO ナビ] を選択します。

Dell AIO ナビが起動します。

3. [画像の取り込み先] ドロップダウンメニューから、使用するアプリケーションを選択します。



メモ: 使用するアプリケーションがリストに表示されない場合は、ドロップダウンメニューから [その他を検索] を選択します。次の画面が表示されたら、[追加] をクリックして使用するアプリケーションを検索し、リストに追加します。

4. [スキャン設定を表示] をクリックして、以下の操作を実行します。

- スキャンする原稿の種類を選択します。
- スキャン解像度を選択します。

5. [アドバンス] ボタンをクリックして、用紙サイズおよび品質などのオプションを変更します。

6. オプションを変更するには、以下のタブをクリックします。

タブ名	はたらき
スキャン	<ul style="list-style-type: none"> • カラーモードを選択します。 • スキャン解像度を選択します。 • 自動トリミングツールの感度を調整します。 • スキャン範囲を設定します。 • OCR アプリケーションを使用して、スキャンした原稿をテキストに変換します。 • 複数の原稿をスキャンするように設定します。 • 画像を取り込むソフトウェアアプリケーションのリストを編集します。 • 通常使う FAX ドライバを更新します。
画像補正	<ul style="list-style-type: none"> • 取り込んだ画像の傾きを修正します。 • ピントの甘い画像の鮮明度を調整します。 • 画像の明るさを調整します。 • 画像の色補正カーブ（ガンマ値）を調整します。
パターン補正	<ul style="list-style-type: none"> • 灰色の画像を白と黒のドットパターンに変換します（ディザ）。 • 雑誌や新聞からモアレを除去します。 • カラー画像の背景ノイズを調整します。

7. [OK] をクリックします。

8. 設定の変更が完了したら、[スキャン] をクリックします。

ライセンスに関する通知

● [BSD License and Warranty statements](#)

● [GNU License](#)

プリンタに常駐するソフトウェアには、次のものが含まれています。

- デルまたはサードパーティが開発し、著作権を所有するソフトウェア
- GNU General Public License version 2 および GNU Lesser General Public License version 2.1 の条項に基づき、デルが改変したソフトウェア
- BSD License and Warranty Statements に基づいて使用許諾されるソフトウェア
- Independent JPEG Group の著作物に基づくソフトウェア

デルが改変した GNU ライセンスソフトウェアはフリーソフトウェアです。お客様は、この使用許諾の条項に基づいて、ソフトウェアを再配布または改変することができます。この使用許諾は、このプリンタに付属する、デルまたはサードパーティが著作権を所有するソフトウェアに対するお客様のいかなる権利も保証するものではありません。

デルが改変の際に基盤として使用した GNU ライセンスソフトウェアは完全に無保証で提供されるため、デルによる改訂版も同様に無保証で提供されます。詳細については、適用されるライセンスの保証免責条項を参照してください。

BSD License and Warranty statements

Copyright (c) 1991 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

GNU License

GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a. You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b. You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c. If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for

such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a. Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b. Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c. Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which

is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1989

Lexmark International, Inc.

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a. The modified work must itself be a software library.
- b. You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c. You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d. If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form

under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a. Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b. Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c. Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d. If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e. Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a. Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b. Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER

SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

1 April 1990

Lexmark International, Inc.

That's all there is to it!

FAX

- [プリンタに外部デバイスをセットアップする](#)
- [FAX を送信する](#)
- [FAX を受信する](#)
- [FAX 設定の変更](#)
- [短縮ダイヤルを使用する](#)
- [着信拒否](#)
- [FAX 管理レポートを作成する](#)

お使いのプリンタでは、コンピュータに接続しなくても FAX を送受信できます。

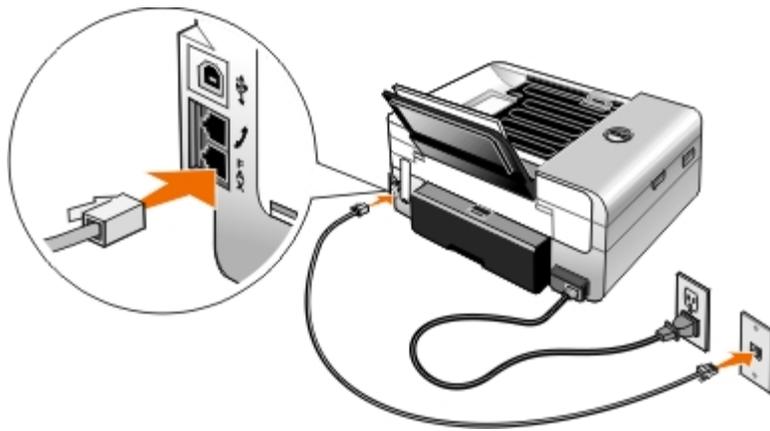
さらに、*Drivers and Utilities* CD には Dell™ FAX ナビが含まれていて、プリンタソフトウェアをインストールする際にコンピュータにインストールされています。この FAX アプリケーションを使用して、FAX を送受信することもできます。(⇒ [Dell FAX ナビの使用](#))

次の表に、FAX 機能を使用できるようにするために必要な機器（一部オプション）の詳細を示します。

機器	利点	参照先
<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ ● モジュラーケーブル（同梱） 	コピーの作成と FAX の送受信をコンピュータなしで実行できません。	壁の電話コンセントに直接接続する
<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ ● 電話機（別売） ● モジュラーケーブル 2 本（1 本同梱） 	<ul style="list-style-type: none"> ● FAX 回線を通常の電話回線として使用できます。 ● 電話機の置き場所に関係なくプリンタをセットアップできます。 ● コピーの作成と FAX の送受信をコンピュータなしで実行できます。 	電話機に接続する
<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ ● 電話機（別売） ● 留守番電話機（別売） ● モジュラーケーブル 3 本（1 本同梱） 	通話と FAX を両方受信できます。	留守番電話に接続する
<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ ● 電話機（別売） ● コンピュータのモデム（別売） ● モジュラーケーブル 3 本（1 本同梱） ● USB ケーブル（別売） 	電話の接続口の数を増やすことができます。	コンピュータのモデムに接続する

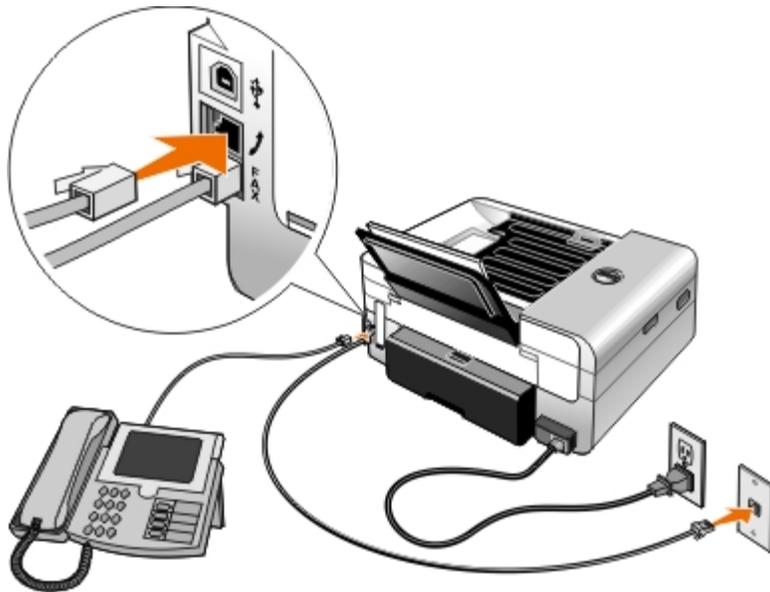
プリンタに外部デバイスをセットアップする

壁の電話コンセントに直接接続する



1. モジュラーケーブルの一方の端を FAX コネクタ (下 - 下のコネクタ) に接続します。
2. モジュラーケーブルのもう一方の端を、使用可能な壁の電話コンセントに差し込みます。

電話機に接続する



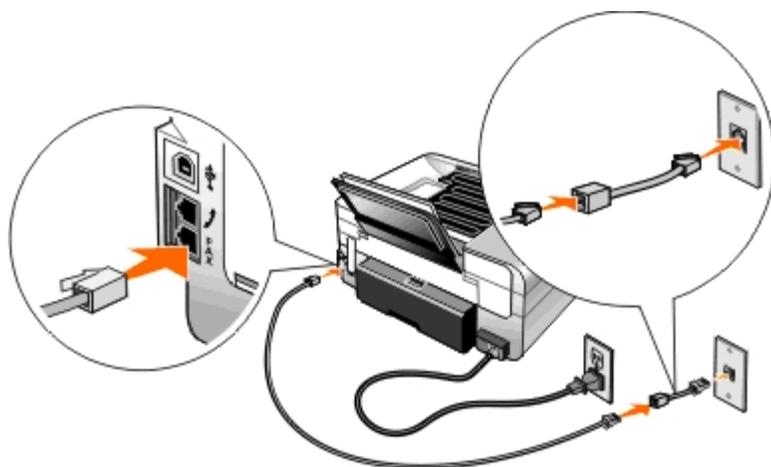
1. プリンタの FAX コネクタ (下 - 下のコネクタ) に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。
2. 電話線コネクタ (中央 - 中央のコネクタ) から、ブルーの保護プラグを取り外します。
3. 電話線コネクタ (中央 - 中央のコネクタ) に接続されたモジュラーケーブルを電話機に接続します。

メモ： ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ (中央 - 中央のコネクタ) からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

DSL (デジタル加入者回線) を使用している場合

DSL では、電話回線を通じてデジタルデータがコンピュータに配信されます。お使いのプリンタはアナログデータ専用です。DSL モデムに接続されている電話回線で FAX を送信する場合は、DSL フィルタを装着して、アナログ FAX モデム信号による干渉を低減させてください。

 **メモ：** ISDN（統合デジタル通信サービス網）モデムおよびケーブルモデムは FAX モデムではないため、FAX 送信をサポートしていません。



1. DSL フィルタを、使用可能な電話回線に接続します。
2. プリンタを DSL フィルタの出力に直接接続します。

 **メモ：** DSL フィルタとプリンタとの間に分配器を設置しないでください。詳細については、DSL サービスプロバイダにお問い合わせください。

留守番電話に接続する

1. プリンタの FAX コネクタ (📠 - 下のコネクタ) に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。
2. 電話線コネクタ (📞 - 中央のコネクタ) から、ブルーの保護プラグを取り外します。
3. 留守番電話に接続したモジュラーケーブルを電話機に接続します。
4. 電話線コネクタ (📞 - 中央のコネクタ) に接続されたモジュラーケーブルを留守番電話に接続します。

 **メモ：** ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ (📞 - 中央のコネクタ) からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、FAX が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

5. 操作パネルまたは Dell FAX ユーティリティから、5 回コールした後でプリンタが FAX を受信するように設定します。

操作パネルから：

- a. 左右の矢印ボタン (⏪ ⏩) を押して [FAX] までスクロールし、設定ボタン (✔) を 2 回押します。
- b. 左右の矢印ボタン (⏪ ⏩) を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン (✔) を押します。
- c. 左右の矢印ボタン (⏪ ⏩) を押して [自動受信と呼出音] までスクロールし、設定ボタン (✔) を押します。
- d. 左右の矢印ボタン (⏪ ⏩) を押して [受信モード] までスクロールし、設定ボタン (✔) を押します。
- e. 左右の矢印ボタン (⏪ ⏩) を押して [着信音 5 回後] までスクロールし、設定ボタン (✔) を押します。

Dell FAX ユーティリティから：

a. *Windows Vista™* の場合 :

1.  [プログラム] の順にクリックします。
2. [Dell プリンタ] をクリックします。
3. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows® XP または *Windows 2000* の場合 :

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

b. [Dell FAX ナビ] を選択します。

[Dell FAX 設定ウィザード] ダイアログが開きます。

c. [いいえ] をクリックします。

[Dell FAX ユーティリティ] ダイアログが開きます。

d. [自動受信と呼出音] タブをクリックします。

e. [着信音の回数] ドロップダウンメニューから [5 回] を選択します。

f. [OK] をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

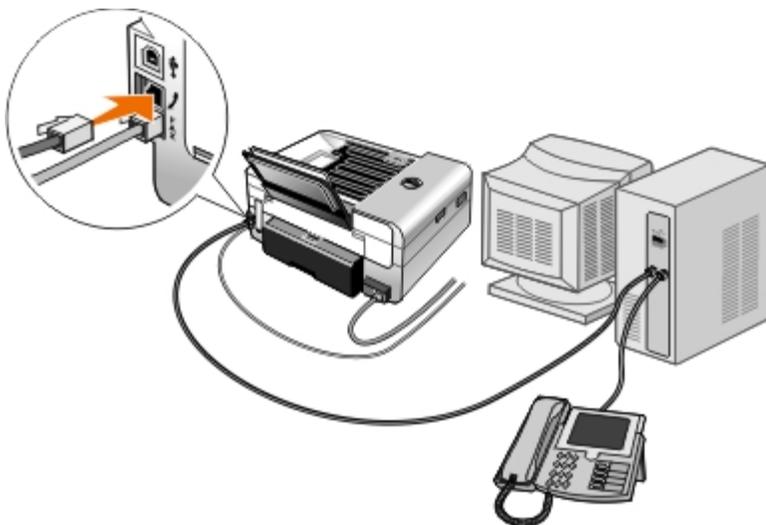
g. [OK] をクリックして、FAX 設定を保存します。

h. [閉じる] をクリックします。

6. 留守番電話機で、自動で応答するまでの着信音の回数を **3** 回以下に設定します。詳細については、留守番電話機に付属のマニュアルを参照してください。

 **メモ** : この設定は、[自動受信] が [オン] (出荷時の設定) または [時間指定] に設定されている場合にのみ機能します。
(⇒ [FAX 設定の変更](#))

コンピュータのモデムに接続する



1. プリンタの **FAX** コネクタ ( - 下のコネクタ) に接続されたモジュラーケーブルを、使用可能な壁の電話コンセントに接続します。
2. 電話線コネクタ ( - 中央のコネクタ) から、ブルーの保護プラグを取り外します。
3. 電話線コネクタ ( - 中央のコネクタ) に接続されたモジュラーケーブルをコンピュータのモデムに接続します。
4. コンピュータのモデムに接続したモジュラーケーブルを電話機に接続します。

 **メモ**：ドイツ、スウェーデン、デンマーク、オーストリア、ベルギー、イタリア、フランス、スイスなど、電話回線がシリアル接続の国では、電話線コネクタ ( - 中央のコネクタ) からブルーのプラグを取り外してから、付属する黄色のターミネータを接続しないと、**FAX** が正しく動作しません。これらの国では、このポートに追加のデバイスを接続することはできません。

FAX を送信する

クイック **FAX** を送信する

操作パネルの使用

1. プリンタが **FAX** を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。(⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
2. 原稿をセットします。(⇒[原稿をセットする](#))
3. 左右の矢印ボタン   を押して **[FAX]** までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. キーパッドを使用して、**FAX** 番号または短縮ダイヤル番号を入力します。
5. **[スタート]** ボタン  を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが **FAX** を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。(⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
3. 原稿をセットします。(⇒[原稿をセットする](#))
4. *Windows Vista* の場合：
 - a.  **[プログラム]** の順にクリックします。
 - b. **[Dell プリンタ]** をクリックします。
 - c. **[Dell AIO Printer 948]** をクリックします。

Windows[®] *XP* または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * **[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** * **[Dell プリンタ]** * **[Dell AIO Printer 948]** の順にクリックします。

5. **[Dell FAX ナビ]** を選択します。

[Dell FAX ナビ] ダイアログが開きます。

6. [新規 **FAX** の送信] をクリックします。
7. コンピュータの画面に表示される手順に従って **FAX** を送信します。

FAX 番号を入力する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. 数字キーパッドを使用して、FAX 番号を入力します。

 **メモ**：番号を間違えて入力した場合は、左向き矢印ボタン  を押すと番号を削除できます。

操作	方法
FAX 番号に FAX を送信する	キーパッドを使用して、番号を入力します。64 桁以内で FAX 番号を入力できます。
アドレス帳に登録された番号に FAX を送信する	<ul style="list-style-type: none"> • 送信先の短縮ダイヤルに対応する番号を入力します。 • [アドレス帳] メニューを使用します。 <ol style="list-style-type: none"> a. 左右の矢印ボタン  を押して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 b. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。 c. 左右の矢印ボタン  を押して [アドレス帳] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 d. 左右の矢印ボタン  を押して [表示] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 e. 左右の矢印ボタン  を押して、FAX 送信先の名前または FAX 番号までスクロールします。
内線番号に FAX を送信する	アスタリスク (*) およびシャープ (#) を押し、キーパッドを使用して内線番号を入力します。
外線に FAX を送信する	<p>以下の手順で外線発信番号を設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 左右の矢印ボタン  を押して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 b. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。 c. 左右の矢印ボタン  を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 d. 左右の矢印ボタン  を押して [ダイヤルと送信] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 e. 左右の矢印ボタン  を押して [外線発信番号] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 f. 左右の矢印ボタン  を押して [作成] までスクロールし、設定ボタン  を押します。 <p>メモ：外線発信番号を変更する場合は、入力済みの外線発信番号までスクロールしてから、設定ボタン  を押します。保存済みの外線発信番号を削除するには、左向き矢印ボタン  を押します。</p> <ol style="list-style-type: none"> g. キーパッドを使用して、外線発信番号を入力します。8 桁以内で外線発信番号を入力できます。 h. 設定ボタン  を押します。
トーンを聞きながら内線番号に FAX を送信する (オンフック)	内線番号が 2 桁の場合は 0 を、1 桁の場合は 00 を追加してダイヤルします。たとえば、内線番号が 12 の場合は 120 と入力します。内線番号が 2 の場合は 200 と入力します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
3. 原稿をセットします。 (⇒[原稿をセットする](#))
4. *Windows Vista* の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows[®] *XP* または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

5. [Dell FAX ナビ] を選択します。
[Dell FAX ナビ] ダイアログが開きます。
6. [新規 FAX の送信] をクリックします。
[FAX 送信] ダイアログボックスが表示されます。
7. [名前]、[会社名]、[FAX 番号] の各フィールドに送信先情報を入力するか、[アドレス帳から送信先を選択する] をクリックして、既存の連絡先を送信先リストに追加します。
8. アドレス帳に新規連絡先を追加する場合は、[アドレス帳に登録] をクリックします。
9. 複数の送信先に FAX を送信する場合は、[他の送信先を追加] をクリックします。
 - a. [名前]、[会社名]、[FAX 番号] の各フィールドに次の送信先情報を入力するか、[アドレス帳から送信先を選択する] をクリックして、既存の連絡先を送信先リストに追加します。
 - b. アドレス帳に新規連絡先を追加する場合は、[アドレス帳に登録] をクリックします。
 - c. 連絡先情報を手動で入力する場合は、[追加] をクリックして [送信先] リストに連絡先を追加します。
 - d. 送信先の情報を変更するには、送信先を選択して [編集] をクリックします。
 - e. [送信先] リストから連絡先を削除するには、送信先を選択して [削除] をクリックします。
 - f. [送信先] リストが完成するまで、[手順 a](#) から [手順 e](#) までを繰り返します。
10. [次へ] をクリックします。
11. コンピュータの画面に表示される手順に従って FAX を送信します。

高度な FAX 送信

操作パネルの使用

プリンタをコンピュータに接続しないで FAX 機器として使用している場合、さまざまな FAX サブメニューを使用して、送信する FAX の設定を変更できます。FAX メニューでは、以下の操作を実行できます。

- FAX の送信日時を指定する
- 短縮ダイヤルリストを使用して FAX を送信する
- 個人またはグループへ送信するためのアドレス帳を管理する
- FAX ログを作成および印刷する
- FAX 管理レポートを作成および印刷する

(⇒[FAX モード](#))

コンピュータの使用

Dell Fax ナビを使用すると、高度な FAX 機能を利用できます。Dell FAX ナビには、基本的な FAX 機能のほかに以下の機能があります。

- FAX の送信日時を指定する
- コンピュータのファイルと紙の原稿を 1 回の FAX 操作で送信する
- 短縮ダイヤルリストを使用して FAX を送信する
- 個人またはグループへ送信するためのアドレス帳を簡単に管理する
- さまざまな送付状を独自に作成し、保存する
- FAX ログを作成および印刷する
- FAX 管理レポートを作成および印刷する

(⇒[Dell FAX ナビの使用](#))

1. Windows Vista の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [FAX ナビ] をクリックします。

[Dell FAX ナビ] ダイアログが開きます。

3. [Dell FAX ナビ] ダイアログボックスの該当するリンクをクリックして、操作を行います。

4. 画面に表示される手順に従います。

自動応答システム経由で **FAX** を送信する

一部の企業では、通話者がいくつかの質問に回答して、希望する部署に接続する自動応答システムを採用している場合があります。該当するボタンを押して質問に回答すると、適切な部署に電話につながります。質問に回答する必要のある自動応答システムを採用している企業に **FAX** を送信するには、オンフック機能を使用できるようにプリンタを設定します。

1. プリンタが **FAX** を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。(⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
2. スキャンする面を下にして、原稿を原稿台にセットします。(⇒[原稿をセットする](#))
3. 操作パネルで、左右の矢印ボタン  を押して [**FAX**] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン  を押して [オンフック] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 設定ボタン  をもう一度押すと、オンフックモードが有効になります。
6. キーパッドを使用して、企業の電話番号をダイヤルします。
7. キーパッドを使用して、自動応答システムを操作します。
8. **FAX** の信号音が聞こえたら、[スタート] ボタン  を押して **FAX** を送信します。

FAX を中止するには、プリンタの [キャンセル] ボタン  を押します。

FAX を受信する

FAX を自動受信する

ユーザーが操作を行わなくても、プリンタで自動的に **FAX** を受信して印刷することができます。

以下の点をチェックしてください。

- プリンタの電源がオンになっていて、**FAX** を送受信できるように正しく設定されている。(⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
- [自動受信] が [オン] (出荷時の設定) または [時間指定] に設定されている。

自動受信機能がオンになっているかどうかチェックするには、以下の手順に従います。

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [**FAX**] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. 左右の矢印ボタン  を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン  を押して [自動受信と呼出音] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン  を押して [自動受信] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. プリンタが常に自動的に着信に応答して **FAX** を受信するようにするには、左右の矢印ボタン  を押して [オン] までスクロールします。

プリンタが着信に応答する時間帯を指定するには、左右の矢印ボタン  を押して [時間指定] までスクロールし、キーパッドを使用して自動受信機能をオンおよびオフにする時刻を指定します。

 **メモ：** プリンタに留守番電話が接続されている場合に [自動応答] をオンにすると、留守番電話が着信に応答します。FAX 信号音を検出されると、留守番電話機が切断され、プリンタが FAX を受信します。FAX 信号音を検出されなかった場合、留守番電話機が着信に対応します。

FAX を手動で受信する

自動受信機能をオフにして、FAX の受信方法を管理することもできます。不要な FAX を受信しない場合や、ほとんど受信しない場合、または FAX の受信費用がかかりすぎる場合などに便利です。

1. プリンタの電源がオンになっていて、FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。(⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
2. [自動受信] をオフに設定します。
 - a. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 - b. 左右の矢印ボタン  を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 - c. 左右の矢印ボタン  を押して [自動受信と呼出音] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 - d. 左右の矢印ボタン  を押して [自動受信] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
 - e. 左右の矢印ボタン  を押して [オフ] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
3. FAX が着信したら、[スタート] ボタン  を押すか、キーパッドで「DELL# (3355#)」と入力して受信します。

オーバーサイズの FAX を印刷する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. 左右の矢印ボタン  を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン  を押して [印刷設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン  を押して [用紙に合わせて縮小] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン  を使用して、オプションを選択します。
6. 設定ボタン  を押して、設定を保存します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。(⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
3. Windows Vista の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP または Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell FAX ナビ] を選択します。
[Dell FAX 設定ウィザード] ダイアログが開きます。
5. [いいえ] をクリックします。
[Dell FAX ユーティリティ] ダイアログが開きます。
6. [FAX レポートの印刷] タブをクリックします。
7. [オーバーサイズ] フィールドから、オプションを選択します。
8. [OK] をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

9. [OK] をクリックして、FAX 設定を保存します。
10. [閉じる] をクリックします。

用紙の両面に FAX を印刷する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [印刷設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して [両面 FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
6. 左右の矢印ボタン   を押して [両面印刷] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

コンピュータを使用する

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒ [プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
3. Windows Vista の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP または Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell FAX ナビ] を選択します。
[Dell FAX 設定ウィザード] ダイアログが開きます。
5. [いいえ] をクリックします。
[Dell FAX ユーティリティ] ダイアログが開きます。
6. [FAX レポートの印刷] タブをクリックします。
7. [両面印刷] フィールドから、[両面印刷] を選択します。
8. [OK] をクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
9. [OK] をクリックして、FAX 設定を保存します。
10. [閉じる] をクリックします。

FAX 設定の変更

操作パネルの使用

プリンタをコンピュータに接続しないで FAX 機器として使用している場合、[詳細設定] メニューから FAX 設定を変更できます。[詳細設定] メニューで行った変更は、すべての FAX ジョブに常に適用されます。(⇒[FAX 設定メニュー](#))

コンピュータを使用する

コンピュータからプリンタの FAX 設定を構成する場合は、FAX ユーティリティにアクセスします。

1. Windows Vista の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [Dell プリンタ] をクリックします。
 - c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [Dell FAX ナビ] を選択します。

[Dell FAX 設定ウィザード] ダイアログが開きます。

3. FAX 設定ウィザードを使用してプリンタの FAX 設定を構成する場合は、[はい] をクリックします。[Dell FAX 設定ウィザードへようこそ] ダイアログが開きます。

FAX 設定を手動で変更する場合は、[いいえ] をクリックします。[Dell FAX ユーティリティ] ダイアログが開きます。

タブ名	可能な操作
ダイヤルと送信	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話回線の種類を指定します。 ● 外線発信番号を入力します。 ● 発信音量を設定します。 ● 自局の FAX 番号と名前を入力します。 ● リダイヤルの回数、および FAX 送信に失敗した場合の再試行間隔を選択します。 ● 番号をダイヤルする前または後で、原稿全体をスキャンするかどうかを選択します。 ● FAX を送信する際の最高送信速度と印刷品質を選択します。 ● 送信設定に関係なく、受信側の FAX 機器に合わせて FAX を自動的に変換します。
自動受信と呼出音	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタが FAX の着信に応答するまでの着信音の回数を指定します。 メモ：留守番電話機では、プリンタで設定した着信音の回数より少ない回数を設定する必要があります。 ● 電話回線で FAX 専用着信音サービスが利用できる場合は、FAX 専用着信音を指定します。 ● 着信音量を設定します。 ● エラー修正機能を使用するかどうかを選択します。 ● 発信者番号の通知形式を選択します。検出形式として FSK が使用されている場合は 1 を、DTMF が使用されている場合は 2 を選択してください。発信者番号の検出形式は、セットアップ時に選択した国/地域によって決まります。2 種類の検出形式が使用されている場合は、ご利用の電話会社に連絡して、使用されている形式を確認してください。 ● 手動受信コードを指定します。デフォルトのコードは DELL# (3355#) です。 ● 着信した FAX を自動で受信するか、指定時刻に受信するかを選択します。 ● 着信した FAX を自動で受信する時刻を指定します。 ● FAX を転送するか、印刷してから転送するかを選択します。 ● 転送先の FAX 番号を指定します。 ● FAX の着信拒否を管理します。
FAX 印刷/履歴	<ul style="list-style-type: none"> ● 用紙サイズを超える FAX を自動的に縮小して 1 ページに印刷するか、元のサイズのままで 2 ページに印刷するかを指定します。 ● フッター（日付、時刻、ページ番号）を各ページに印刷するかどうかを選択します。 ● 用紙トレイが 2 つ取り付けられている場合、用紙を使用するトレイを選択します。受信した FAX に合わせて用紙を選択する場合は、[自動] を選択します。 ● オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、用紙の両面に印刷するかどうかを選択します。 ● 通信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。 ● 送信管理レポートを印刷するタイミングを指定します。
短縮ダイヤル	<p>短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤルリストの追加、作成、編集を行います。</p>
送付状	<ul style="list-style-type: none"> ● FAX を送信する際に送付状を送信するかどうかを指定します。 ● 送付状に表示される情報を編集または更新します。 ● FAX を送信する際の優先順位を選択します。 ● 短いメッセージを追加します。

短縮ダイヤルを使用する

FAX を簡単に送信するために、89 個の個別の短縮ダイヤル番号と、1 つにつき 30 個までの番号を含むことができる 10 個のグループ短縮ダイヤルを指定できます。

短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤルリストを作成する

操作パネルから

短縮ダイヤルリストにエントリを追加する

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [アドレス帳] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [追加] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. キーパッドを使用して FAX 番号と名前を入力し、設定ボタン  を押します。

 **メモ：** 入力した連絡先には、まだ使用されていない最小の短縮ダイヤル番号が自動的に割り当てられます。短縮ダイヤル番号を変更することはできません。

グループダイヤルリストにエントリを追加する

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [アドレス帳] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [追加] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン  を押して [グループ FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
6. キーパッドを使用して FAX 番号をグループに追加し、設定ボタン  を押します。
7. [別の番号を入力] 画面で、左右の矢印ボタン   を押して [はい] までスクロールし、設定ボタン  を押して別の番号を追加します。
8. グループダイヤルリストへの番号の追加を終えたら、左右の矢印ボタン   を押して [いいえ] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
9. キーパッドを使用してグループの名前を入力し、設定ボタン  を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
3. *Windows Vista* の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell FAX ナビ] を選択します。
[Dell FAX 設定ウィザード] ダイアログが開きます。
5. [いいえ] をクリックします。
[Dell FAX ユーティリティ] ダイアログが開きます。
6. [短縮ダイヤル] タブをクリックします。
7. 短縮ダイヤルリストに新しいエントリを追加するには、1 ~ 89 のうちから使用できる番号をクリックして、新しい連絡先の FAX 番号と名前を入力します。

グループダイヤルリストに新しいグループエントリを追加するには、90 ~ 99 のうちから使用できる番号をクリックします。メインの短縮ダイヤルリストの下にグループリストが小さく表示されます。新しいグループエントリの FAX 番号と名前を入力します。

8. アドレス帳から連絡先を追加するには、[アドレス帳から選択] をクリックします。
[アドレス帳から選択] ダイアログボックスが表示されます。
 - a. アドレス帳から連絡先を選択します。
 - b. 連絡先をリストに追加するには、短縮ダイヤルまたはグループダイヤルの設定セクションで利用できる番号をクリックします。
リストの既存のエントリを上書きするには、変更するエントリをクリックします。
 - c. [リストへの追加または変更] をクリックします。
 - d. アドレス帳のエントリを短縮ダイヤルまたはグループダイヤルリストに追加したら、[OK] をクリックして [短縮ダイヤル] タブへ戻ります。
9. [OK] をクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
10. [OK] をクリックして、プリンタの設定を上書きします。
11. [閉じる] をクリックします。

短縮ダイヤルリストまたはグループダイヤル番号リストを使用する

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、キーパッドを使用して 2 桁の短縮ダイヤル番号またはグループダイヤル番号を入力します。
3. 別の短縮ダイヤル番号またはグループダイヤル番号を入力するには、 ボタンを押します。ディスプレイに表示される手順に従います。
4. [スタート] ボタン  を押して FAX を送信します。

 **メモ：** 番号を入力するときに、数字を 2 つだけ入力して、その数字に該当するエントリがある場合、短縮ダイヤルとして処理されます。入力した番号がアドレス帳のエントリに該当しない場合は、内線番号として処理されます。

着信拒否

着信拒否リストを作成する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [着信拒否] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン   を押して [追加] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
6. キーパッドを使用して FAX 番号を指定し、設定ボタン  を押します。
7. キーパッドを使用して名前を指定し、[設定] ボタン  を押します。

 **メモ：** 入力した連絡先には、まだ使用されていない最小の迷惑 FAX 番号が自動的に割り当てられます。迷惑 FAX 番号を変更することはできません。

8. 次の番号の入力を求めるメッセージが表示されたら、左右の矢印ボタン   を押してオプションをスクロールし、設定ボタン  を押します。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒ [プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
3. *Windows Vista* の場合：
 - a.   [プログラム] の順にクリックします。

- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP または Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

4. [Dell FAX ナビ] を選択します。
[Dell FAX 設定ウィザード] ダイアログが開きます。
5. [いいえ] をクリックします。
[Dell FAX ユーティリティ] ダイアログが開きます。
6. [自動受信と呼出音] タブをクリックします。
7. [着信拒否リストの管理] をクリックします。
[着信拒否番号の登録] ダイアログボックスが表示されます。
8. 着信を拒否するリストの番号を入力します。
9. [OK] をクリックして、[自動受信と呼出音] タブに戻ります。
10. [OK] をクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
11. [OK] をクリックして、FAX 設定を保存します。
12. [閉じる] をクリックします。

迷惑 FAX を受信しない

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン  を使用して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン  を押して [着信拒否] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. 左右の矢印ボタン  を押して [オン/オフ] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
6. 左右の矢印ボタン  を押して [オン] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

[迷惑 FAX リストの番号] に登録されている番号からの FAX 受信を検出すると、接続が切断されます。

コンピュータの使用

1. コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
2. プリンタが **FAX** を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。(⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
3. *Windows Vista*の場合：
 - a.  [プログラム] の順にクリックします。
 - b. [**Dell** プリンタ] をクリックします。
 - c. [**Dell AIO Printer 948**] をクリックします。

Windows XP または *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [**Dell** プリンタ] * [**Dell AIO Printer 948**] の順にクリックします。

4. [**Dell FAX** ナビ] を選択します。
[**Dell FAX** 設定ウィザード] ダイアログが開きます。
5. [いいえ] をクリックします。
[**Dell FAX** ユーティリティ] ダイアログが開きます。
6. [自動受信と呼出音] タブをクリックします。
7. [着信拒否リストの管理] をクリックします。
[着信拒否番号の登録] ダイアログボックスが表示されます。
8. [迷惑 **FAX** を受信しない] を選択します。
9. [**OK**] をクリックして、[自動受信と呼出音] タブに戻ります。
10. [**OK**] をクリックします。
確認のダイアログボックスが表示されます。
11. [**OK**] をクリックして、**FAX** 設定を保存します。
12. [閉じる] をクリックします。

番号非通知の場合に着信を拒否する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [**FAX**] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [**FAX** 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. 左右の矢印ボタン   を押して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. 左右の矢印ボタン   を押して [着信拒否] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
- 5.

左右の矢印ボタン   を押して [非通知拒否] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

- 左右の矢印ボタン   を押して [オン] までスクロールし、設定ボタン  を押します。

番号を非通知に設定している機器からの FAX が検出されると、通信が切断されます。

コンピュータの使用

- コンピュータとプリンタが接続された状態であることを確認し、電源をオンにします。
- プリンタが FAX を送受信できるように正しく設定されていることを確認します。 (⇒[プリンタに外部デバイスをセットアップする](#))
- Windows Vista の場合：
 -  [プログラム] の順にクリックします。
 - [Dell プリンタ] をクリックします。
 - [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP または Windows 2000 の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

- [Dell FAX ナビ] を選択します。

[Dell FAX 設定ウィザード] ダイアログが開きます。
- [いいえ] をクリックします。

[Dell FAX ユーティリティ] ダイアログが開きます。
- [自動受信と呼出音] タブをクリックします。
- [着信拒否リストの管理] をクリックします。

[着信拒否番号の登録] ダイアログボックスが表示されます。
- [有効な送信元の ID がない場合は受信しない] を選択します。
- [OK] をクリックして、[自動受信と呼出音] タブに戻ります。
- [OK] をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。
- [OK] をクリックして、FAX 設定を保存します。
- [閉じる] をクリックします。

FAX 管理レポートを作成する

操作パネルの使用

1. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [FAX] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
2. [FAX 番号の入力] 画面で、設定ボタン  を押します。
3. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [詳細設定] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
4. メインメニューで、左右の矢印ボタン   を使用して [管理レポート] までスクロールし、設定ボタン  を押します。
5. [管理レポート] メニューから、FAX 操作に関する記録を表示または印刷できます。

コンピュータを使用する

1. *Windows Vista* の場合：

- a.  [プログラム] の順にクリックします。
- b. [Dell プリンタ] をクリックします。
- c. [Dell AIO Printer 948] をクリックします。

Windows XP および *Windows 2000* の場合：

[スタート] * [プログラム] または [すべてのプログラム] * [Dell プリンタ] * [Dell AIO Printer 948] の順にクリックします。

2. [FAX ナビ] をクリックします。
[Dell FAX ナビ] ダイアログが開きます。
3. [管理レポートの表示] をクリックします。
4. [表示] ドロップダウンメニューで、レポートを印刷する FAX をクリックします。
5. レポートを作成する期間を選択します。
6. ダイアログボックスの左上にある [印刷] アイコンをクリックして、FAX 管理レポートを印刷します。